

要 覧

GRIPS BULLETIN

2023



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE FOR POLICY STUDIES

目 次

1. 2023 年 4 月入学者用学年暦	4
2. 履修の手引き	
履修登録	6
GRIPS Assessment Policy	7
学業上の不正行為	12
不正行為に対する処分について	13
科目番号の分類	14
科目番号の読み方	15
3. 修士課程	
修士課程における学位論文等の評価基準及び審査体制	16
修士課程の修了要件	17
修士課程プログラム	18
修士課程プログラム概要	24
カリキュラム	26
2023 年度授業科目及び担当教員一覧	40
政策研究データサイエンス認定証制度について	57
時間割	59
4. 博士課程	
博士課程の概要	72
博士課程の修了要件	73
博士課程プログラムの構成	75
プログラム別履修概要	76
博士論文提出資格試験（QE）実施概要	77
博士論文審査の標準的な実施時期	78
博士課程プログラム	79
カリキュラム	82
政策研究データサイエンス認定証制度について	91
時間割	93
博士課程学生への経済的支援	96
5. 学生生活	
図書館	101
OPAC の使い方	103
マイライブラリ	105

G-way

教育支援情報サービスシステム - GRIPS Gateway (G-way)	108
履修登録・成績照会	111
授業連絡	121
学籍異動・各種証明書の申請	123
各種設定	125

IT サービス

IT サービス (IT サポートセンター)	126
GRIPS メール	128
ファイルサーバ	131
Google Drive	133
プリンタ	134
スキャナー	140
共有 PC	143
GRIPS パスワード変更	144
重要な確認事項	146
学内における学生の PC 使用について	147
教育支援課	148
ハラスメント	150
休学・復学・退学等に関する案内	151
授業料及び奨学金	153
インターンシップ	154
施設	155
避難経路	157
セコム安否確認システムの登録について	160
保健管理センター	174
同窓会	175

6. 付録

教員一覧

幹部	176
アルファベット順	177
フロアマップ	179
本学へのアクセス	182

2023年4月入学者用学年暦（学生用）
(2023年4月～2024年3月)

1. 2023年4月入学者用学年暦

授業期間

	: 春前期 (4/5～6/3)	春大学期 (4/5～7/31)
	: 春後期(6/5～7/31)	
	: 夏学期(8/3～9/27)	秋大学期 (10/6～1/30)
	: 秋前期(10/6～11/30)	
	: 秋後期(12/1～1/30)	
	: 冬学期(2/2～3/29)	
	: 休日 (日曜日、祝日、年末年始休暇)	

履修登録

→ : 履修登録

→ : 履修登録取消

月	日	月	火	水	木	金	土	備 考
4月	2	3	4	5	6	7	8	4/3 入学ガイダンス、4/3～18 履修登録(春学期・春前期)、4/5 春学期・春前期授業開始
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30							
5月	1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
6月	1	2	3					6/2～14 履修登録(春後期)、6/5 春後期授業開始 6/15～19 履修登録取消(春後期)
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30		
7月	1							
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
8月	30	31						8/1～8/14 履修登録(夏学期)、*8/1～8/2 補講期間、8/3 夏学期授業開始
			*1	*2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
9月	27	28	29	30	31			8/30 春学期成績発表
						1	2	9/13 国際プログラム学位記授与式 *9/28～29 補講期間
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	*28	*29	30	

10月	1 8 15 22 29	2 9 16 23 30	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	10/3～4 国際プログラム入学ガイダンス、10/3～17 履修登録(秋学期・秋前期)、10/6 秋学期・秋前期授業開始 10/18～24 履修登録取消(秋学期・秋前期) 10/27 夏学期成績発表
11月	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	9 16 23 30	10 17 24 31	11 18 25	11/29～12/12 履修登録(秋後期)
12月	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	9 16 23 30	12/1 秋後期授業開始 12/13～15 履修登録取消(秋後期) 12/29～1/3 年末年始休暇
1月	7 14 21	8 15 22	9 16 23	10 17 24	11 18 25	12 19 26	13 20 27	*1/31～2/1 補講期間、1/31～2/13 履修登録(冬学期)
2月	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	9 16 23	10 17 24	2/2 冬学期授業開始 2/28 秋学期、冬学期成績発表
3月	3 10 17 24 31	4 11 18 25	5 12 19 26	6 13 20 27	7 14 21 28	8 15 22 29	9 16 23 30	3/19 学位記授与式 ※日程が変更になる場合があります

履修登録

履修登録のスケジュールは、2023 年 4 月入学者用学年暦で確認してください。

履修登録は、履修登録、履修登録取消の 2 つの期間から構成されています。

1. 履修登録期間は各学期開始前から 2 週間ほど設定されています。

履修登録期間には履修登録及びその削除ができます。

履修登録は履修登録期間内にのみ可能です。履修登録をせずに授業に出席し、試験を受けても単位は取得できません。

2. 履修登録取消期間では、履修登録の取り消しのみ可能です。期限を過ぎてからの取り消しはできません。この期間に履修を取り消した授業科目の成績は W (withdraw) となり、成績証明書に記載されます。夏学期及び冬学期は短期間のため履修登録取消期間は設定されていません。必要な場合は必ず履修登録期間内に削除を

してください。履修登録取消期間以降に受講を取り止めた場合には、成績は E 又は F (不合格) となります。

各授業科目の詳細は、シラバスをご覧ください。

<https://gast.grips.ac.jp/syllabus/>

履修登録方法

履修登録、変更、取消は、教育支援情報サービスシステム (GRIPS Gateway, G-way) により、オンラインで行ってください。

履修登録期間及び履修登録取消期間開始日の 9:00 (日本時間) から履修登録期間及び履修登録取消期間最終日の 17:00 (日本時間) までの間に登録または取り消しを行ってください。

※ G-way による履修登録方法については、「教育支援情報サービスシステム」のページをご覧ください。

GRIPS Assessment Policy

GRIPS Assessment Policy Assessment Information Provided on Syllabus	GRIPS 成績評価基準(対訳) ※英文を正本とする。 シラバスに記載される 成績評価についての情報
All information about assessment for individual courses will be provided in the detailed syllabus available at the beginning of the course. This will consist of: - the assessment plan, including the marking/grading system to be used, and the weight allocated to each significant grading component - examination/submission dates - penalties for late submission - other requirements, if any Once a course has started, instructors may change the requirements only after obtaining the agreement of all students concerned and informing the Academic Support Team.	各授業科目の成績評価に関するすべての情報は、講義開始時に入手可能な詳細なシラバスに記載されている。これには以下の事項が含まれる。 - 成績評価計画。これには使用される採点・成績評価のシステム、および成績評価における主要な各要因に与えられるウェイトについての情報などが含まれる。 - 試験の日時、提出物の期日 - 提出期限後の提出に対するペナルティ - その他の必要な事項 講義開始後に教員がシラバス記載の事項を変更する場合は、関係する学生全員の賛同を得ること、また教務担当に報告することが必要となる。
Procedure before Final Grades	最終成績評価に先立つ手続き
Assessment during the course Instructors should return items of assessment completed during the term promptly, with marks or grades and, where appropriate, comments to the students. Also, instructors must comply with the guidelines for grading (cf. 'Final Grades'), so that students can gauge their own performance against that of other class members. Students are advised to keep the returned original assignments in case they decide to appeal their final grades. Meeting all assessment requirements Course assessments may include different forms of assessment, such as class exercises, assignments, quizzes, tests and examinations. Students need to ensure that they have	授業科目期間中の評価 教員は学期中に完成した評価対象アイテムを、採点または成績評価、および必要な場合にはコメントとともに速やかに学生に返却すべきである。また教員は、成績分布のガイドラインを遵守することで、学生がクラス他のメンバーに比較した場合の自らの成績を正しく評価できるようにしなければならない。学生は、最終成績評価について不服申立する場合に備え、課題の原本を返却された場合はそれを保管しておく必要がある。 すべての評価要件を満たすこと 授業科目においては、クラスでの課題や提出課題、小テスト、試験など様々な形式での評価が行われる。学生は指定された期間に、評価において必要とされる事項をすべて、確実に満たしていなくてはならない。指示や課

completed all the required forms of assessment by the designated deadlines. Failure to attend a class where instructions were given or work was assigned is not a valid reason for non-performance.

Students' own work

All work submitted for assessment must be the student's own work, and must not be the result of collaboration with others, unless it is clearly indicated in the assignment details that the submitted assignment may be a joint or collaborative effort. In all joint assignments, the nature and extent of the collaboration and the identities of the collaborators must be specified.

Special consideration

1. Students who have suffered serious illness or misadventure beyond their control, which they believe has affected their assignment work, should complete and submit as soon as possible a "Request for Special Consideration" form (available at the Academic Support Team counter) along with any medical certificates or other certified official documents specify about the duration and severity of the problem, to the Academic Support Team, who will forward them to the instructor.

2. Students should note that work, family, and sporting and social commitments are not normally seen as being beyond a student's control and so are not normally accepted as grounds for special consideration.

3. If the student is not satisfied with the initial response to his/her "Request for Special Consideration," then the student may submit a request for further consideration to the Program Director through the Academic Support Team.

4. For further information regarding applications for special consideration, contact the Academic Support Team.

題が出た時にクラスを欠席していた、というのは正当な理由と認められない。

提出課題の作成

評価のための提出課題はすべて学生が自身で作成しなければならない。共同作業や他人との協力が可能である旨が評価の詳細において明確に記載されていない限り、他人の協力を得て作成してはいけない。共同作業で作成されたすべての提出課題には、協力の内容やその程度、また共同作業者の氏名が明記されなくてはならない。

特別配慮

(1) 重病や偶発事故など不可抗力の出来事のために、提出課題等の作成に影響を受けたと考える学生は、「特別配慮の申請」の申立書を可能な限り速やかに提出すべきである。この書類は教務担当のカウンターで入手可能である。申立書は、問題が継続する期間やその重症度について具体的に記載された医師による診断書、またはその他公式に認定された文書とともに教務担当に提出しなければならない。同担当はこの書類を教員に転送する。

(2) 学生は、仕事、家族、スポーツおよび社交上の約束は通常不可抗力とはみなされず、従って通常は特別な配慮の根拠としては認められない、という点に注意する必要がある。

(3) 学生が「特別配慮の申請」に対する当初の回答に満足できない場合には、プログラムディレクターに対し、教務担当を通じて更なる配慮の申請を提出することができる。

(4) 特別な配慮のための申請に関するその他の情報については、教務担当に問い合わせること。

Course withdrawal procedure

A student can withdraw from a course without penalty during the registration period. After the end of the registration period, students can still withdraw from courses before the final withdrawal deadline, in which case a grade of W will be shown on their transcript. It is not permissible to withdraw after the withdrawal deadline. The academic calendar provides the registration periods and withdrawal dates for each term and course type.

Final Grades**Final Grades**

The following grading scale will be used for all courses.

A	90-100	Outstanding performance
B	80-89	Superior performance
C	70-79	Satisfactory performance
D	60-69	Acceptable minimum performance
E	0-59	Unsatisfactory performance
P	Pass (in courses designated Pass/Fail)	
F	Fail (in courses designated Pass/Fail)	
W	Withdraw	
T	Credit transferred	

Grade distribution guidelines

For courses in which letter grades are assigned, the grade distribution should satisfy both the mean GPA criterion and the reasonable distribution criterion.

1. Mean Grade Point Average Criterion

Courses should have a mean GPA between 3.1 and 3.5, where A, B, C, D and E carry grade points of 4, 3, 2, 1 and 0, respectively.

Grades of P, F, W and T are not be included in the GPA calculation.

2. Reasonable Distribution Criterion

The distribution of grades should be in accordance with the following guideline.

A	20-50% of class
B	30-70% of class

授業科目登録の取消手続

履修登録期間中は、学生はペナルティなしで授業科目登録の取消しを行うことができる。履修登録期間の後でも、最終履修登録取消期限までは学生は履修登録の取消しを行うことができる。この場合には、学生の成績証明書には W 評価が記載されることになる。最終履修登録取消期限の後には、履修登録取消しは不可能となる。各学期における履修登録の日程については、学年暦に記載されている。

最終成績評価**最終成績評価**

以下の評価基準が適用される。

A	90-100	卓越した成績
B	80-89	優れた成績
C	70-79	満足できるレベルの成績
D	60-69	容認できるレベルの成績
E	0-59	不合格
P	合格 (合格・不合格を指定する授業科目の場合)	
F	不合格 (合格・不合格を指定する授業科目の場合)	
W	登録取消し	
T	単位互換認定	

成績評価の分布に関するガイドライン

アルファベットで評価が記載される授業科目の場合には、**平均 GPA 基準**および**妥当な分布に関する基準**の双方を満たしている必要がある。

(1) 平均 GPA 基準

A、B、C、D、E をそれぞれ 4 点、3 点、2 点、1 点、0 点としたときに、当該授業科目の GPA 平均は 3.1 点から 3.5 点の範囲内となるべきである。

P、F、W、T の評価は GPA に含まれない。

(2) 妥当な分布に関する基準

成績評価の分布は以下の範囲内となるべきである。

A	クラスの 20-50%
B	クラスの 30-70%

2. 履修の手引き

C < 25% of class

D < 10% of class

E < 10% of class

If the grade distribution guideline is not met, the instructor should provide a reason.

Release of course results

Course results are submitted to the Academic Support Team by the end of the third week after the end of the term. All students will be issued an official results notice, providing the details of courses completed and grades awarded, after each term and within ten working days of the final submission date.

Appeal

1. Students who have concerns regarding their grade in a course should first approach the course instructor to discuss their assessment.

2. A student who, after speaking with the course instructor, still wishes to appeal the grade, must submit a request in writing to the Program Director through the Academic Support Team within three weeks of the announcement of the results. If the request is judged appropriate, the Program Director will seek the advice of the course instructor and the Dean, and arrange for the work to be reassessed. The Program Director will decline to take action if insufficient reasons are given to justify reassessment. In particular, deviation from the grade guidelines is not sufficient grounds for a review. If the course instructor is the Program Director, then the request will go directly to the Dean.

3. When the piece of assessment in contention is a group assignment, the formal request for review must be signed by all members of the group and submitted as above.

4. As noted previously, students should keep all marked work returned to them in case those

C クラスの 25%未満

D クラスの 10%未満

E クラスの 10%未満

成績評価の分布がガイドラインを満たさない場合には、教員はその理由を挙げなければならない。

成績の発表

成績は学期終了から3週間以内に教務担当に提出される。学生全員に対する、修了した授業科目の詳細および各学期の成績評価を記載した公式結果の通知は、最終提出期日から、土曜日、日曜日及び祝日を除いた10日以内に発行される。

不服申立

(1) 授業科目における成績評価につき学生が懸念を抱いた場合には、成績について話し合うため、まず授業科目担当教員にコンタクトしなければならない。

(2) 授業科目担当教員と話し合った後にも学生が成績評価につき不服申立することを希望する場合には、成績の発表から3週間以内に書面でその要請を、教務担当を通じてプログラムディレクターに提出しなければならない。不服申立が妥当と考えられる場合には、プログラムディレクターは授業科目担当教員および研究科長の助言を求め、学生の提出課題の再評価が行われるよう手配する。再評価の正当性を証明する理由が不十分なものである場合には、プログラムディレクターは措置を講じることを拒否する。具体的には、成績評価ガイドラインに沿っていないことは、再考の十分な根拠とはならない。授業科目担当教員とプログラムディレクターが同一人物である場合には、この要請は研究科長に直接送られる。

(3) 評価につき論争の対象となっている提出課題がグループで作成した課題である場合には、再考についての正式な要請にグループ全員が署名し、上記に従ってこれを提出する。

(4) 前述のように、学生は採点済みの提出課題を返却された場合は、再評価においてこれが必要となった場合に

documents are required for reassessment purposes. Reassessment will not be approved in cases where the student cannot provide the returned original marked piece of work.

Repeating a Course

1. In principle, students cannot repeat a course which they have already taken successfully. They can do so only if both the course instructor and their Program Director give their permission.

2. Those who wish to repeat a course should submit a completed “Application to Repeat a Course” form to the Academic Support Team after obtaining the approval* of both their Program Director and the course instructor.

*Approval is not required in the case of repeating Japanese language courses.

3. Only the grade assigned in the repeated course will be shown on the student’s transcript.

備えて保管しておかなければならない。

学生が採点された提出課題の原本を提出できない場合には、再評価は承認されない。

再履修

(1) 原則として、修得科目を再履修することはできないが、希望する学生の所属するプログラムディレクター及び授業科目担当教員が認めた場合にのみ、再履修することができる。

(2) 既修得科目の再履修を希望する学生は、プログラムディレクター及び授業科目担当教員の許可*を得た上で、「再履修申請書」を教務担当に提出する。

* 日本語の語学の授業を再履修する場合は、これらの許可は不要である。

(3) 成績表には、再履修時の成績のみが表示される。

学業上の不正行為

学業上の不正行為に対する本学の対応

本学における学業上の不正行為は、重大な違反行為となります。学業上の不正行為は、同輩である学生の士気に悪影響を及ぼし、大学の世評をおとしめます。よって、本学の教職員および学生の全員が、学業上の不正行為を防ぎ、阻止し、報告することとしています。

学業上の不正行為者には、寛大な措置が取られることはなく、停学または退学を含む厳重な処分が課せられる場合があります。処分の詳細については、「不正行為学生に対する処分について」を参照してください。

学業上の不正行為

学業上の不正行為とは、大学の教科学習および試験において不正な行動をすることや、他人の作成した論文またはレポートを自分自身の作成したものに見せかけること、またはその他の方法で不正な利を得ようとするものが含まれます。

学業上の不正行為の例

学業上の不正行為の例は以下のとおり。

- ・ テストまたは試験において他人になりすますこと、またはこのような手はずを整えること
- ・ 試験中に別の学生の解答を写すこと
- ・ 参考文献等の持ち込みを許可されない試験においてノート、ペーパー、その他の資料を参照すること
- ・ 教員から明確な同意を得ずに、別の講義で既に単位を受けた論文またはレポートを提出すること
- ・ 上記のような不正行為を幫助すること
- ・ データを改ざんすること。これは研究記録に研究が正確に示されないように研究材料または研究プロセスを操作すること、または調査データまたは調査結果を変更もしくは削除することを意味します。データの解釈についてはかなりの裁量の余地がありますが、データそのものは、操作または歪曲してはなりません。

盗作・剽窃

盗作・剽窃とは、論文またはレポートの作成において、必要かつ適切な出典参照を示さずに別の出典からアイデア、表現その他を写すことを指します。この出典には、公表・未公表の論文またはレポート、インターネット、および他の学生および教員の論文またはレポートが含まれます。

盗作・剽窃の例

盗作・剽窃の例は以下のとおり。

- ・ 他人の完成した論文またはレポートの全部または一部を、自分の論文またはレポートとして提出すること
- ・ 別の著作者の論文またはレポートの全部または一部を、出典に対する参照を付けずに利用すること
- ・ 出典に対する参照なしに、他人のアイデア、解釈、記述、または結論を言い換える（自分自身の言葉で述べる）こと
- ・ 書面形式の論文またはレポートにおいて他人の論文またはレポートから文章、文章の一部を直接の引用を行う際に、引用符をつけて適切な謝辞を添えないこと
- ・ 他人の論文の全て（または相当部分）を使用することは、出典に対する参照があっても不可

研究倫理教育及び研究費コンプライアンス教育

本学では、研究活動上の不正行為を防止するため、研究者（学生含む）に求められる倫理規範等の修得に向け、e-learning 教材のうち研究倫理に関することの受講を、全ての学生に推奨しています。

また、研究費を受け取る場合や、RA 等で外部研究資金等の実施に携わる場合は、研究費コンプライアンス教育が義務づけられており、大学が提供する説明会等の受講（義務）及び e-learning 教材の研究費コンプライアンス教育部分の受講（推奨）が必要となります。詳細及び e-learning 教材の受講等に関しては、G-way のお知らせをご確認ください。

不正行為に対する処分について

学業上の不正行為

学業上の不正行為とは、参考文献等の持ち込みを許されていない定期試験等において、自らが作成した文書、器具、他人の答案等を使用するなど、正しく教育を受けるべき大学院生としてあるまじき行為等が対象となります。

また、論文またはレポートの作成において、他人が作成したものを盗用すること（盗作、剽窃）、調査データを改ざんすること、分析結果を偽ることなど、研究に携わる大学院生としてあるまじき行為等が対象となります。

学業以外の不正行為

学業以外の不正行為とは、犯罪行為、人権を侵害する行為など、本学の秩序を乱す行為、大学院生としての本分に反した行為等が対象となります。

処分の内容

不正行為者に対する処分は、訓告、停学、退学のいずれかです（学則第 56 条）。停学については、1 週間～3 ヶ月と 6 ヶ月の 2 種類とされています。

なお、処分の発効日は、原則として、処分通知書の交付日となります。

学業上の不正行為に対する取扱

- (1) 訓告処分を受けた場合、当該科目の履修を無効となります。
- (2) 停学処分を受けた場合、当該科目の履修を無効とされます。さらに、当該学期（不正の発生した学期）または当該学年（不正の発生した学年）について、全科目の履修を無効とする場合があります。
- (3) 停学期間中は、履修登録、授業出席、及び試験受験は認められません。

学業以外の不正行為に対する取扱

事案に応じて決定されます。

処分の手続き

不正行為者に対する処分は、以下の手順にしたがって決定、実施されます。

- (1) 学業上の不正行為については、当該科目担当教員が不正行為等の経緯を研究科長に報告する。学業以外の不正行為については、事実を知り得た教職員が不正行為等の経緯を研究科長に報告する。
- (2) 研究科長は、学長に報告した上で、研究科長、学務担当副学長、プログラムディレクター、当該科目担当教員、その他必要と認める者から構成される調査委員会（委員長：研究科長）を設置する。
- (3) 調査委員会は不正行為等に関する事実関係を整理した上で、当該学生に対する処分案を作成し、学長に提案する。
- (4) 学長は、調査委員会からの提案を受けて最終処分案をまとめ、研究教育評議会の議を経た上で、決定する。
- (5) 学長は、決定された処分について当該学生に通知する。
- (6) 処分について不服申立てのあった場合には、学長が調査委員会に調査を付託する。調査委員会は申立て内容について調査し、その結果を学長に報告する。
- (7) 不正行為に対する処分案の内容が変更になった場合には、再度研究教育評議会に諮った上で、決定する。
- (8) 不正行為に対する処分は、当該学生の氏名及び学籍番号を除き、当該学生の所属、処分の内容及び事由を学内に公示する。

科目番号の分類

アルファベット順

CUL	(文化政策)
DEV	総合系 (開発政策)
DMP	Disaster Management Policy Program Disaster Management Program
DRM	(防災・危機管理)
ECO	経済系
EDU	(教育政策)
EPP	Economics, Planning and Public Policy Program
GEN	総合系 (総合)
GGG	GRIPS Global Governance Program
GLD	国際的指導力育成プログラム
GOV	政治系
IPR	知財
LAN	語学
MEP	Macroeconomic Policy Program
MOR	総合系 (オペレーションズリサーチ)
MSP	Maritime Safety and Security Policy Program
PAD	政治系 (行政)
PFP	Public Finance Program
PPP	(公共政策)
REG	(地域政策)
SSP	戦略研究プログラム
STI	(科学技術イノベーション政策)
UPP	まちづくり
YLP	Young Leaders Program

設置形態及び学問分野別

University Wide Courses

- ・ 経済系
ECO
- ・ 政治系 (政策科学、国際関係、行政)
GOV
PAD
- ・ 総合系 (文化政策、開発政策、防災・危機管理、教育政策、総合、オペレーションズリサーチ、公共政策、地域政策、科学技術イノベーション政策)
CUL
DEV
DRM
EDU
GEN
MOR
PPP
REG
STI
- ・ 語学
LAN

Program Specific Courses

EPP
GGG
GLD
IPR
MEP
MSP
PFP
UPP
YLP

Independent Program Courses

DMP
SSP

科目番号の読み方

4桁の数字の千の位は科目のレベルを示す

千の位の数字	科目のレベル
1	入門レベル
2	第2レベル
3	応用科目
4	論文指導等
5	その他特殊科目
6～9	博士課程科目

4桁の数字の百の位は分野を示す

・ 経済系科目 (ECO)

百の位の数字	分野
0	理論 (ミクロ経済学、マクロ経済学)
1	財政、社会保障、労働経済学
2	規制経済学、法と経済
3	都市経済学、交通経済学
4	国際経済学
5	環境経済学
6	金融、マクロ経済政策、金融政策
7	計量、費用便益分析
8	開発経済学
9	その他

・ 政治系科目 (GOV)

百の位の数字	分野
1	国内政治
2	国際政治
3	比較政治
4	地域研究
5	行政学
6	特定政策課題
7	政治哲学、政治思想
8	未定
9	その他

・ 教育政策系科目 (EDU)

百の位の数字	分野
1	政策マネジメント系
2	教育経済系
3	地域系
4	国際系
5	歴史系
6	その他

・ Disaster Management Policy Program (DMP)

百の位の数字	分野
0・1	Disaster Management Policy (Common subjects including thesis)
2・3	Seismology
4・5	Earthquake Engineering
6・7	Tsunami Disaster
8・9	Water-related Disaster Management

数字の後のアルファベット 1文字目は使用言語を示す

E	英語
J	日本語

数字の後のアルファベット 2文字目は同一講義が複数ある場合のセクションを示す

A	セクション A
B	セクション B

例

ECO1020EA	経済系 入門レベル 理論 英語 セクション A
-----------	-------------------------------------

修士課程における学位論文等の評価基準及び審査体制

評価基準

本学学生は大部分が政府機関等からのミッドキャリアの派遣学生であるため、修士論文は政策形成能力の向上を目指すことを目的とし、各自の関心のある特定の政策的課題を取り上げ、各種の学際的学問分野（経済学、政治学、行政学、工学、及び学際領域）のディシプリンを用いた政策効果の分析及び政策評価等の政策分析を行っています。それぞれの教育プログラムにおいて修士論文又は特定の課題についての研究を評価する際は、その特性に応じて、各種の学問的方法論に基づいた客観的、合理的な分析であるか否かを基準とし、独自に評価を行うものとします。

なお、この評価基準は、各教育プログラムにおいて、入学時のガイダンスで周知するものとします。

審査体制

各教育プログラムごとに、論文発表会等を実施し、質疑応答を行った上で、複数の本学教員からなる審査委員による審査を経て、可否を判断します。この審査結果に基づき、修士課程委員会における審査を経て、研究教育評議会で最終的に可否判断を行います。

修士課程の修了要件

プログラム	修了要件	学位
公共政策プログラム ・地域政策コース ・文化政策コース ・インフラ政策コース ・防災・危機管理コース ・医療政策コース ・農業政策コース ・科学技術イノベーション政策コース ・国際協力コース ・総合政策コース	履修方法（カリキュラム）(1) 修士課程公共政策プログラムに掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから4単位、区分Ⅱから8単位以上を履修し、合計30単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ最終試験に合格すること。 また、区分Ⅲから所定のコース指定科目10単位を履修するとともに、当該コースに関連する特定の課題についての研究成果の審査に合格することをコースの修了の条件とする。	修士（政策研究） 修士（文化政策） 修士（インフラ政策） 修士（防災政策） 修士（公共政策）
科学技術イノベーション政策プログラム	履修方法（カリキュラム）(2) 修士課程科学技術イノベーション政策プログラム（2年制）に掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから4単位、区分Ⅱから18単位以上を履修し、合計30単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。	修士（公共政策）
戦略研究プログラム	履修方法（カリキュラム）(3) 修士課程戦略研究プログラムに掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから23単位、区分Ⅱから9単位以上を履修し、合計32単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ最終試験に合格すること。	修士（政策研究）
国際的指導力育成プログラム	履修方法（カリキュラム）(4) 修士課程国際的指導力育成プログラムに掲げる授業科目のうち、区分Ⅰから4単位、区分Ⅱから20単位以上を履修し、合計30単位以上（区分Ⅹに属する授業科目の単位を除く。）を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ最終試験に合格すること。	修士（政策研究）

修士課程プログラム

修士課程(国内プログラム)

公共政策プログラム

公共政策プログラムは、中央省庁や地方自治体、民間企業等の幹部候補職員や、政策研究志望者など、様々な分野で政策研究を必要とする者を対象とし、高度な専門的知識を有するだけでなく、責務の自覚を持つ専門的指導者や新しいタイプの政策研究者を養成するためのプログラムです。

所属するコースによっては、英語による授業の履修が必須となる場合もあります。また、英語による5科目を履修する Global Studies コースを併せて修了することも可能です。

公共政策プログラム 地域政策コース

地域政策コースは、地方創生や地方分権が進む中で、豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を持つ将来の自治体幹部となる人材の養成を目的としています。

このコースは、全国の自治体から有望な若手職員を集め、将来の自治体幹部候補生として育成するための特別のコースです。自治体や地域に焦点を当てた講義科目を多数展開するとともに、学生は、最も今日的かつ先進的な政策課題を選択し、指導教員によるきめ細やかな指導の下、政策の企画・立案・戦略を構想し、ポリシーペーパーをまとめ上げます。

他コースや他プログラムを含め、全国の自治体から集う学生同士のネットワークは、本人及び自治体双方にとって貴重な財産となります。また、海外からの留学生と積極的な交流を図ることにより、グローバルな時代の自治体職員にふさわしい国際感覚が身に付くとともに、国際的な広がりを持った幅広いネットワークを形成することも可能です。

自治体の総務企画部門を中心に幅広い分野で活躍することができる、中央省庁の行政官を凌駕するような能力を備えた中核的人材・高度のジェネラリストを養成することを目指します。

公共政策プログラム 文化政策コース

21世紀における日本の文化政策は、これまでの歴史や文化を継承しながら、新たな文化を創造し発展させていく枠組みをどのように構築していくのか、そして豊かで魅力のある社会の創造や人々の心の豊かさをもたらすための条件整備、制度のあり方を政策課題として追究する必要があります。さらに、文化政策の企画立案、実施に

当たっても、広く地域のニーズ、民意を反映し、効率的かつ効果的な運営が求められています。文化や芸術も社会の特殊な一部分としてではなく、地域コミュニティとそこに住む人々の日常生活に密着し、新たな価値を生み出す経済社会の重要な資源の一つとしてとらえられる必要があるでしょう。その意味で、文化政策研究は、芸術文化の振興や文化遺産の保存・継承・発展などに加えて、地域の持続可能な発展との関わり、多様な価値観に基づく文化の多様性の擁護、ソフトパワーとしての可能性など、より広い課題を対象として行われる必要があります。

このような考え方に基づいて、本コースでは、公共政策学、公共経済学に理論的基礎を置きつつ、マネジメント論、マーケティング、オペレーションズ・リサーチなど他分野での研究成果なども取り入れるとともに、仮想評価法(CVM)、コンジョイント分析、あるいは経済波及効果分析などの定量的評価法も応用しながら、実務関係者・団体との密接な連携の下、具体的かつ実証的に文化政策の課題を検討します。本コースで得られる方法論や知見、人脈は、文化に関わる高度専門家としてのキャリア形成に大きく貢献するでしょう。

公共政策プログラム インフラ政策コース

国の発展にとって重要な役割を果たす国土政策、都市政策、社会資本政策を中心に、その基礎となる経済学、政策評価、民間資金による社会資本整備・管理、事業に実施に必要なプロジェクトサイクルマネジメントや景観設計などについて重点的に教育します。修学期間は1年のコースと1年3ヶ月のコースを選択することができます。

経済の国際化に伴う地域間競争や水平分業、人口動向の変化、地域間所得格差、地球環境問題など、国土政策、社会資本政策を取り巻く環境は大きく変化してきました。政策評価、事業評価、パブリックインボルブメント、PFIや指定管理者制度、社会資本の高齢化に伴うアセットマネジメントなど、従来の個別学問分野のみでは対応できない業務も拡大しています。これらの課題に対応して、官・民を問わず地域の活性化、環境整備、社会資本などに係る分野や組織において、我が国のリーダーとなる人材を養成することが本プログラムの目的です。

公共政策プログラム 防災・危機管理コース

本コースは、東日本大震災をはじめとするこれまでの災害の教訓等を踏まえ、今後想定される南海トラフ地震、

首都直下地震、大規模水害、火山噴火などの巨大災害や各種危機に備えて、防災・危機管理に関する最新の取り組み、課題等について学ぶことにより、総合的な専門知識を有し、関連政策の企画や実践に係る高度な能力を有するエキスパートを養成することを目的としています。

このコースでは、工学・経済学・政治学・行政学など幅広い分野の知見を有機的に結びつけた教育パッケージを準備しています。また、多くの教員は、中央政府、地方自治体等における関連業務の実務経験が豊富で、実践的な政策能力を養う教育が行われます。さらに、関係する中央省庁や地方自治体などの災害関連機関、研究機関等との連携・協力により、先進的な教育・研究を目指します。

学生は、政策研究の基礎となる科目を履修するとともに、自ら設定した研究課題に関する論文を作成します。論文作成の過程では、ゼミや発表会を通じ、また、担当教員の個別指導を受けながら、問題分析能力や政策立案能力を高めていきます。

また、災害の被災地を訪れ、現地で苦勞されている方々の声を直接聞き、意見交換を行う被災地学習や、防災中核機関への訪問学習、防災・危機管理を担う人材の育成に必要な取組みを積極的に展開します。

本コースで1年間学んだ学生が、修士（防災政策）の学位を取得し、修了後、培った能力を国・自治体・企業等それぞれの所属で大いに発揮するとともに、防災・危機管理のネットワークを構築し、連携・協力を図ることにより、安全・安心の国・地域づくりに大きく寄与することを期待しています。

公共政策プログラム 医療政策コース

医療政策コースは、医療政策を展開する上で必要な理論・知識や分析手法を修得するとともに、医療やその関連分野の政策動向や課題の本質を理解し、総合的かつ実践的な政策展開を図ることができる人材を育成することを目的としています。

講義や演習は理論的かつ体系的な内容を用意しつつ、同時に医療政策の実践的な展開に役立つ内容となるよう十分配慮します。

医療政策と一口にいても、自治体をはじめ派遣元が抱えている問題状況は様々ではありません。学生の関心も多様だと思われます。ポリシーペーパーの作成においては、学生の関心や派遣元が抱えるニーズ等を踏まえ適切なテーマを設定できるよう配慮するとともに、その内容が今後の政策展開に資するものとなるようきめ細やかな指導を行います。

公共政策プログラム 農業政策コース

少子・高齢化等に伴う国内のライフスタイルの変化や世界の食市場の規模拡大などが進む中、農産物や農山漁村の暮らしに付加価値をつけ、地域独自の魅力を創造していくことは、これからの地域活性化には無くてはならないアプローチです。このようなアプローチで地域を活性化するためには、現場に根差したユニークな政策を企画・立案し、これを農林漁業者や食品事業者などの民間のパートナーと協働して着実に実践することが必要となっています。

農業政策コースでは、政策研究・立案のプロフェッショナルによる実践的な講義、農業・食品産業などマーケット最前線のビジネスパーソンや農林水産省等中央省庁職員との交流、海外政府や他の自治体など多様なバックグラウンドを持つ学生とのネットワーク構築、学生の関心や各自自治体が抱えるニーズ等を踏まえた今後の政策展開に資するポリシーペーパーの作成等を通じて、公共政策を展開する上で必要な理論・知識や分析手法を修得するとともに、農業やその関連分野の政策動向・課題の本質を理解し、総合的かつ実践的な政策展開を図ることができる人材の育成を目指します。

公共政策プログラム 科学技術イノベーション政策コース

知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学技術イノベーション政策の役割は、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題、さらにはSDGsを含めた社会課題の解決のためにも急速に高まっています。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。

こうした背景のもと、本コースでは、科学技術イノベーション政策に関する学問的ならびに実務の専門知識に沿って、科学的アプローチを用いて、科学技術イノベーション政策や戦略の企画・立案・実行、評価、修正の実務をおこなうことができる専門職業人や、将来、博士課程に進学するなどして科学技術イノベーション政策に関する研究者になることを目指す者の育成を行います。

公共政策プログラム 国際協力コース

地球的規模で持続可能な開発目標（SDGs）の達成が求められる中、本コースは、国際開発・国際協力の分野において国内外の様々な立場から指導的役割を果たす人材を養成することを目標としています。

このため、本コースの学生は、公共政策プログラム全体の必修科目・選択必修科目に加えて、コース指定科目

として、英語で行われる国際開発関係の5つの専門科目の履修を義務付けられます。更に、選択科目として本学の英語・日本語で行われる多様な科目を履修することができます。本学は、全学生の約3分の2が留学生という国際的な環境であることから、英語で行われる科目では留学生たちと共に学ぶことになります。また、開発途上国が直面する課題、グローバルな開発課題、国際開発政策や国際協力事業の立案・実施にかかる諸問題等をテーマに、ポリシーペーパーを作成します。

これらを通じて、公共政策全体の基盤となる知識の習得に加えて、高度開発人材として求められる専門的知識の習得、世界各国の政府部門で働く留学生たちとの政策議論、人的ネットワーク形成の構築が可能となります。

公共政策プログラム 総合政策コース

本コースは、多様なニーズの受け皿となるべく、多様な履修形態を整備しており、その柔軟性に特徴があります。このコースで学んだ学生が、公共政策の現場において、その能力を最大限発揮できるよう、問題分析能力と政策構想能力を修得するためのトレーニングを中心としたカリキュラムを組んでいます。

具体的には、各自の政策課題に応じて、履修する5科目を自己申告し、例えば、外交、防衛、財政、金融、産業、通商、環境、労働、福祉などの政策分野を特定します。本コースの修了には、自己申告5科目の履修と、特定した政策分野に関連する研究の実施が要件となります。入学後半年間で政策研究の基礎となる科目を集中的に履修し、その後半年間で、自ら設定した研究課題に関する論文を作成し、政策提言を行います。論文作成の過程では、指導教員による指導が行われ、問題分析能力や政策構想能力を高めることができます。

また、Global Studies コースを併せて修了することが推奨され、海外における研修と組み合わせたり、特定課題をより深く研究することを希望する学生には、フィールド・リサーチを必要とする修士論文の執筆を求めるなど、標準修了年限を前提としつつも、在籍期間の延長も含めて、ニーズに応じた多様な履修形態を可能としています。

科学技術イノベーション政策プログラム

知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学技術イノベーション政策の役割は、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題、さらにはSDGsを含めた社会課題の解決のためにも急速に高まっています。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベ

ーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。

こうした背景のもと、本プログラムでは、科学技術イノベーション政策に関する学問的ならびに実務的専門知識に沿って、科学的アプローチを用いて、科学技術イノベーション政策や戦略の企画・立案・実行、評価、修正の実務をおこなうことができる専門職業人や、将来、博士課程に進学するなどして科学技術イノベーション政策に関する研究者になることを目指す者の育成を行います。

教授陣には、国内外の優れた科学技術イノベーション政策研究の専門家を揃え、さらに、より実践的な研究教育を行うため、科学技術イノベーション政策を専門とし、第一線で活躍する実務家を講師として迎えています。また、優れた研究者や実務家を招いた研究会、講演会も開催します。

平日夜間、土曜日の授業を中心とする2年制プログラムです。

戦略研究プログラム

本プログラムは本学と防衛省防衛研究所との連携プログラムであり、安全保障・防衛政策に携わる日本及び各国の幹部級実務者に対し、より高度な政策立案・実施能力、情報収集・分析および発信能力、関係諸国との対話能力などを獲得するために必要な教育を実施するとともに、政策研究のための場を提供することを目的としています。

学生は、本学と防衛研究所において必修及び選択必修の各科目を履修します。必修科目としては、国際安全保障論、戦略理論、法と安全保障、経済と安全保障、各地域における安全保障問題など、安全保障に関する基礎的な知識から実務に活用できる科目や、戦争史原論や近代日本の軍事史など、長期的な視点から安全保障・防衛政策を考えるために必要な科目まで、広範に設定しています。

また、選択必修科目としては、米国、中国、朝鮮半島、東南アジア、南アジア、中東などについて地域別に安全保障問題を考察するための科目とともに、国際政治学概論、政軍関係概論、宇宙と安全保障、防衛産業・技術開発概論などの分野別の科目を、それぞれ学生の関心に応じて履修することができます。さらには、東アジアの歴史認識をめぐる諸問題など、安全保障政策に影響を与える課題に関する科目も開講されます。

さらに本プログラムでは、講義等で学んだことを実際の政策に結びつけるための手段として、政策シミュレーションを取り入れています。学生は、政策決定過程に関する講義を受けた後、各種のシナリオに基づいて安全保

障・防衛政策のあり方を研究・討議するとともに、政府機関等の対応や関係諸国との調整、各種法制の適用などについて演習を行います。

最後に、修士論文にあたるリサーチペーパーについては、入学後なるべく早い時期にテーマと指導教員を決定し、修了までの1年間で執筆します。論文執筆にあたっては、各学生につき、原則、本学と防衛研究所から1名ずつ、計2名の教員が指導します。

国際的指導力育成プログラム

激動する世界のなかで、官民を問わず国際場裏で個人としてリーダーシップをとることのできる人材が求められています。現在の世界では、日本が欧米以外で唯一の先進国であり経済大国であるなどといって特別待遇を受けることはありえなくなり、日本政府の職員であるから、あるいは日本の有力企業の職員であるからというだけで、一目おいてもらえる時代ではありません。

従来型の二国間外交に加えて多国間外交が頻繁に繰り上げられる世界では、これまで以上に国際情勢に通じ、戦略感覚にあふれ、コミュニケーション能力に優れ、敬意をもたれつつ指導力を発揮できる人材が求められています。さらにそのような「外交力」が必要とされるのは、外務省職員にとどまらず、いまやほぼすべての中央省庁、政府関係機関、地方自治体に及んでいます。民間企業にしても、国際政治情勢が急速に変化するなか、「地政学リスク」を的確に判断しつつ、関係企業との交渉、さらには各国政府や国際機関やNGOへの働きかけのできる人材が求められています。日本のメディアもまた、世界情勢を日本に伝えるだけでなく、日本の情報を世界に発信することが必要とされています。

国際関係の体系的な理解や実践的トレーニングを重視している本プログラムは、このような人材育成に特化し、組織や国のブランドに依存しない、真の外交力を備え、組織の国際交渉を率いる人材を育成することを目的としています。

修士課程(国際プログラム)

Young Leaders Program

ヤング・リーダーズ・プログラム (Young Leaders Program : YLP) は、2001年に開始した文部科学省の奨学金プログラムです。YLPは、アジア諸国等の将来のナショナル・リーダーの養成に貢献すること、各国の指導者層の間に人的ネットワークを創ること、我が国を含む諸国間の友好関係を構築すること、及び各国の政策立案機能を向上させることを目的としています。

本プログラムは、政策立案者及び将来の政治的指導者の養成を目的としたプログラムであることを特徴としています。日本の政治や経済についての理解を深め、同時に、地域・国際社会の政治経済について、比較と歴史的視点に基づいた知識を身につけさせることを目指しています。

本学では、2001年から行政コースを、2009年から地方行政コースを実施しています。いずれのコースも、行政学や政策研究に関する様々な科目が提供されるとともに、政治家や、政府高官、実業界の幹部、地域社会のリーダーとの政策論議の機会が用意されています。両コースを対象としたコロキウム及び講義とともに、行政コースにはフィールドトリップ、地方行政コースにはワークショップ、両コースにインディペンデント・スタディの提出が課されるなど、中央省庁や地方公共団体など他機関との連携により、実際の課題に即して政策研究を行う機会も設けられています。

One-year Master's Program of Public Policy (MP1)

1年制公共政策プログラム (MP1) のカリキュラムは必修科目、選択科目から成り立っており、4つの政策専門領域 (経済政策、国際開発政策、国際関係、公共政策) から1つの分野を選択し、より専門的な知識を習得していきます。その他の多様な選択科目では視野を広げたり知識を深めたりすることができます。同時に、政策実務担当者・経験者による実用性を重視した高度な教育も実施しています。

Two-year Master's Program of Public Policy (MP2)

2年制公共政策プログラム (MP2) は、1年制公共政策プログラム (MP1) を土台に、政策分析能力の向上により重点をおいた教育を施します。1年次には複数領域にまたがった基礎的な分析能力を身につけるとともに、4つの政策専門領域 (経済政策、国際開発政策、国際関係、公共政策) から1つの分野を選択してより専門的な分析能力を獲得していきます。あわせて、学術的・実務的な様々な選択科目を履修することができます。2年次には、それまでに習得した専門的・実用的な知識・スキルを駆使して、選択した専門政策領域の教員の指導を受けつつ修士論文を執筆します。

Macroeconomic Policy Program

Macroeconomic Policy Program (MEP) は、マクロ経済の変動、国内外の財政・金融政策の影響や役割を理解し、政策対応ができるマクロ経済政策の専門家を育成することを目指しています。マクロ経済学の考え方を基礎

とし、マクロ経済政策の分析、立案、実施を理論的及び実証的な手法と観点から教育するプログラムです。

本プログラムは、従来の **Transition Economy Program** を受け継いで発展したプログラムで、1年プログラムと2年プログラムがあります。1年プログラムの履修単位は34単位、2年プログラムは44単位です。短期間での学位取得を希望する方には1年プログラム、時間に余裕があり、修士論文を執筆したい方や分析技術の向上により一層専念したい方には2年プログラムを履修することを勧めます。

ポリシーペーパーや修士論文の執筆では、本プログラムの中心となる教授陣が演習を通じてきめ細やかな指導を行います。また、定期的に関催される **GRIPS** フォーラムは、国内外の政治経済に関する主要な問題について理解する絶好の機会を提供します。週に一度開催される研究会では最先端の経済学研究に接することができます。

本プログラムのカリキュラムは必修科目、選択必修科目、選択科目、その他の科目から成り立っています。マクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学を含む必修科目では、経済学の原理と理論及びマクロ経済政策の設計と評価に関する実践的な分析技術を養います。さまざまな選択必修科目及び選択科目を通じ、金融政策、財政政策、国際貿易、金融市場など、関心がある特定の領域において自分の専門性を高めることができます。

Public Finance Program

開発途上国の租税政策及び関税政策への知的支援の観点から、将来それらの分野で責任を負うこととなる若手行政官を主たる対象として、経済学を主とし、政治学ならびに行政学等に関する専門的教育を行うとともに、国税庁税務大学校、財務省税関研修所との連携による実践的教育 (**Practicum**) を実施し、我が国の政策経験を踏まえた高度な専門的行政能力の育成を目指しています。本プログラムは、世界銀行 (**WB**) 及び世界税関機構 (**WCO**) の全面的な支援によって運営されており、**Joint Japan / World Bank Graduate Scholarship Program** による **Tax Course** と **Japan-WCO Human Resource Development Programme** による **Customs Course** からなっています。

Economics, Planning and Public Policy Program

アジア最大の民主主義国のひとつであるインドネシアは、今、大きな変革が行われています。インドネシアの民主化と地方自治のプロセスは政治、経済及び社会を大きく変えています。この大変革を順調に乗り越えるためには、優秀な人材養成が急務です。

本プログラムは、インドネシアの中央政府及び地方自治体において、インドネシアのグッド・ガバナンスと経済発展に貢献できる人材を養成することを目的としています。修士課程1年目の教育をインドネシアの有力国立大学 (インドネシア大学、ガジャマダ大学、ブラウウィジャヤ大学、パジャジャラン大学) において行い、2年目の教育を本学で行う、2年間の共同プログラムです。このプログラムでは、経済学、政治学、公共政策、公的管理など、将来の職務に必要となるコア・スキルの育成に重点を置きつつ、多くの専門分野と幅広いテーマの中から、学生は個々のニーズにあった履修を選択できるようになっています。修了者に対しては、本学及びインドネシアの大学からそれぞれ修士の学位が授与されます。

学生はさらに、本学の教授陣や他のプログラムに在籍する世界中の行政官との交流を通じて、幅広いネットワークを形成することや国際感覚を身に付けることができます。

Disaster Management Policy Program

本プログラムには、「地震学・耐震工学・津波防災コース」「水災害リスクマネジメントコース」の2コースがあります。

(1) 地震学・耐震工学・津波防災コース

GRIPS-BRI Joint Program

地震学・耐震工学コースは、2005年に本学と国立研究開発法人建築研究所 (**BRI**)、独立行政法人国際協力機構 (**JICA**) との連携により開設されました。翌年の2006年には津波防災コースが追加開設されました。

地震災害は、他の自然災害と比較して、人命損失、家屋倒壊、社会的財産への打撃など、その被害が甚大であること、地震発生予知が困難であることなどから、その被害を軽減するための事前の防災対策が重要視されています。

先進国では、地震学、耐震工学及び津波防災分野の発展により防災対策の充実が図られ、社会が地震に対して、より安全になってきましたが、地震多発地域に存在する発展途上の国々では依然として地震や津波に対して脆弱な状況が続いています。発展途上国における地震安全性を高めるためには、防災に係る技術と知識を先進国からそのまま移転するのではなく、それぞれの国の実情や社会システムに適合するような技術や制度を開発することが不可欠です。そのためには、地震学、耐震工学及び津波防災等における高度な知識や技術を備え、優れた行政能力を有する人材の養成が必要です。

このプログラムでは、講義と演習を通して、地震防災に必要な地震学、耐震工学及び津波防災分野の知識及び

技術を修得し、日本の経験を基にした防災政策の理論と実践を学びます。加えて、実習と問題解決演習を通して、それぞれの国特有の問題に対して、習得した知識や技術、政策理論を適用させる能力を身につけさせることにより、開発途上国における地震・津波防災政策分野の専門家養成を目指します。

(2) 水災害リスクマネジメントコース

GRIPS-PWRI Joint Program

このコースは、2007年に本学と国立研究開発法人土木研究所（PWRI）、独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携により、開設されました。

洪水や渇水などの水に関連する災害は、人類の持続可能な開発、貧困の削減を実施するために克服すべき主要な課題の一つです。激甚な水関連災害は、これまで世界各地で発生しており、近年、その数が増えつつあるだけでなく、人口の急激な増加、都市への人口・資産の集中、及びハイテクなどの資産の高度化に伴い、その被害・影響も増加する一方です。また、将来的には地球温暖化に伴う気候変動によって降雨量およびそのパターンの変化が予想されており、それによる水関連災害の深刻化・頻発化が懸念されます。併せて、地球温暖化に起因する海面上昇が世界的に予想され、沿岸域、河川下流のデルタ地域、小島嶼への影響がさらに深刻化することも予想されています。

これらの水関連災害の軽減のためには、堤防やダムなどのハード整備と、早期警報システムや洪水ハザードマップなどのソフト対策がバランス良く行われることが必要ですが、予算や人的資源が限られている開発途上国においては、それらに関する知識や技術を持つ技術者が少ないのが現状であり、高度な知識と技術を備えた優れた行政能力を有する人材の育成が急務とされています。

このプログラムでは、講義と演習を通じて、水文学や河川工学などの基礎工学、さらにソフト施策の立案に必要な総合洪水リスクマネジメントや洪水ハザードマップの知識及び技術を習得します。併せて、水関連災害軽減のための代表的施設であるダムや砂防施設に関する知識及び技術を習得します。加えて、実地での演習を通して、習得した知識や技術、政策理論をそれぞれの国特有の問題に適用させる能力を身につけさせることにより、開発途上国における水関連災害防災政策分野の専門家養成を目指します。

Maritime Safety and Security Policy Program

海上保安政策プログラム（Maritime Safety and Security Policy Program）は、本学と海上保安庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）との連携により開設され

たプログラムで、日本国内・国外の海上保安機関で勤務する実務者を対象として、海上で発生する種々の課題に的確に対処するために必要な高度な知識、分析・提案能力及び国際的にも通用するコミュニケーション能力を有する人材を育成することを目的としています。

カリキュラムは、本学の他の国際プログラムと同様の基礎科目である国際関係論や国際安全保障論に加え、海上保安機関に属する実務者として必要不可欠な海洋法、地域研究、海上保安政策など、本プログラムの特色ともいえる科目で構成されています。さらには、海上で発生する種々の事案への対応能力を身につけるべく、過去の事例などを参考にした、あるいはシナリオを用いた実務的な演習も置かれています。また、学生が個別のテーマを設定し、1年の就学期間中に上記の各科目で習得した知識のみならず、自らの実務経験や自身が調査し、身につけた知識も併せて、担当教員の指導を受けながらリサーチペーパーを執筆します。

学生は、毎年10月の入学後、翌年3月までは本学において必修及び選択必修の各科目を履修し、その後、7月までは海上保安大学校（広島県呉市）へ移動して授業・演習などを行います。海上保安大学校においては、必修科目として救難防災政策、海洋警察政策などを設定し、それ以外にも、実務者として必要となる分野を学生各自が選択できるように選択科目も設けています。選択科目においては、犯罪取り締まりに関する知識の習得や、政策策定の重要な要素となる理工学的素養の獲得が可能になるように配慮しています。

前述の通り、本プログラムは本学と海上保安大学校と2カ所で実施することになるので、オンライン会議システムを活用した遠隔指導などを行いながらリサーチペーパーの作成に取り組むことになります。

修士課程プログラム概要

プログラム		概要
4 月開始 (日本語で実施)	公共政策プログラム	政策分析力、政策構想力を磨き、政策研究の最先端と実務の世界の架け橋となる人材を育成するとともに、複雑化・多様化する政策課題に対し、より総合的な視点から解決策を提示し、対応を図れる人材を育成する。
	地域政策コース	地域レベルにおいて、豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を有し、高度のジェネラリストとして自治体の中枢を担うことができる人材を育成する。
	文化政策コース	文化的資源を対象とする政策の分析、評価、企画立案及び実施能力を有する人材を養成する。
	インフラ政策コース	国内外の地域開発政策や社会資本整備に携わる高度な専門家を育成する。
	防災・危機管理コース	安全・安心の国・地域づくりを進めるため、事前の対策を含めた防災・減災、緊急時の危機管理、事後の復旧・復興等に関する政策について総合的な判断・企画立案・実践能力を有する防災・危機管理のエキスパートを育成する。
	医療政策コース	理論的かつ体系的な講義や医療政策の実践に役立つ演習を提供するとともに、医療政策に関するポリシー・ペーパーの作成指導を行うことを通じ、将来の医療政策を担う人材を育成する。
	農業政策コース	農業を核とする地域活性化のための政策（「農業政策」）に関する専門的知識・技術に加え、政策構想力と行政運営能力を有する人材を養成する。
	科学技術イノベーション政策コース	科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材を育成する。
	国際協力コース	地球的規模で持続可能な開発目標（SDGs）の達成が求められる中、国際開発・国際協力の分野で指導的役割を果たす人材を養成する。
	総合政策コース	多様な政策領域に共通する基礎的な知識・技術に加え、既存の特定課題・分野に捉われず、自ら研究テーマを設定し、その分野に関する専門的知識・技能を習得することにより、より総合的な視点から解決策を提示し、対応を図れる人材を育成する。
	科学技術イノベーション政策プログラム	科学的なアプローチを用い、科学技術イノベーション政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材を育成する。
	国際的指導力育成プログラム	国際情勢に通じ、戦略感覚とコミュニケーション能力を備え、組織の国際交渉などで優れた指導力を発揮できる人材を育成する。

10 月開始 (日本語・ 英語で実施)	戦略研究プログラム	安全保障・防衛政策に携わる日本及び各国の幹部級の実務者に対し、より良い政策立案・実施のために必要な高度で幅広い最新の知見を獲得するための教育を実施し、また実務経験に基づく研究活動の場を提供することを目的とする。
(英語で実施)	Young Leaders Program	アジアや中欧諸国等のナショナル・リーダーを育成し、日本を含め各国における行政分野のリーダー間のネットワークを構築する。
	One-year Master's Program of Public Policy (MP1) Two-year Master's Program of Public Policy (MP2)	多様な政策課題に対応できる高度な政策立案能力、分析能力を有する人材を育成する。
	Macroeconomic Policy Program	マクロ経済政策の専門家を育成する。
	Public Finance Program (Customs コースのみ 9 月開始)	開発途上国の租税政策及び関税政策専門家を養成する。
	Economics, Planning and Public Policy Program	インドネシアのグッド・ガバナンスと経済発展に貢献する人材を養成する。
	Disaster Management Policy Program	開発途上国における防災分野の専門家を養成する。
	Maritime Safety and Security Policy Program	海上で発生し得る種々の課題に的確に対処できる高度な知識、分析・提案能力及び国際的にも通用するコミュニケーション能力を有する人材を育成する。

3. 修士課程

2023年度 履修方法（カリキュラム） (1) 修士課程 公共政策プログラム

区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単位	修了に必要な単位
区分Ⅰ 必修科目	PPP4000J	政策論文演習	関係教員	秋、冬	4	4
区分Ⅱ 選択必修科目	ECO1000JA	ミクロ経済学Ⅰ	畠中 薫里	春前	2	
	ECO1050J	マクロ経済学	仁林 健	秋前	2	8以上
	ECO2700JA	計量経済学	黒澤 昌子	春	2	
	ECO2710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2	
	GOV2100J	政策過程論	飯尾 潤	春	2	
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価	吉幸田 剛	春	2	
	GEN5020E	The World and the SDGs	未定	秋	1	
	GEN5030J	GRIPS ForumⅠ	大野 泉	春	1	
	GEN5040J	GRIPS ForumⅡ	大野 泉	秋	1	
	MOR1030J	* データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2	
	MOR1100J	* 政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ	土谷 隆、竹之内 高志	春	2	
	MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2	
	MOR2020J	** 実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2	
	MOR2100J	** 政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2	
	REG1200J	行政法の基礎	濱西 隆男	春前	2	
区分Ⅲ 選択科目					2	30
		コース指定科目（別紙参照）			2	
					2	
					2	
					2	
					2	
	CUL2130J	日本・西欧の景観街づくり	垣内 恵美子	秋	2	
	DEV2140J	景観・デザイン論	福井 恒明	冬	2	
	DEV2150J	都市学の理論と実践	岸井 隆幸、家田 仁	秋	2	
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	日比野 直彦	秋前	1	
	DEV2170J	現代インフラ政策特論	家田 仁	夏	1	
	DEV2180J	水圏国土学	知花 武佳	夏	2	
	DRM2050J	気象と災害	鈴木 靖	秋	2	
	DRM3010J	災害対策各論Ⅱ	小山内 信智	秋	2	
	ECO2000JA	ミクロ経済学Ⅱ	田中 誠	春後	2	
	ECO2020J	政府と市場	細江 宣裕	秋	2	
	ECO2100J	財政政策	井堀 利宏	秋	2	
	ECO2600J	経済政策の理論と展開	松谷 明彦	秋	2	
	ECO2900J	ゲーム理論	渡辺 隆裕	春後	2	
	ECO3100J	日本経済の現状と課題	未定	未定	2	
	ECO3330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2	
	ECO3750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	夏	2	
	GOV2110J	日本政治と理論分析	竹中 治堅	春	2	
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題：国際的整備の潮流と日本の対応	西村 清彦、萩野 寛、清水 千弘	夏	2	
	GOV6100J	政策過程論特別演習	飯尾 潤	春	2	
	PAD2030J	ベンチャー・中小企業と技術革新	橋本 久義	秋	2	
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済	橋本 久義	春	2	
	MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2	
	REG2310J	地方自治と行政学	木村 俊介	秋	2	
		上記以外の授業科目				
区分Ⅳ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				
備 考						
1 修了要件						
次の①及び②に示す要件を満たし、合計30単位(区分Ⅳに属する科目の単位を除く。)以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。						
① 区分Ⅰ 4単位						
② 区分Ⅱ 8単位以上						
2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。						
3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
4 *「データサイエンス基礎」と「政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ」の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
5 **「実践データサイエンス」と「政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ」の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
6 (別紙) コース指定科目の各コースすべての単位を取得し、特定課題研究が当該コースの政策に係るものである場合には、コースの修了証を授与する。 Global Studies コースについては、英語科目5科目(LAN科目除く)の単位を取得の他、LAN0170E Abstract Writing for Japanese Studentsを履修し、英語にて論文要旨を作成することを要件とする。						

(別紙) 2023年度 修士課程 公共政策プログラム コース指定科目一覧						
区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単 位	修了に必要な単位
区分Ⅲ 選択科目	REG1000J	地方行政論	横道 清孝	春	2	
	REG1010J	地方財政論	羽白 淳	春前	2	
	REG2900J	地方行政特論	横道 清孝、外部講師	秋	2	
	REG2930J	地方財政特論	羽白 淳、外部講師	春	2	
	REG2940J	自治体改革論	高田 寛文、外部講師	秋	2	
地域政策コース指定	CUL1000J	文化政策研究の基礎	垣内 恵美子	春	2	
	CUL2020J	文化資源論	垣内 恵美子、小川由美子	秋	2	
	CUL2110J	21世紀博物館工学	森 洋久	春	2	
	CUL2140J	シアター・マネジメント	小川由美子	秋	2	
	CUL2150J	グローバリゼーションと文化政策	岩本 渉	秋前	2	
文化政策コース指定	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	秋	2	
	DEV2040J	国土政策と社会資本整備	森地 茂	秋	2	
	DEV2080E	Infrastructure Systems Management	OZAWA Kazumasa	夏	2	
	DEV2100E	Transportation Planning and Policy	HIBINO Naohiko	春	2	
	DEV2500E	Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	春	2	
インフラ政策コース指定	DRM2000J	防災と復旧・復興	森地 茂	春	2	
	DRM2010J	災害リスクマネジメント	片山 耕治、山口 修	春後、夏	2	
	DRM3000J	災害対策各論Ⅰ	小山内 信智	春	2	
	DRM3020J	危機管理政策	室田 哲男、河村 和徳	春	2	
	DRM3030J	消防防災減災・被災地学習	武田 文男、室田 哲男	春後～秋	2	
防災・危機管理コース指定	PAD2560J	社会保障総論	小野 太一	春	2	
	PAD2570J	医療政策論	島崎 謙治	春	2	
	PAD2710J	医療経営論	田極 春美	秋	2	
	PAD2720J	医療政策特論Ⅰ	小野 太一、外部講師	夏	2	
	PAD3030J	医療政策特論Ⅱ	小野 太一、外部講師	秋	2	
医療政策コース指定	REG2030J	食料・農業・農村政策特論Ⅰ	天羽 隆	春	2	
	REG2040J	食料・農業・農村政策特論Ⅱ	天羽 隆	秋	2	
	REG2050J	現代食料・農業論	塙 靖幸、外部講師	春	2	
	REG2950J	食料・農業・農村政策概論	塙 靖幸	春	2	
	REG3120J	「食」を通じた地域振興論	塙 靖幸	秋	2	
農業政策コース指定	STI1060J	科学技術イノベーション政策概論	林 隆之、隅藏 康一、鈴木 潤、根井 寿規、飯塚 倫子、角南 篤、有本 建男	春後	2	
	STI1070J	公的機関からのイノベーション創出	隅藏康一、林 隆之、飯塚倫子	春後	2	
	STI1100J	イノベーションと経済学	鈴木 潤	春後	2	
	STI2020J	科学技術イノベーション政策史	有本 建男	春前	2	
	STI2220J	科学技術イノベーション政策と評価	林 隆之	秋	2	
科学技術イノベーション政策コース指定	ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	秋	2	
	ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	春	2	
	ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	春	2	
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	春	2	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	秋	2	
国際協力コース指定		学生が自ら研究テーマを設定し、それに基づいたコース指定科目5科目 ^{※1}			10	
		英語科目5科目(LAN科目除く) ^{※2}			10	
	LAN0170E	Abstract Writing for Japanese Students	ONO Keiko	冬	1	
Global Studies コース指定						

※1 総合政策コース指定科目は、ディレクターの許可を得て履修する。なお、コース指定科目に冬学期の科目を選択することはできないので注意すること。

※2 Global Studies コース指定科目は、各コースディレクターと相談の上、英語科目5科目を決定する。その際、同内容の日本語科目と重複する履修には注意すること。

3. 修士課程

2023年-2024年度 履修方法（カリキュラム） （2） 修士課程 科学技術イノベーション政策プログラム

区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単位	修了に必要な単位
区分Ⅰ	STI4000J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅰ	関係教員	春夏/秋冬	2	4
必修科目	STI4010J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅱ	関係教員	春夏/秋冬	2	
区分Ⅱ 選択必修科目	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ	土谷 隆、竹之内 高志	春	2	
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2	
	GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	秋	2	18
	STI1000E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	
	STI1010J	科学技術政策過程論	角南 篤	隔年春	2	
	STI1060J	科学技術イノベーション政策概論	林 隆之、隅藏 康一、鈴木 潤、根井 寿規、飯塚 倫子、角南 篤、有本 建男	春後	2	
	STI1070J	公的機関からのイノベーション創出	隅藏康一、林 隆之、飯塚倫子	春後	2	
	STI1080J	科学技術イノベーション政策立案演習	林 隆之、七丈 直弘	夏	2	
	STI1090E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	隔年春	2	
	STI1100J	イノベーションと経済学	鈴木 潤	春後	2	
	STI1110J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	長根 裕美	秋後	2	
	STI2020J	科学技術イノベーション政策史	有本 建男	春前	2	
	STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	隔年春	2	
	STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2	
	STI2060E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	隔年秋	2	
	STI2060J	高等教育・産学連携政策	隅藏 康一	隔年秋	2	
	STI2070J	科学技術外交論	廣木 謙三、角南 篤	秋後	2	
	STI2080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	
	STI2150E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	未定	2	
	STI2150J	科学技術イノベーション政策の史的比較	上山 隆大	未定	2	
	STI2160E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	秋前	2	
	STI2170E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	春	2	
	STI2190E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	春	2	
	STI2200J	科学技術とアントレプレナーシップ	隅藏 康一、牧 兼充	春	2	
	STI2210E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	秋	2	
	STI2220J	科学技術イノベーション政策と評価	林 隆之	秋	2	
	STI2230E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	秋後	2	
	STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2	
	STI2260J	科学技術行政システムと指標	林 隆之、飯塚 倫子、伊地知 寛博	春前	2	
	STI2270J	知的財産マネジメントⅠ	隅藏 康一	春	2	
	STI2280J	知的財産マネジメントⅡ	隅藏 康一	秋	2	
	STI3050E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	春	2	
	STI3060E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	春	2	
	STI3100J	科学技術イノベーション政策特論Ⅰ	未定	未定	2	
	STI3110J	科学技術イノベーション政策特論Ⅱ	未定	未定	2	
	STI3120J	科学技術イノベーション政策特論Ⅲ	未定	未定	2	
	STI3130J	科学技術イノベーション政策特論Ⅳ	未定	未定	2	
	STI3140J	科学技術イノベーション政策特論Ⅴ	未定	隔年夏	1	
	STI3150J	科学技術イノベーション政策特論Ⅵ	隅藏 康一	隔年夏	1	
	STI3160J	科学技術イノベーション政策特論Ⅶ	上山 隆大	秋前	1	
	STI3170J	科学技術イノベーション政策特論Ⅷ	未定	未定	1	
区分Ⅲ 選択科目	PAD2030J	ベンチャー・中小企業と技術革新	橋本 久義	秋	2	30
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済	橋本 久義	春	2	
		上記以外の授業科目（区分Ⅲに属する科目を除く）				
区分Ⅳ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				

備 考		
1 修了要件		
次の①～②に示す要件を満たし、合計30単位以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。		
①	区分Ⅰ	4単位
②	区分Ⅱ	18単位以上
2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。		
3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、 いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。		
4 このほか、九州大学の開講科目「科学技術社会論概説」「地域サステナビリティ」「東アジア地域の科学技術イノベーション政策」については、所定の手続きを経て、修了に必要な科目（区分Ⅱ 選択必修科目）として履修することができる。なお、九州大学の開講科目名は変更される場合がある。		

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs
(3) Strategic Studies Program 戦略研究プログラム

区分	科目番号	科目名	担当教員	学期	単位	
区分Ⅰ 必修科目	SSP4301J/E	政策論文演習／Independent Study	関係教員	秋～夏	2	23
	SSP1011J	国際安全保障論	庄司 潤一郎	秋前	1	
	SSP1012J	戦略理論	吉崎 知典	秋前	1	
	SSP1013J	法と安全保障	永福 誠也	秋前	1	
	SSP1014J	経済と安全保障	富川 英生	秋、冬	1	
	SSP1015J	米国の安全保障政策	菊地 茂雄	秋前	1	
	SSP1016J	東アジアの安全保障 1	山口 信治	秋前	1	
	SSP1017J	戦争史原論	庄司 潤一郎	秋前	1	
	SSP1018J	冷戦と日本の安全保障政策	立川 京一	秋前	1	
	SSP1021J	紛争と国際社会	大西 健	秋後、冬	1	
	SSP1022J	軍備管理・軍縮・不拡散	塚本 勝也	秋後、冬	1	
	SSP1023J	地域安全保障 1 (欧州、ロシア)	山添 博史	秋後、冬	1	
	SSP1024J	地域安全保障 2 (東南・南アジア、中東、オセアニア)	西野 正巳	冬、春前	1	
	SSP1025J	東アジアの安全保障 2	渡邊 武	秋後、冬	1	
	SSP1031J	科学技術と安全保障	大井 一史	冬、春前	1	
	SSP1032J	社会の安全と危機管理	一政 祐行	冬、春前	1	
	SSP1033J	近代日本の軍事史	進藤 裕之	冬、春前	1	
	SSP1035J	新領域と安全保障	橋本 靖明	冬、春前	1	
	SSP3301J	政策シミュレーション	松浦 吉秀	秋～春	4	
区分Ⅱ 選択必修科目	SSP1101E	Introduction to Japan's Security Challenges	SATAKE Tomohiko	秋前	1	32
	SSP2102J	中東の安全保障問題	小塚 郁也	秋前	1	
	SSP2103J	東南アジアの安全保障	庄司 智孝	秋前	1	
	SSP2104J	軍事史史料とこれからの文書・資料	菅野 直樹	秋前	1	
	SSP2105J	政軍関係概論	坂口 賀朗	秋前	1	
	SSP2106J	朝鮮半島をめぐる安全保障	室岡 鉄夫	秋前	1	
	SSP2108J	武力行使と国際法	永福 誠也	秋後、冬	1	
	SSP2110J	中国軍事思想概論	門間 理良	秋後、冬	1	
	SSP2111J	日本軍事史	立川 京一	秋後、冬	1	
	SSP2112J/E	国際政治学概論/Introduction to International Politics	塚本 勝也	秋後～春前	2	
	SSP2113J	民間軍事会社の現状と課題	小野 圭司	秋後、冬	1	
	SSP2114J	海洋安全保障	原田 有	秋前	1	
	SSP2115J	東アジアの歴史認識をめぐる諸問題	庄司 潤一郎	秋後、冬	1	
	SSP2116J	組織と調整	助川 康	冬、春前	1	
	SSP2117J	イスラーム主義とテロリズム	西野 正巳	秋後～春前	2	
	SSP2118J	戦後日本の安全保障政策と国際関係	中島 信吾	秋後、冬	1	
	SSP2119J	宇宙と安全保障	橋本 靖明	冬、春前	1	
	SSP2121J	大国政治における非対称な同盟	渡邊 武	冬、春前	1	
	SSP2122J	再考 太平洋戦争への道	進藤 裕之	冬、春前	1	
	SSP2124J	防衛生産・技術概論	富川 英生	秋後、冬	1	
	SSP2125J	現代中国の外交	飯田 将史	秋後、冬	1	
	SSP2127J	戦略策定法	有江 浩一	秋、冬	2	
	SSP2128J	戦争と平和	石津 朋之	冬、春前	1	
	SSP2132E	The Future of Alliances	YOSHIZAKI Tomonori	秋前	1	
	SSP2133J	ユーラシアの戦略環境	山添 博史	冬、春前	1	
	SSP2134J	宇宙開発利用特論 (技術と動向)	大井 一史	冬、春前	1	
	SSP2136J	米国の核政策	新垣 拓	秋後、冬	1	
	SSP2137J	ロシア軍事史	花田 智之	秋前	1	
	SSP2138J	日米同盟の歴史	千々和 泰明	冬、春前	1	
	SSP2139J	戦争と平和の理論	澤田 寛人	秋前	1	
	SSP2140J	近代日本政治のなかの陸海軍	清水 亮太郎	秋前	1	
	SSP2141J	軍事組織の社会学的考察	大井 一史	秋後、冬	1	
	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1	
	GOV1460E	The Making of Modern Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	
	GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	
	GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV3110E	Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2	
	GOV3230E	Transnational Organized Crime and Security	TBA	TBA	2	
	GOV3240E	Non-Traditional Security	HONNA Jun	Fall	2	
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2	
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2	
	GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2	
	MSP3000E	International Law	SHIMOYAMA Kenji	Fall	2	
	MSP3010E	International Law of the Sea	FURUYA Kentaro	Winter	2	
	SSP5000E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy	FURUYA Kentaro	Winter	1	
区分Ⅲ 選択科目		上記以外の授業科目				4
区分Ⅳ その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				

備考

1 修了要件

次の①及び②に示す要件を満たし、合計32単位(区分Ⅳに属する科目の単位を除く。)以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。

- ① 区分Ⅰ 23単位
② 区分Ⅱ 9単位以上

2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。

3 GOV2200EAとGOV2200EBはいずれか一方を履修することができる。

4 授業内容が同じである日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

3. 修士課程

2023年・2024年度 履修方法（カリキュラム） （4） 修士課程 国際的指導力育成プログラム

区 分	科目番号	科 目 名	担当教員	学 期	単位	修了に必要な単位
区分Ⅰ 必修科目	GLD4000J	国際関係・外交政策論文演習	関係教員	秋 (2年目)	4	4

備 考

1 修了要件

次の①～②に示す要件を満たし、合計30単位以上を履修するとともに、特定の課題についての研究成果の審査に合格し、かつ、最終試験に合格すること。

- ① 区分Ⅰ 4単位
- ② 区分Ⅱ 20単位以上

2 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。

3 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs

(5)-1 Young Leaders Program (School of Government)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1	13
	YLP5000E	Introduction to Japan	PRESSELLO Andrea	Fall (Session I)	2	
	YLP5010E	Colloquium	TAKADA Hirofumi	Fall, Spring	2	
	YLP5020E	Independent Study	MASUYAMA Mikitaka, et al.	Fall through Summer	4	
	YLP5040E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	
	YLP5030E	Field Trip	PRESSELLO Andrea	Spring	2	
II Recommended Courses	ECO1000EB	* Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2	2
	ECO1020E	* Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4	
	ECO3600E	** Contemporary Japanese Economy	KOJIMA Akira	Fall	2	
	ECO3610E	** Japanese Economy	NIBAYASHI Ken	Spring (Session II)	2	2
	ECO3810E	** Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2	
	GOV2100E	*** Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	2
	GOV2200EA	*** International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	
	GOV2210E	**** International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	4
	GOV2240EA	**** International Security Studies	TOKUCHI Hideshi	Fall	2	
	GOV2310E	**** Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV2580E	**** Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	
	GOV5910E	Leadership and Knowledge Creation	NISHIHARA Ayano	Spring	2	30
	PAD2580E	Global Governance: Leadership and Negotiation	TBA	Winter	2	
	GEN5030E	GRIPS Forum I	OHNO Izumi	Fall	1	
	GEN5040E	GRIPS Forum II	OHNO Izumi	Spring	1	
III Elective Courses	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	
	ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2	
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2	
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	
	REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
	REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
		***** Selected Topics in Policy Studies I -IV				
		Courses not listed in this table				
X Others		***** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 13 of which must come from Category I, at least 8 of which must come from Category II, and the rest can from Categories II and/or III.
2. Courses offered in the program are subject to change.
3. Students cannot take courses conducted in Japanese without the director's approval.
If a student takes the same course in both English and Japanese, only one (2 credits) will count toward the degree.
4. * Students must complete a minimum of 2 credits from either Microeconomics I or Essential Microeconomics.
5. ** Students must complete a minimum of 2 credits from the following: ECO3600E, ECO3610E and ECO3810E.
6. *** Students must complete a minimum of 2 credits (one course) from either GOV2100E or GOV2200EA.
7. **** If a student takes only one course from Government and Politics in Japan or International Relations, he/she must take at least one course from the following: GOV2210E, GOV2240EA, GOV2310E, and GOV2580E.
8. ***** Course numbers, instructors, and terms will be announced following official determination of course offerings.
9. ***** Credits earned in these courses will not count toward the degree.
10. Students must take the courses LAN0220E, LAN0030E, and LAN0040E. Students may be exempted from taking LAN0040E depending on the result of the English Placement Test.

3. 修士課程

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs (5)-2 Young Leaders Program (School of Local Governance)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1	17
	REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
	REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	YLP5000E	Introduction to Japan	PRESSELLO Andrea	Fall (Session I)	2	
	YLP5010E	Colloquium	TAKADA Hirofumi	Fall, Spring	2	
	YLP5510E	Independent Study	TAKADA Hirofumi, et al.	Fall through Summer	4	
	YLP5540E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	
	YLP5550E	Workshop	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
II Recommended Courses	ECO1000EB	* Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2	6
	ECO1020E	* Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2	
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	
	GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	
	GOV5910E	Leadership and Knowledge Creation	NISHIHARA Ayano	Spring	2	
	PAD2580E	Global Governance: Leadership and Negotiation	TBA	Winter	2	
	GEN5030E	GRIPS Forum I	OHNO Izumi	Fall	1	
	GEN5040E	GRIPS Forum II	OHNO Izumi	Spring	1	
III Elective Courses	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	30
	ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2	
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2	
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV2240EA	International Security Studies	TOKUCHI Hideshi	Fall	2	
	PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	
	PAD2740E	Small and Medium Enterprise and Technology	HASHIMOTO Hisayoshi	Fall	2	
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2	
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	
		** Selected Topics in Policy Studies I -IV				
		Courses not listed in this table				
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 17 of which must come from Category I, at least 6 of which from Category II, and the rest can from Categories II and/or III.
2. Courses offered in the Program are subject to change.
3. Students cannot take courses conducted in Japanese without Director's approval.
If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.
4. * A student can take either ECO1020E or ECO1000EB, and even in case a student takes ECO1020E, he/she must take at least four more credits from the other courses in this category.
5. ** Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the course is offered.
6. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
7. Students must take the courses LAN0220E, LAN0030E, and LAN0040E. Students may be exempted from taking LAN0040E depending on the result of the English Placement Test.

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs (6)-1 One-year Master's Program of Public Policy (MP1)

Academic Year 2022-2024 Curriculum Master's Programs (6)-2 Two-year Master's Program of Public Policy (MP2)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	MP1	MP2
I Required Courses	PPP5010E	Independent Study	TANAKA Makoto, et al.	Fall through Spring	4	6	12
	PPP5070E	Tutorial II	Various	Fall through Spring	2		
	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1		
	GGG5010EB *	Policy Debate Seminar I	TANAKA Makoto, et al.	Winter	2		
	GGG5020EB *	Policy Debate Seminar II	TANAKA Makoto, et al.	Spring	2		
	PPP5060E	Tutorial I	Various	Fall	1		
III Elective Courses	ECO1000EB	Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2	30	40
	ECO1020E	Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4		
	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2		
	ECO1080E	Essential Macroeconomics	NIBAYASHI Ken	Winter	2		
	ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2		
	ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Dainn	Fall (Session II)	2		
	ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2		
	ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2		
	ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2		
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2		
	ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2		
	ECO3210E	Competition and Regulatory Economics	TANAKA Makoto	Spring	2		
	ECO3310E	Transportation Economics	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2		
	ECO3510E	Environmental Economics	MUNRO Alistair	Spring	2		
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2		
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2		
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2		
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2		
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall	2		
	GOV1400E	International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2		
	GOV1900E	Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanle	Winter	2		
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2		
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2		
	GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2		
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2		
	GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2		
	GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2		
	GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guanle	Spring (Session I)	2		
	GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2		
	GOV3220E	Politics of Global Money and Finance	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2		
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2		
	GOV3400E	International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2		
	MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2		
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2		
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2		
	MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2		
	PAD1010E	Social Science Questions and Methodologies	TBA	TBA	2		
	STI2080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2		
	STI2160E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	Fall(Session I)	2		
	STI2230E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall(Session II)	2		
		Courses not listed in this table					
		** Selected Topics in Policy Studies I - IV					
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication					

Notes:

1. Graduation requirements for MP1: Students must complete a minimum of 30 credits, 6 of which must come from Category I, the remaining 24 should come from Category III.

Graduation requirements for MP2: Students must complete a minimum of 40 credits, 12 of which must come from Category I, the remaining 28 should come from Category III.

2. * Refer to the concentration guidelines regarding the courses that are recommended/required by each concentration.

3. Courses offered in the Program are subject to change.

4. Students cannot take courses conducted in Japanese without the director's approval. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.

5. ** Course number, instructor, and term for these courses will be announced when the course is offered.

6. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

7. Students must take the courses LAN0220E, LAN0030E, and LAN0040E. Students may be exempted from taking LAN0040E depending on the result of the English Placement Test.

3. 修士課程

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs (7)-1 Macroeconomic Policy Program (One year)
Academic Year 2022-2024 Curriculum Master's Programs (7)-2 Macroeconomic Policy Program (Two years)

Curriculum Master Page (FY2021 Macroeconomics Policy Page FY2021)									
Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	MEP1	MEP2		
I Required Courses	MEP1	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1	19	13	
		ECO1000EA	Microeconomics I	XING Yuqing	Fall (Session I)	2			
		ECO1060EB	Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2			
		ECO2000EA	Microeconomics II	XING Yuqing	Fall (Session II)	2			
		ECO2060EB	Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2			
		ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2			
		ECO3450E	International Finance	XING Yuqing	Winter	2			
		MEP4000E	Tutorial (MEP1)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter	2			
		MEP4010E	Policy Paper Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session I)	2			
		MEP4020E	Policy Paper Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session II)	2			
		MEP2	MEP4100E	Tutorial (MEP2)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter [1st year]			2
			MEP4110E	Thesis Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session I) [2nd year]			2
			MEP4120E	Thesis Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session II) [2nd year]			2
MEP4130E	Thesis Seminar III		FUJIMOTO Junichi, et al.	Winter [2nd year]	2				
II Recommended Courses		ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	34	44	
		ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2			
		ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2			
		ECO2610E	Finance and Economic Growth	MATSUMOTO Hidehiko	Spring(Session II)	2			
		ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	LEON-GONZALEZ Roberto	Winter	2			
		ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2			
		ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2			
		ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2			
		ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2			
		ECO3102E	Public Finance I	IHORI Toshihiro	Winter	2			
		ECO3103E	Public Finance II	TBA	TBA	2			
		ECO3104E	Political Economy	IZUMI Yutaro	Spring	2			
		ECO3110E	Fiscal Reform in Japan	OTA Hiroko	Winter	2			
		ECO3130E	Economics of Tax Policy	YAMAZAKI Akio	Winter	2			
		ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2			
		ECO3200E	Economics of Law	HATANAKA Kaori	Spring	2			
		ECO3210E	Competition and Regulatory Economics	TANAKA Makoto	Spring	2			
		ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2			
		ECO3470E	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance	MATSUMOTO Hidehiko	Spring (Session I)	2			
		ECO3480E	Theory and Practice of Central Banking: Japanese and Global Experience	TBA	TBA	2			
		ECO3510E	Environmental Economics	MUNRO Alistair	Spring	2			
		ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2			
		ECO3600E	Contemporary Japanese Economy	KOJIMA Akira	Fall	2			
		ECO3610E	Japanese Economy	NIBAYASHI Ken	Spring (Session II)	2			
		ECO3640E	Financial Economics	CHEN Jau-er	Spring	2			
		ECO3670E	Japan and the Global Economy I	TBA	TBA	2			
		ECO3680E	Japan and the Global Economy II	TBA	TBA	2			
		ECO3710E	Time Series Analysis	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2			
		ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2			
		ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2			
		ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2			
		ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2			
		ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2			
		ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2			
		PAD2610E	Fiscal and Monetary Policies in Japan	TBA	TBA	2			
		PAD2670E	Public Expenditure Management	TBA	TBA	2			
		PAD2690E	Modernization of Financial Sector: Lessons from Recent Financial Crises	NUNAMI Tadashi	Spring	2			
		PAD3020E	Policy Design and Implementation in Developing Countries	OHNO Kenichi, OHNO Izumi	Spring	2			
		GEN5030E	GRIPS Forum I	OHNO Izumi	Fall	1			
		GEN5040E	GRIPS Forum II	OHNO Izumi	Spring	1			
		MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2			
		MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2			
		EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2			
		* Selected Topics in Policy Studies I - IV							
III Elective Courses	For qualified students only (See note 6 below)	ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	10	16	
		ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2			
		ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2			
		ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2			
		ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2			
		ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2			
		ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	HAYASHI Fumio	Winter	2			
		ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2			
		ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2			
		ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2			
		ECO6720E	Advanced Econometrics III	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2			
		ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2			
		Courses not listed in this table							
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication							

Notes:

1. Graduation Requirements: MEP1 Students must complete a minimum of 34 credits, 19 of which must come from Category I, and 10 from Category II. The remaining 5 credits may be taken from Categories II and/or III. MEP2 Students must complete a minimum of 44 credits, 21 of which must come from Category I, and 16 from Category II. The remaining 7 credits may be taken from Categories II and/or III.

2. Courses offered in the program are subject to change.

3. Students can not take courses conducted in Japanese without the consent of the program director.

If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.

4. *Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the course is offered.

5. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

6. Qualified students are those who have successfully completed the six courses (ECO1000E, ECO1060E, ECO2000E, ECO2060E, ECO2720E, ECO3000E) with a GPA higher than 3.5 over the six courses or MEP1 students who have excellent background in mathematics and econometrics and obtained the consent of the program director.

7. Students must take the courses LAN0220E, LAN030E, and LAN040E. Students may be exempted from taking LAN040E depending on the result of the English Placement Test.

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs
(8) Public Finance Program

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Tax	Customs
I Required Courses	PFP2520E	International Taxation of Japan	MATSUDA Naoki	Fall	2	10	
	PFP5010E	Practicum at the National Tax Agency		Fall through Spring (Session I)	8		
	PFP5110E	Practicum in Customs Administration I	KONDO Yoshitomo	Fall	2		
	PFP5120E	Practicum in Customs Administration II	MATSUMOTO Takashi	Winter through Spring	2	10	10
	PFP5130E	Practicum in Customs Administration III	KONDO Yoshitomo, NOJIMA Saori, FUKUZONO Akihiko, ITO Fumiharu	Winter through Spring	4		
	PFP5210E	Intellectual Property Rights Enforcement at the Border	YONEYAMA Yoshihiko	Spring (Session I)	2		10
	ECO1000EB	Microeconomics I	WIE Dainn	Fall (Session I)	2		
	ECO3102E	Public Finance I	IHORI Toshihiro	Winter	2		
	ECO4120E	Thesis Seminar	WIE Dainn	Fall through Summer	4		
	ECO4130E	Tutorial (PF)	WIE Dainn	Fall	1		
	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1		
III Elective Courses	ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	34	34
	ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Dainn	Fall (Session II)	2		
	ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2		
	ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2		
	ECO3110E	Fiscal Reform in Japan	OTA Hiroko	Winter	2		
	ECO3130E	Economics of Tax Policy	YAMAZAKI Akio	Winter	2		
	ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2		
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2		
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2		
	PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2		
	PFP2500E	Customs Law	KONDO Yoshitomo	Winter through Spring	2		
	ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	34	34
	ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2		
	ECO2610E	Finance and Economic Growth	MATSUMOTO Hidehiko	Spring(Session II)	2		
	ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	LEON-GONZALEZ Roberto	Winter	2		
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2		
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2		
	ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2		
	ECO3104E	Political Economy	IZUMI Yutaro	Spring	2		
	ECO3200E	Economics of Law	HATANAKA Kaori	Spring	2		
	ECO3710E	Time Series Analysis	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2		
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	34	34
	PAD2670E	Public Expenditure Management	TBA	TBA	2		
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2		
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2		
	REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2		
		* Selected Topics in Policy Studies I - IV					
		Courses not listed in this table					
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 34 credits and meet the following requirements:

(a) Tax students must complete the following courses: PFP2520E, PFP5010E, ECO1000EB, ECO3102E, ECO4120E, ECO4130E and GEN5020E from Category I.

(b) Customs students must complete the following courses: PFP5110E, PFP5120E, PFP5130E, PFP5210E, ECO1000EB, ECO3102E, ECO4120E, ECO4130E and GEN5020E from Category I.

2. Courses offered in the Program are subject to change.

3. Students cannot take courses conducted in Japanese without Director's approval. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.

4. *Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced later when the course is offered.

5.**Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

6. Students must take the courses LAN0220E, LAN0030E, and LAN0040E. Students may be exempted from taking LAN0040E depending on the result of the English Placement Test.

3. 修士課程

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs

(9) Economics, Planning and Public Policy Program

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	EPP5010E	Independent Study (Policy Paper)		Fall through Spring	4	5
	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1	
II Recommended Courses	ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	30
	ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2	
	ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Dainn	Fall (Session II)	2	
	ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2	
	ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2	
	ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	
	ECO2800E	Global Development Agendas and Japan's ODA	TBA	TBA	2	
	ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	
	ECO3150E	Local Public Finance	TBA	TBA	2	
	ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2	
	DEV2500E	Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	Spring	2	
	ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	
	ECO3600E	Contemporary Japanese Economy	KOJIMA Akira	Fall	2	
	ECO3610E	Japanese Economy	NIBAYASHI Ken	Spring (Session II)	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	
	EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2	
	EPP1400E	Social Policy and Development in ASEAN	TBA	TBA	2	
	GEN3000E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	GOV1900E	Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanie	Winter	2	
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2	
	GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guanie	Spring (Session I)	2	
	GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	
	GOV3220E	Politics of Global Money and Finance	CHEY Hyung-kyu	Fall	2	
	GOV3240E	Non-Traditional Security	HONNA Jun	Fall	2	
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2	
	PAD2550E	Foreign Direct Investment	TBA	TBA	2	
	PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
	PAD2670E	Public Expenditure Management	TBA	TBA	2	
	PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	
	PAD2740E	Small and Medium Enterprise and Technology	HASHIMOTO Hisayoshi	Fall	2	
	PAD2810E	National Land Policy	TBA	TBA	2	
	MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2	
	MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2	
	MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCI Takashi	Fall (Session II)	2	
	REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	
	REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	
		* Selected Topics in Policy Studies I - IV				
III Elective Courses		Courses not listed in this table				
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 5 of which must come from Category I and 25 from Category II (and III).
2. Courses offered in the Program are subject to change.
3. Students can not take courses conducted in Japanese without Director's approval.
If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.
4. * Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the courses are offered.
5. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
6. Students must take the courses LAN0220E, LAN0030E, and LAN0040E. Students may be exempted from taking LAN0040E depending on the result of the English Placement Test.

Academic Year 2022- 2023 Curriculum Master's Programs

(10)-1 Disaster Management Policy Program (Seismology, Earthquake Engineering and Tsunami Disaster Mitigation)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	
I Required Courses	DMP4000E	Individual Study		Fall through Summer	10	30
II Recommended Courses	DMP2000E	Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect	HIBINO Naohiko	Fall	2	
	DMP2010E	Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	SUGAHARA Masaru	Fall	2	
	DMP3000E	Earthquake Hazard Assessment A	NAKAGAWA Hiroto	Fall through Spring	2	
	DMP3010E	Earthquake Risk Assessment	AZUHATA Tatsuya	Fall through Spring	2	
	DMP3030E	Tsunami Hazard Assessment	SHIBAZAKI Bunichiro	Fall through Spring	2	
	DMP3040E	Tsunami Countermeasures	FUJII Yushiro	Fall through Spring	2	
	DMP3050E	Earthquake Hazard Assessment B	HARA Tatsuhiko	Fall through Spring	2	
III Elective Courses	DMP3200E	Earthquake Phenomenology	KITA Saeko	Fall through Spring	3	
	DMP3210E	Characteristics of Earthquake Disasters	HARA Tatsuhiko	Fall through Spring	3	
	DMP3220E	Earthquake Circumstance	SHIBAZAKI Bunichiro	Fall through Spring	3	
	DMP3230E	Information Technology Related with Earthquakes and Disasters	HAYASHIDA Takumi	Fall through Winter	3	
	DMP3400E	Structural Analysis	OTSUKA Yuri	Fall through Spring	3	
	DMP3410E	Ground Vibration and Structural Dynamics	NAKAGAWA Hiroto	Fall through Spring	3	
	DMP3420E	Seismic Structures	OTSUKA Yuri	Fall through Spring	3	
	DMP3430E	Seismic Evaluation and Seismic Design Code	AZUHATA Tatsuya	Winter through Spring	3	
	DMP3600E	Theory of Tsunami	FUJII Yushiro	Winter through Spring	3	
	DMP5310E	Case Study (Practice for Earthquake Disaster - Recovery Management Policy I)	ITO Mai	Fall through Winter	1	
	DMP5320E	Case Study (Practice for Earthquake Disaster - Recovery Management Policy II)	HAYASHIDA Takumi	Fall through Spring	1	
	DMP5330E	Case Study (Practice for Earthquake Disaster - Recovery Management Policy III)	MATOBATA Moeko, ITO Mai	Fall through Spring	1	
DMP5340E	Case Study (Practice for Tsunami Disaster Mitigation Policy)	HARA Tatsuhiko	Fall through Spring	1		
	* Selected Topics in Policy Studies I -IV					
Notes:						
1. This table applies to students in the Disaster Management Policy Program (Seismology, Earthquake Engineering and Tsunami Disaster Mitigation) .						
2. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 10 of which must come from Category I and 6 of which must come from Category II.						
3. Courses offered in the Program are subject to change.						
4. * Course Number, Instructor, and Term for the course will be announced later when the course is offered.						

3. 修士課程

Academic Year 2022- 2023 Curriculum Master's Programs (10)-2 Disaster Management Policy Program (Water-related Disaster Management)

Category	Course No.	Course Title	Instructor	Term	Credit		
I Required Courses	DMP4800E	Individual Study		Winter through Summer	10	10	
II Recommended Courses	DMP2000E	Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect	HIBINO Naohiko	Fall	2		16
	DMP2010E	Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	SUGAHARA Masaru	Fall	2		
	DMP2800E	Hydrology	MIYAMOTO Mamoru, KOIKE Toshio	Fall through Winter	2		
	DMP2810E	Hydraulics	HARADA Daisuke, EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2		
	DMP2820E	Basic Concepts of Integrated Flood Risk Management (IFRM)	TAKEUCHI Kuniyoshi	Fall through Winter	2		
	DMP2870E	Urban Flood Management and Flood Hazard Mapping	TANAKA Shigenobu	Fall through Winter	2		
	DMP3810E	Flood Hydraulics and River Channel Design	FUKUOKA Shoji	Fall through Winter	2		
	DMP3820E	Mechanics of Sediment Transportation and Channel Changes	EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2		
	DMP3840E	Control Measures for Landslide & Debris Flow	OSANAI Nobutomo	Fall through Winter	2		
	DMP2900E	Socio-economic and Environmental Aspects of Sustainability-oriented Flood Management	OHARA Miho, SUMI Tetsuya	Fall through Winter	2		
III Elective Courses	DMP1800E	Computer Programming	USHIYAMA Tomoki, HARADA Daisuke	Fall through Winter	1	30	
	DMP2890E	Practice on Integrated Flood Analysis System(IFAS)	SAYAMA Takahiro, RASMY Mohamed	Fall through Winter	1		
	DMP3802E	Practice on GIS and Remote Sensing Technique	RASMY Mohamed, KAWASAKI Akiyuki	Fall through Winter	1		
	DMP3900E	Site Visit of Water-related Disaster Management Practice in Japan	KOIKE Toshio	Fall through Summer	1		
	DMP3910E	Practice on Open Channel Hydraulics	YOROZUYA Atsuhiko	Fall through Spring	1		
		* Selected Topics in Policy Studies I-IV					
Notes:							
1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 10 of which must come from Category I and 16 of which must come from Category II.							
2. Courses offered in the Program are subject to change.							
3. * Course Number, Instructor, and Term for the course will be announced later when the course is offered.							

Academic Year 2022-2023 Curriculum Master's Programs
(11) Maritime Safety and Security Policy Program

17) Maritime Safety and Security Policy Program					
Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit
I Required Course	MSP4000E	Independent Study	Various	Fall through Summer	4
	GOV1400E	International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2
	GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2
	GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2
	MSP2000E	Maritime Police Policy	OKUZONO Junji	Spring	2
	MSP3000E	International Law	SHIMOYAMA Kenji	Fall	2
	MSP3010E	International Law of the Sea	FURUYA Kentaro	Winter	2
	MSP3020E	Policy for Search & Rescue, Salvage and Maritime Disaster Prevention	YAMAJI Tetsuya	Spring	2
	MSP5000E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy I	FURUYA Kentaro	Fall	2
	MSP5010E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy II	FURUYA Kentaro	Winter through Spring	2
II Recommended Courses	ECO1020E	Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4
	ECO1080E	Essential Macroeconomics	NIBAYASHI Ken	Winter	2
	ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2
	ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2
	EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2
	GOV1460E	The Making of Modern Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2
	GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2
	GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2
	GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2
	GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guanle	Spring (Session I)	2
	GOV3240E	Non-Traditional Security	HONNA Jun	Fall	2
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2
	GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2
	GEN3000E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2
	GEN5020E	The World and the SDGs	TANAKA Akihiko	Fall	1
	MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2
	MSP2030E	Introduction to Oceanography	MINAMI Hiroki	Spring	1
	MSP2040E	Marine Environment and Pollution	KAWAMURA Noriko	Spring	1
	MSP3030E	International Comparative Criminal Law	SHINTANI Kazuaki	Spring	2
	MSP3100E	Introduction to International Maritime Safety and Security Conventions	FURUYA Kentaro	Spring	1
	MSP2050E	Traffic Management Systems I	YAMADA Tatsuto	Spring (Session I)	1
	MSP2060E	Traffic Management Systems II	TBA	Spring (Session II)	1
	MSP3060E	Ship Maneuverability and Practical Operation	NAKAYAMA Yoshiyuki	Winter	1
	MSP3070E	Fundamentals of Advanced Energy Engineering	KANKI Takashi	Spring (Session II)	1
	MSP3080E	Information Management System I	YAMANAKA Masaaki	Spring (Session I)	1
MSP3090E	Information Management System II	ISOZAKI Hiroomi	Spring (Session II)	1	
III Elective Courses		* Selected Topics in Policy Studies I - IV			
		Courses not listed in this table			
X Others	LAN0010E	** Describing Tables and Figures	WICKENS Matthew H.	Winter	1
	LAN0040E	** English for Academic Purposes	O'NEILL Gavin, et al.	Fall	2
	LAN0150E	** Thesis Writing for MSP	O'NEILL Gavin	Winter	1
	LAN0160E	** Qualitative Writing	WICKENS Matthew H.	Winter	1
	LAN0220E	** Policy Proposal Writing	PETCHKO Katerina	Fall	2
		** Other courses offered by the Center for Professional Communication			

Notes:
1. Graduation Requirements: Students must complete a minimum of 30 credits, 22 of which must come from Category I, and 8 from Category II.
2. Courses offered in the Program are subject to change.
3. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course (2 credits) will count toward the degree.
4. * Course Number, Instructor, and Term for these courses will be announced when the courses are offered.
5. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
6. Students must take the courses LAN0220E, LAN0040E and LAN0150E.

3. 修士課程

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

Economics

ECO

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
EC01000JA	ミクロ経済学Ⅰ	島中 薫里	春前	2	○	○	○
EC01000JB	ミクロ経済学Ⅰ	未定	未定	2	○	○	○
EC01050J	マクロ経済学	仁林 健	秋前	2	○	○	○
EC01800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	秋	2	○	○	○
EC02000JA	ミクロ経済学Ⅱ	田中 誠	春後	2	○	○	○
EC02000JB	ミクロ経済学Ⅱ	未定	未定	2	○	○	○
EC02020J	政府と市場	細江 宣裕	秋	2	○	○	○
EC02100J	財政政策	井堀 利宏	秋	2	○	○	○
EC02200J	現代社会における法と経済	福井 秀夫	夏	2	○	○	○
EC02210J	まちづくりと経済再生	未定	未定	2	○	○	○
EC02500J	経済政策の理論と展開	松谷 明彦	秋	2	○	○	○
EC02700JA	計量経済学	黒澤 昌子	春	2	○	○	○
EC02700JB	計量経済学	未定	未定	2	○	○	○
EC02710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2	○	○	○
EC02880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	秋	2	○	○	○
EC02900J	ゲーム理論	渡辺 隆裕	春後	2	○	○	○
EC03100J	日本経済の現状と課題	未定	未定	2	○	○	○
EC03300J	都市経済学	岡本 亮介	秋	2	○	○	○
EC03330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2	○	○	○
EC03700J	計量経済学の応用と実践	後藤 潤	夏	2	○	○	○
EC03750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	夏	2	○	○	○
EC03840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	春	2	○	○	○
EC03860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	春	2	○	○	○
EC06090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	秋	2	○ (国際協力コー スのみ)	▲	▲

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

Political Science, International Relations and Public Administration

GOV, PAD

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
GOV2100J	政策過程論	飯尾 潤	春	2	○	○	○
GOV2110J	日本政治と理論分析	竹中 治堅	春	2	○	○	○
GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	秋	2	○	○	○
GOV2500J	公共経営と制度・組織設計	吉牟田 剛	秋	2	○	○	○
GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価	吉牟田 剛	春	2	○	○	○
GOV3500J	経済社会統計の整備と課題：国際的整備の潮流と日本の対応	西村 清彦、萩野 覚、清水 千弘	夏	2	○	○	○
GOV6100J	政策過程論特別演習	飯尾 潤	春	2	○	○	○
PAD2030J	ベンチャー・中小企業と技術革新	橋本 久義	秋	2	○	○	○
PAD2040J	中小企業経営と地域経済	橋本 久義	春	2	○	○	○
PAD2560J	社会保障総論	小野 太一	春	2	○	○	○
PAD2570J	医療政策論	島崎 謙治	春	2	○	○	○
PAD2710J	医療経営論	田極 春美	秋	2	○	○	○
PAD2720J	医療政策特論 I	小野 太一、外部講師	夏	2	○	○	○
PAD3030J	医療政策特論 II	小野 太一、外部講師	秋	2	○	○	○

Multi Disciplinary Policy Studies

CUL, DEV, DRM, EDU, GEN, MOR, PPP, REG

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
CUL1000J	文化政策研究の基礎	垣内 恵美子	春	2	○	○	○
CUL2020J	文化資源論	垣内 恵美子、小川 由美子	秋	2	○ (文化政策コースのみ)	▲	▲
CUL2110J	21世紀博物館工学	森 洋久	春	2	○	○	○
CUL2130J	日本・西欧の景観づくり	垣内 恵美子	秋	2	○	○	○
CUL2140J	シアター・マネジメント	小川 由美子	秋	2	○	○	○
CUL2150J	グローバルゼーションと文化政策	岩本 渉	秋前	2	○	○	○

3. 修士課程

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	秋	2	○	○	○
DEV2040J	国土政策と社会資本整備	森地 茂	秋	2	○	○	○
DEV2080E	Infrastructure Systems Management	OZAWA Kazumasa	夏	2	○	○	○
DEV2100E	Transportation Planning and Policy	HIBINO Naohiko	春	2	○	○	○
DEV2140J	景観・デザイン論	福井 恒明	冬	2	○	○	○
DEV2150J	都市学の理論と実践	岸井 隆幸、家田 仁	秋	2	○	○	○
DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI	日比野 直彦	秋前	1	○	○	○
DEV2170J	現代インフラ政策特論	家田 仁	夏	1	○	○	○
DEV2180J	水圏国土学	知花 武佳	夏	2	○	○	○
DEV2500E	Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	春	2	○	○	○
DEV4040J	インフラ政策特論	家田 仁、日比野 直彦	春前(2年目)	3	○	▲	▲
DRM2000J	防災と復旧・復興	森地 茂	春	2	○	○	○
DRM2010J	災害リスクマネジメント	片山 耕治、山口 修	春後、夏	2	○	○	○
DRM2050J	気象と災害	鈴木 靖	秋	2	○	○	○
DRM3000J	災害対策各論Ⅰ	小山内 信智	春	2	○	○	○
DRM3010J	災害対策各論Ⅱ	小山内 信智	秋	2	○	○	○
DRM3020J	危機管理政策	室田 哲男、河村 和徳	春	2	○	○	○
DRM3030J	消防防災減災・被災地学習	武田 文男、室田 哲男	春後～秋	2	○	○	○
EDU1310J	教育政策概論	未定	未定	2	○	○	○
GEN4000J	政策研究演習	増山 幹高	春	2	○	○	○
GEN5020E	The World and the SDGs	未定	秋	1	○	○	○
GEN5030J	GRIPS Forum I	大野 泉	春	1	○	○	○
GEN5040J	GRIPS Forum II	大野 泉	秋	1	○	○	○

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
* MOR1030J	データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2	○	○	○
MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2	○	○	○
** MOR2020J	実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2	○	○	○
MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2	○	○	○
* MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	土谷 隆、竹之内 高志	春	2	○	○	○
** MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2	○	○	○
PPP4000J	政策論文演習	関係教員	秋、冬	4	◎	▲	▲
REG1000J	地方行政論	横道 清孝	春	2	○	○	○
REG1010J	地方財政論	羽白 淳	春前	2	○	○	○
REG1200J	行政法の基礎	濱西 隆男	春前	2	○	○	○
REG2030J	食料・農業・農村政策特論 I	天羽 隆	春	2	○	○	○
REG2040J	食料・農業・農村政策特論 II	天羽 隆	秋	2	○	○	○
REG2050J	現代食料・農業論	埜 靖幸、外部講師	春	2	○	○	○
REG22310J	地方自治と行政学	木村 俊介	秋	2	○	○	○
REG2900J	地方行政特論	横道 清孝、外部講師	秋	2	○	○	○
REG2930J	地方財政特論	羽白 淳、外部講師	春	2	○	○	○
REG2940J	自治体改革論	高田 寛文、外部講師	秋	2	○	○	○
REG2950J	食料・農業・農村政策概論	埜 靖幸	春	2	○	○	○
REG3120J	「食」を通じた地域振興論	埜 靖幸	秋	2	○	○	○

* MOR1030JとMOR1100Jを両方修得した場合、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

** MOR2020JとMOR2100Jを両方修得した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

Program Specific Courses

IPR, STI, UPP, GLD

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
IPR1010J	民法	未定	未定	2	○	○	○
IPR3250J	まちづくりと知的財産法	未定	未定	2	○	○	○
IPR3260J	知財政策特論	未定	未定	2	▲	▲	▲
STI1000E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	○	○	○
STI1010J	科学技術政策過程論	角南 篤	隔年春	2	○	○	○
STI1020E	Science and Technology in International Politics	未定	未定	2	○	○	○
STI1060J	科学技術イノベーション政策概論	林 隆之、隅藏 康一、鈴木 潤、根井 寿規、飯塚 偏子、角南 篤、有本 建男	春後	2	○	○	○
STI1070J	公的機関からのイノベーション創出	隅藏 康一、林 隆之、飯塚 偏子	春後	2	○	○	○
STI1080J	科学技術イノベーション政策立案演習	林 隆之、七丈 直弘	夏	2	○	○	○
STI1090E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	隔年春	2	○	○	○
STI1100J	イノベーションと経済学	鈴木 潤	春後	2	○	○	○
STI1110J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	長根 裕美	秋後	2	○	○	○
STI2020J	科学技術イノベーション政策史	有本 建男	春前	2	○	○	○
STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2	○	○	○
STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	隔年春	2	○	○	○
STI2060J	高等教育・産学連携政策	隅藏 康一	隔年秋	2	○	○	○
STI2060E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	隔年秋	2	○	○	○
STI2070J	科学技術外交論	廣木 謙三、角南 篤	秋後	2	○	○	○
STI2080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	秋	2	○	○	○
STI2150J	科学技術イノベーション政策の史的比較	上山 隆大	未定	2	○	○	○
STI2150E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	未定	2	○	○	○
STI2160E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	秋前	2	○	○	○
STI2170E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	春	2	○	○	○

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
STI2190E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	春	2	○	○	○
STI2200J	科学技術とアントレプレナーシップ	隅藏 康一、牧 兼充	春	2	○	○	○
STI2210E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	秋	2	○	○	○
STI2220J	科学技術イノベーション政策と評価	林 隆之	秋	2	○	○	○
STI2230E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	秋後	2	○	○	○
STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2	○	○	○
STI2260J	科学技術行政システムと指標	林 隆之、飯塚 倫子、伊地知 寛博	春前	2	○	○	○
STI2270J	知的財産マネジメントⅠ	隅藏 康一	春	2	○	○	○
STI2280J	知的財産マネジメントⅡ	隅藏 康一	秋	2	○	○	○
STI3050E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	春	2	○	○	○
STI3060E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	春	2	○	○	○
STI3100J	科学技術イノベーション政策特論Ⅰ	未定	未定	2	○	○	○
STI3110J	科学技術イノベーション政策特論Ⅱ	未定	未定	2	○	○	○
STI3120J	科学技術イノベーション政策特論Ⅲ	未定	未定	2	○	○	○
STI3130J	科学技術イノベーション政策特論Ⅳ	未定	未定	2	○	○	○
STI3140J	科学技術イノベーション政策特論Ⅴ	未定	隔年夏	1	○	○	○
STI3150J	科学技術イノベーション政策特論Ⅵ	隅藏 康一	隔年夏	1	○	○	○
STI3160J	科学技術イノベーション政策特論Ⅶ	上山 隆大	秋前	1	○	○	○
STI3170J	科学技術イノベーション政策特論Ⅷ	未定	未定	1	○	○	○
STI4000J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅰ	関係教員	春夏/秋冬	2	▲	◎	▲
STI4010J	科学技術イノベーション政策論文演習Ⅱ	関係教員	春夏/秋冬	2	▲	◎	▲
UPP1110J	まちづくり法の基礎	高橋 正史	春前	2	○	○	○
UPP1120J	公法	未定	未定	2	○	○	○
UPP2220J	まちづくりと公共経済	未定	未定	2	○	○	○
UPP3130J	まちづくり法特論	未定	未定	2	○	○	○
UPP3240J	都市の経済分析と交通経済	未定	未定	2	○	○	○

3. 修士課程

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
UPP3270J	まちづくり政策特論	未定	未定	2	▲	▲	▲
UPP3280J	事業評価手法	城所 幸弘、岡本 亮介、細江 宣裕	夏	2	○	○	○
UPP4000J	知財・まちづくり政策論文演習	未定	未定	2	▲	▲	▲
GLD1010J	外交アカデミー 1	未定	未定	2	▲	▲	○
GLD1020J	外交アカデミー 2	未定	未定	2	▲	▲	○
GLD1030J	外交アカデミー 3	粗 信仁	春前 (2022年度入学 者向け)	2	▲	▲	○
GLD1040J	外交アカデミー 4	粗 信仁	春後 (2022年度入学 者向け)	2	▲	▲	○
GLD1050J	外交アカデミー I	粗 信仁	秋、冬	5	▲	▲	○
GLD1060J	外交アカデミー II	粗 信仁	春 (2年目)	5	▲	▲	○
GLD2100J	国際関係の理論と研究方法	田中 明彦	春	2	○	○	○
GLD2300J	国際法	未定	未定	2	○	○	○
GLD2410J	国際経済交渉論	篠田 邦彦	秋	2	○	○	○
GLD2420J	経済政策分析	川崎 研一	秋	2	○	○	○
GLD2430J	応用国際金融論	伊藤 隆敏	春後	2	○	○	○
GLD2500J	外交戦略論	兼原 信克	春	2	○	○	○
GLD2510J	外交交渉論	鶴岡 公二	冬	2	○	○	○
GLD2600J	安全保障論	廣中 雅之	春	2	○	○	○
GLD2900E	Principles of Effective Communication	PETCHKO Katerina, et al.	春	2	○	○	○
GLD3100J	国際関係論の理論と研究方法演習	田中 明彦、BRUMMER Matthew	秋 (2022年度入学 者向け)	2	○	○	○
GLD3100E	Seminar on International Relations Theories and Research Methods	TANAKA Akihiko, BRUMMER Matthew	秋	2	○	○	○
GLD3110J	国際関係・外交シミュレーション	道下 徳成	春前	2	○	○	○
GLD3900E	Effective Communication for Global Leaders	PETCHKO Katerina, et al.	春	2	○	○	○
GLD4000J	国際関係・外交政策論文演習	関係教員	秋 (2年目)	4	○	○	◎
	政策研究特論 I～V	未定	未定	各2	○	○	○

2023年度 授業科目及び担当教員一覧

◎＝必修
○＝選択必修または選択
▲＝履修不可

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
	政策研究特論 VI	未定	未定	1	○	○	○
	政策研究特論 (国際経済法)	米谷 三以	夏	1	○	○	○
	政策研究特論 (国際法と安全保障)	古谷 健太郎	夏	1	○	○	○
	政策研究特論 (サイバーセキュリティと公共政策)	道下 徳成、外部講師	春	2	○	○	○
	政策研究特論 (エマージング・テクノロジーのめたらす社会変革と公共政策)	道下 徳成、外部講師	秋前	1	○	○	○
	地方自治制度	未定	春 / 秋	2	自治大学校連携科目 (自治大学校連携学生のみ履修可)		
	行政法	未定	春 / 秋	2			
	民法 (自治大学校開講)	未定	春 / 秋	2			
	高崎経済大学開講科目				所定の手続きを経て、認められた場合に履修ができる。		
	成蹊大学開講科目						
	九州大学開講科目						

Language

LAN

科目番号	科目名	担当教員	学期	単位数	公共	科学技術	GLD
LAN0010E	Describing Tables and Figures	WICKENS Matthew H.	冬	1	○	○	○
LAN0030E	Thesis and Policy Paper Writing	PETCHKO Katerina, et al.	春	2	▲	▲	▲
LAN0040E	English for Academic Purposes	O' NEILL Gavin, et al.	秋	2	required for those who fail placement test		
LAN0120E	Academic Presentations	TBA	TBA	2	○	○	○
LAN0130E	Dissertation Writing	TBA	TBA	1	recommended for PhD students		
LAN0140E	Professional Writing for Policymakers	TBA	TBA	2	○	○	○
LAN0150E	Thesis Writing for MSP	O' NEILL Gavin	冬	1	recommended for MSP students		
LAN0160E	Qualitative Writing	WICKENS Matthew H.	冬	1	○	○	○
LAN0170E	Abstract Writing for Japanese Students	ONO Keiko	冬	1	for students in domestic programs		
LAN0180E	Academic Vocabulary Development	NAKATSUGAWA Miyuki	冬	1	○	○	○
LAN0190E	Academic Communication for Japanese Speakers	NAKATSUGAWA Miyuki	春	2	for Japanese students		
LAN0200E	Discussion and Debate for Policymakers	O' NEILL Gavin	春	2	○	○	○
LAN0210E	Policy Presentations	ERDELYI Tanya	春	2	○	○	○
LAN0220E	Policy Proposal Writing	PETCHKO Katerina	秋	2	○	○	○

3. 修士課程

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

Economics

ECO

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
ECO1000EA	Microeconomics I	XING Yuqing	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	If a student takes both Microeconomics I and Essential Microeconomics, only the credits from one of them will count toward the degree.
ECO1000EB	Microeconomics I	WIE Dahnn	Fall (Session I)	2	○	○	○	▲	▲	◎	○	○	○	○	
ECO1020E	Essential Microeconomics	KUROSAWA Masako	Fall	4	○	○	○	▲	▲	▲	○	○	○	○	
ECO1060EA	Macroeconomics I	HSU Minchung	Fall (Session I)	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	
ECO1060EB	Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpolje	Fall (Session I)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO1080E	Essential Macroeconomics	NIBAYASHI Ken	Winter	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	
ECO1600E	Monetary Economics (Money and Banking)	FUJIMOTO Junichi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO1800E	Economic Development of Southeast Asia	KUDO Toshihiro	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2000EA	Microeconomics II	XING Yuqing	Fall (Session II)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO2000EB	Microeconomics II	WIE Dahnn	Fall (Session II)	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	
ECO2020EA	Government and Market	OKAMOTO Ryosuke	Winter	2	○	▲	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO2020EB	Government and Market	HATANAKA Kaori	Winter	2	▲	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	
ECO2060EA	Macroeconomics II	MATSUMOTO Hidehiko	Fall (Session II)	2	○	○	○	▲	▲	○	○	○	○	○	
ECO2060EB	Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	▲	▲	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO2610E	Finance and Economic Growth	MATSUMOTO Hidehiko	Spring (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	○	○	○	▲	▲	▲	○	○	○	○	
ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dahnn	Fall	2	▲	▲	▲	◎	◎	○	▲	▲	▲	▲	
ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	MIYAMOTO Hiroaki	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2800E	Global Development Agendas and Japan's ODA	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO2880E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO2900E	Game Theory	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3102E	Public Finance I	BRAUN Richard Anton	Winter	2	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	
ECO3104E	Political Economy	IZUMI Yutaro	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3110E	Fiscal Reform in Japan	OTA Hiroko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3120E	Public Finance and Fiscal Policy	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3130E	Economics of Tax Policy	YAMAZAKI Akio	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎=Required Course

○=Recommended or Elective Course

▲=Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

◎ = Required Course
 ○ = Recommended or Elective Course
 ▲ = Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
ECO3150E	Local Public Finance	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3160E	Reform of Economic Policy in Japan	OTA Hiroko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3170E	Labor Economics	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3200E	Economics of Law	HATANAKA Kaori	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3210E	Competition and Regulatory Economics	TANAKA Makoto	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3310E	Transportation Economics	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3400E	International Trade	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3450E	International Finance	XING Yuqing	Winter	2	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	
ECO3470E	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance	MATSUMOTO Hidehiko	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3480E	Theory and Practice of Central Banking: Japanese and Global Experience	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3510E	Environmental Economics	MUNRO Alistair	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3600E	Contemporary Japanese Economy	NAKAJIMA Atsushi	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3610E	Japanese Economy	NIBAYASHI Ken	Spring (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3630E	Japanese Financial System	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3640E	Financial Economics	CHEN Jau-er	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3660E	Empirical Finance	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3670E	Japan and the Global Economy I	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3680E	Japan and the Global Economy II	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3710E	Time Series Analysis	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3730E	Cost Benefit Analysis II	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	* For those who have completed Cost Benefit Analysis I (ECO3720E)
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO3840EA	Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	○	○	○	▲	▲	○	▲	▲	○	○	MP1, MP2 and PF students can take either ECO3840EA or ECO3840EB.
ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	▲	○	○	○	○	○	○	○	▲	▲	
ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3880E	Asian Financial Markets	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	

3. 修士課程

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)															
Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO4110E	Labor and Health Economics	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO4120E	Thesis Seminar	WIE Dainn	Fall through Summer	4	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	
ECO4130E	Tutorial (PF)	WIE Dainn	Fall	1	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	
ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpolje	Fall (Session I)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	** For those who have successfully completed the six courses (ECO1000E, ECO1060E, ECO2000E, ECO2060E, ECO2720E, ECO3000E) with a GPA higher than 3.5 over the six courses.
ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	BRAUN Richard Anton	Winter	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6720E	Advanced Econometrics III	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	
ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpolje	Fall (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall	2	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

Political Science, International Relations and Public Administration

GOV, PAD

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
GOV1400E	International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
GOV1460E	The Making of Modern Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV1900E	Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanle	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2100E	Government and Politics in Japan	MASUYAMA Mikiaka	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2200EA	International Relations	IWAMA Yoko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
GOV2200EB	International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	▲	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2210E	International Political Economy	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2230E	Japanese Foreign Policy	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2240EA	International Security Studies	TOKUCHI Hideshi	Fall	2	○	▲	▲	○	○	○	○	▲	▲	○	
GOV2240EB	International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	◎	○	○	
GOV2260E	Politics in Africa	KARUSIGARIRA Ian	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2290E	Debates on International Security Issues	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2310E	Comparative Politics	TAKENAKA Hanukata	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2320E	Comparative State Formation	LIM Guanle	Spring (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2460E	State and Politics in Southeast Asia	LIM Guanle	Spring (Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2470E	State and Politics in Africa	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV2480E	Political Economy in Indonesia	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV2580E	Structure and Process of Government	YOSHIMUTA Tsuyoshi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV3110E	Political Economy of Modern Japan	TBA	TBA	2	▲	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
GOV3220E	Politics of Global Money and Finance	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3230E	Transnational Organized Crime and Security	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3240E	Non-Traditional Security	CROSS Kyoko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV3310E	Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV3320E	States, Regimes, and Institutions in Contemporary Africa	KARUSIGARIRA Ian	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
GOV3400E	International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GOV4900E	Comparative Political Economy in Southeast Asia	TBA	TBA	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	For EPP program only. Credits earned in this course cannot be applied toward the degree.
GOV5910E	Leadership and Knowledge Creation	NISHIHARA Ayano	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	

3. 修士課程

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

⊙=Required Course
○=Recommended or Elective Course
▲=Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	
PAD1010E	Social Science Questions and Methodologies	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2510E	Accounting and Financial Management I	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2550E	Foreign Direct Investment	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2560E	Human Resources Management	TAKADA Hirofumi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
PAD2580E	Global Governance: Leadership and Negotiation	TBA	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2610E	Fiscal and Monetary Policies in Japan	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2640E	Structural Reform and Privatization	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
PAD2670E	Public Expenditure Management	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2680E	Social Security System in Japan	ONO Taichi	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD2690E	Modernization of Financial Sector: Lessons from Recent Financial Crises	NUNAMI Tadashi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
PAD2740E	Small and Medium Enterprise and Technology	HASHIMOTO Hisayoshi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
PAD3020E	Policy Design and Implementation in Developing Countries	OHNO Kenichi, OHNO Izumi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	

Multi Disciplinary Policy Studies

CUL, DEV, EDU, GEN, MOR, REG, STI

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Elective course for DM(Ph.D) students.
DEV2080E	Infrastructure Systems Management	OZAWA Kazumasa	Summer	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
DEV2100E	Transportation Planning and Policy	HIBINO Naohiko	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
DEV2500E	Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	Elective course for DM(Ph.D) students.
GEN3000E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GEN5010E	Introduction to Public Policy Studies	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
GEN5020E	The World and the SDGs	TBA	Fall	1	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	○	○	○	
GEN5030E	GRIPS Forum I	OHNO Izumi	Fall	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
GEN5040E	GRIPS Forum II	OHNO Izumi	Spring	1	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

◎ = Required Course
○ = Recommended or Elective Course
▲ = Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
REG2100E	Local Government System and Finance	TAKADA Hirofumi	Fall	2	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	* Required for YLP-School of Local Governance students.
REG3010E	Local Governance in the Changing World	TAKADA Hirofumi	Spring	2	◎	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	* Required for YLP-School of Local Governance students.
ST11000E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST11090E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	Biyearly Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12060E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	Biyearly Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12080E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12150E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12160E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	Fall(Session I)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12170E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12190E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST12210E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IZUKA Michiko	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST12230E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeno	Fall(Session II)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ST13050E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
ST13060E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	

Program Specific Courses

EPP, GGG, MEP, MSP, PFP, PPP, YLP

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
EPP1010E	East Asian Economies	KUDO Toshihiro, OTSUJI Yoshihiro	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
EPP1400E	Social Policy and Development in ASEAN	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
EPP5010E	Independent Study (Policy Paper)	Various	Fall through Spring	4	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	
GGG5010EB	Policy Debate Seminar I	TANAKA Makoto, et al.	Winter	2	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
GGG5020EB	Policy Debate Seminar II	TANAKA Makoto, et al.	Spring	2	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
GGG5110E	Tutorial I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
GGG5120E	Tutorial II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
GGG5130E	Tutorial III	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***To register for this course, follow the procedure explained in the syllabus.
GGG5140E	Tutorial IV	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
GGG5150E	Tutorial V	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	

3. 修士課程

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
MEP4000E	Tutorial (MEP1)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4010E	Policy Paper Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session I)	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4020E	Policy Paper Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Spring (Session II)	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4030E	Policy Paper Seminar III	TBA	TBA	2	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4100E	Tutorial (MEP2)	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall through Winter [1st year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4110E	Thesis Seminar I	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session I) [2nd year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4120E	Thesis Seminar II	FUJIMOTO Junichi, et al.	Fall (Session II) [2nd year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4130E	Thesis Seminar III	FUJIMOTO Junichi, et al.	Winter [2nd year]	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
MEP4140E	Thesis Seminar IV	TBA	TBA	2	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	
MSP2000E	Maritime Police Policy	OKUZONO Junji	Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP2030E	Introduction to Oceanography	MINAMI Hiroki	Spring	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP2040E	Marine Environment and Pollution	KAWAMURA Noriko	Spring	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP2050E	Traffic Management Systems I	YAMADA Tatsuto	Spring (Session I)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP2060E	Traffic Management Systems II	TBA	Spring (Session II)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3000E	International Law	SHIMOYAMA Kenji	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
MSP3010E	International Law of the Sea	FURUYA Kentaro	Winter	2	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	
MSP3020E	Policy for Search & Rescue, Salvage and Maritime Disaster Prevention	YAMAJI Tetsuya	Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP3030E	International Comparative Criminal Law	SHINTANI Kazuaki	Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3060E	Ship Maneuverability and Practical Operation	NAKAYAMA Yoshiyuki	Winter	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3070E	Fundamentals of Advanced Energy Engineering	KANKI Takashi	Spring (Session II)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3080E	Information Management System I	YAMANAKA Masaaki	Spring (Session I)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3090E	Information Management System II	ISOZAKI Hiroomi	Spring (Session II)	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP3100E	Introduction to International Maritime Safety and Security Conventions	FURUYA Kentaro	Spring	1	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	
MSP4000E	Independent Study	Various	Fall through Summer	4	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP5000E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy I	FURUYA Kentaro	Fall	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	
MSP5010E	Case Study on Maritime Safety and Security Policy II	FURUYA Kentaro	Winter through Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	◎	▲	▲	

◎=Required Course
 ○=Recommended or Elective Course
 ▲=Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

◎ = Required Course
 ○ = Recommended or Elective Course
 ▲ = Closed Course: Students in the program are NOT allowed to take the course.

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
PFP2500E	Multilateral Trading System and Customs Administration	KONDO Yoshitomo	Winter through Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	○	▲	▲	▲	▲	
PFP2520E	International Taxation of Japan	MATSUDA Naoki	Fall	2	○	○	○	○	○	◎*	○	○	○	○	* Required for PF-Tax Students.
PFP5010E	Practicum at the National Tax Agency		Fall through Spring (Session I)	8	▲	▲	▲	▲	▲	◎*	▲	▲	▲	▲	* Required for PF Tax students.
PFP5110E	Practicum in Customs Administration I	KONDO Yoshitomo	Fall	2	▲	▲	▲	▲	▲	◎*	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PFP5120E	Practicum in Customs Administration II	MATSUMOTO Takashi	Winter through Spring	2	▲	▲	▲	▲	▲	◎*	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PFP5130E	Practicum in Customs Administration III	KONDO Yoshitomo, NOJIMA Saori, FUKUZONO Akihiko, ITO Fumiharu	Winter through Spring	4	▲	▲	▲	▲	▲	◎*	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PFP5210E	Intellectual Property Rights Enforcement at the Border	YONEYAMA Yoshihiko	Spring (Session I)	2	▲	▲	▲	▲	▲	◎*	▲	▲	▲	▲	* Required for PF-Customs students.
PPP5010E	Independent Study	TANAKA Makoto, et al.	Fall through Spring	4	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
PPP5060E	Tutorial I	Various	Fall	1	▲	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
PPP5070E	Tutorial II	Various	Fall through Spring	2	▲	▲	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
YLP5000E	Introduction to Japan	PRESSELLO Andrea	Fall (Session I)	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
YLP5010E	Colloquium	TAKADA Hirofumi	Fall, Spring	2	◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	
YLP5020E	Independent Study	MASUYAMA Mikiaka, et al.	Fall through Summer	4	◎*	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Government students.
YLP5030E	Field Trip	PRESSELLO Andrea	Spring	2	◎*	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Government students.
YLP5040E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	◎*	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Government students.
YLP5510E	Independent Study	TAKADA Hirofumi, et al.	Fall through Summer	4	◎*	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Local Governance students.
YLP5540E	Tutorial	Various	Fall through Summer	2	◎*	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Local Governance students.
YLP5550E	Workshop	TAKADA Hirofumi	Fall	2	◎*	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	* Required for YLP-School of Local Governance students.
	Selected Topics in Policy Studies I	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies II	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies III	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies IV	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Selected Topics in Policy Studies (Data Science for Public Policy)	GOTO Jun	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	

3. 修士課程

Academic Year 2023-2024 List of Courses and Instructors (except DMP)

Language

LAN

Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	YLP	MP1	MP2	MEP1	MEP2	PF	EPP	MSP	SSP	Domestic Programs	Remarks
LAN1010J	Basic Japanese 1	PETCHKO Katerina, et al.	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN1020J	Basic Japanese 2	PETCHKO Katerina, et al.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN1030J	Basic Japanese 3	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
LAN2010J	Intermediate Japanese 1	PETCHKO Katerina, et al.	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN2020J	Intermediate Japanese 2	PETCHKO Katerina, et al.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN2030J	Intermediate Japanese 3	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
LAN3010J	Advanced Japanese 1	PETCHKO Katerina, et al.	Fall	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN3020J	Advanced Japanese 2	PETCHKO Katerina, et al.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN3030J	Advanced Japanese 3	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
LAN4010J	Superior Japanese 1	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN4020J	Superior Japanese 2	TBA	TBA	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	
LAN4030J	Superior Japanese 3	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	▲	
LAN0010E	Describing Tables and Figures	WICKENS Matthew H.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Credits earned in these courses cannot be applied toward the degree.
LAN0030E	Thesis and Policy Paper Writing	PETCHKO Katerina, et al.	Spring	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
LAN0040E	English for Academic Purposes	O'NEILL Gavin, et al.	Fall	2	required for those who fail placement test					◎	◎	◎	◎	◎	
LAN0120E	Academic Presentations	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0130E	Dissertation Writing	TBA	TBA	1	recommended for PhD students										
LAN0140E	Professional Writing for Policymakers	TBA	TBA	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0150E	Thesis Writing for MSP	O'NEILL Gavin	Winter	1	required for MSP students										
LAN0160E	Qualitative Writing	WICKENS Matthew H.	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0170E	Abstract Writing for Japanese Students	ONO Keiko	Winter	1	for students in domestic programs										
LAN0180E	Academic Vocabulary Development	NAKATSUGAWA Miyuki	Winter	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
LAN0190E	Academic Communication for Japanese Speakers	NAKATSUGAWA Miyuki	Spring	2	for Japanese students										
LAN0200E	Discussion and Debate for Policymakers	O'NEILL Gavin	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
LAN0210E	Policy Presentations	ERDELYI Tanya	Spring	2	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	
LAN0220E	Policy Proposal Writing	PETCHKO Katerina	Fall	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

政策研究データサイエンス認定証制度について

I 概要

本学は、一連のデータサイエンス関連科目の履修を通じて、学生がエビデンスに基づく政策立案に資する分析能力を獲得させることを目指し、政策研究データサイエンス（DS）認定証制度を設置している。以下に定める要件をすべて満たしたものには認定証を授与する。

II 認定証授与要件

①データサイエンスの基幹的・基礎的科目として下記科目のうち2単位以上を修得する。

- ・データサイエンス基礎
- ・政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I
- ・実践データサイエンス
- ・政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II
- ・Introduction to Data Science
- ・Data Science in Practice
- ・Data Science for Public Policy

②上記の①で修得した科目を含む、データサイエンス関連科目（次項「DS 関連科目群リスト」参照）を2単位×5＝10単位以上を修得する。

※認定書の申請手続及びその他の注意事項については、別途案内するので確認すること。

3. 修士課程

DS関連科目群リスト/ List of DS-related Courses

As of February 15th, 2023

Course Number	Courses	Instructor	Term	Credit
MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2
*MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2
*MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2
MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2
ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2
ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2
ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	LEON-GONZALEZ Roberto	Winter	2
ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2
ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2
ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2
ECO3710E	Time Series Analysis	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2
ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2
ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2
ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2
ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2
ECO6720E	Advanced Econometrics III	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2
ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2
ECO7771E	Applied Econometrics (Advanced)	LITSCHIG Stephan	Winter	2
STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI2230E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall(Session II)	2
STI7031E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7231E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall (Session II)	2
*MOR1030J	データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2
*MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	土谷 隆、竹之内 高志	春	2
MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2
*MOR2020J	実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2
*MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2
MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2
ECO2700JA	計量経済学	黒澤 昌子	春	2
ECO2700JB	計量経済学	未定	未定	2
ECO2710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2
ECO3330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2
ECO3700J	計量経済学の応用と実践	鶴田 大輔	夏	2
ECO3750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	秋	2
UPP3280J	事業評価手法	城所 幸弘、岡本 亮介、細江 宣裕	夏	2
GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2
STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2
STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2
STI7031J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7251J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2
*	Selected Topics in Policy Studies (Data Science for Public Policy)	GOTO Jun	Spring	2

※1 “*”を付した科目はデータサイエンス基幹的・基礎的科目。
Courses with “*” are data science basic/core courses.

※2 開講学期の変更や開講しない場合がある。

The term of a course may be changed or it may not be offered.

※3 修了直前の夏学期または冬学期の科目は、成績評価のスケジュールの都合上、DS認定証授与要件には含まれない場合があるので注意すること。

Note that data science related courses completed in the summer or winter term immediately before completion may not be registered at the time of certificate judgement, due to the timing of grading.

Master's Programs TIMETABLE (Spring Session I: Apr.5 - Jun.3, 2023)

As of March 8, 2023

1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)				
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	
PFP 5010 E				Practicum at the National Tax Agency (PF)																				
GOV 2460 E	State and Politics in Southeast Asia	Lim	J																					
ECO 3710 E	Time Series Analysis (Session I)	Leon-Gonzalez	D	DEV 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	DEV 2500 E	Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	Ieda	M	ECO 3104 E	Political Economy	Izumi	G	REG 3010 E	Local Governance in the Changing World						Takada	D
ECO 3870 E	Agricultural Development (Session I)					Kijima	J	ECO 3200 E	Economics of Law	Hatanaka	K	LAN 1030 JA	Basic Japanese 3A	Petchko, et al.	J	GOV 6220 E	Strategic Studies Research Seminar	Michishita	I					
ECO 6080 E	Advanced Macroeconomics IV (Session I)					Hsu	H	ECO 3210 E	Competition and Regulatory Economics	Tanaka Makoto	G													
ECO 6720 E	Advanced Econometrics III (Session I)	Leon-Gonzalez	A	PAD 2690 E	Modernization of Financial Sector: Lessons from Recent Financial Crises	Nunami	K																	
PFP 5120 E	Practicum in Customs Administration II (PF)	Matsumoto	F	PFP 5130 E																				
GOV 5910 E	Leadership and Knowledge Creation	Nishihara	E																					
ECO 6720 E	Advanced Econometrics III (Session I)	Leon-Gonzalez	A	ECO 3510 E	Environmental Economics	Munro	I	GOV 3400 E	States, Regimes, and Institutions in Contemporary Africa	Karusigaria	E	LAN 1030 JB	Basic Japanese 3B	Petchko, et al.	J									
ECO 3640 E	Financial Economics	Chen Jau-er	J	PFP 2500 E	Customs Law	Kondo	F	ECO 6020 E	Advanced Japanese 3	Petchko, et al.	J													
ECO 3400 E	International Trade (Session I)					Hsu	D	PFP 5210 E	Intellectual Property Rights Enforcement at the Border (Session I)															
ECO 3710 E	Time Series Analysis (Session I)	Leon-Gonzalez	D		Selected Topics in Policy Studies (Data Science for Public Policy)	Goto	F	ECO 3470 E	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance (Session I)	Matsumoto Hidehiko	G	PAD 3020 E	Policy Design & Implementation in Developing Countries	Ohno K., Ohno I	C	YLP 5010 E	Colloquium (YLP)	Takada	TBA					
				STI 3050 E	Energy Security	Nei, Kutani	H	STI 3060 E	Energy Policy in Japan	Nei	H	MOR 2500 E	Quantitative Social Systems Analysis	Tsuchiya, Morohoshi, Takenouchi	I									
				PAD 2560 E	Human Resources Management	Takada	J	GOV 2580 E	Structure & Process of Government	Yoshimuta	F	STI 2170 E	Energy and Environmental Science&Technology	Nei, Shibata	H									

*This timetable is subject to change.

2023年度 修士課程 春後期時間割 (2023年6月5日～2023年7月31日)

2023年3月8日現在

1限 (9:00-10:30)				2限 (10:40-12:10)				3限 (13:20-14:50)				4限 (15:00-16:30)				5限 (16:40-18:10)				6限 (18:20-19:50)				19:30-21:00			
科目番号	授業科目	教員	授業科目	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員
月				CUL 2110 J	21世紀博物館工学	森	E	GOV 2110 J	日本政治と理論分析	竹中	H	ECO 3880 E	Development History of Asia Policy, Market and Technology	Nakao F	GEN 5030 J	GRIPS Forum I	大野泉	PAD 2040 J	中小企業経営と地域経済	橋本(久)	L	STI 1100 J	イノベーションと経済学	鈴木潤	H		
								DRM 3020 J	災害対策各論 I	小山内	D		危機管理政策 災害発生から復興まで (春後期 全6)	室田、河村	D												
	PAD 2250 J	社会復興総論	小野	L	DEV/ 2100 E	Transportation Planning and Policy	Hibino	F	DEV 2500 E	Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	Ieda	M	MOR 2000 J	計画と評価の数理	黒澤	L	LAN 1040 J	Academic Communication for Japanese Speakers	Nakatsugawa	E	GLD 1040 J	外交アカデミー-4 (GLD年目)	組	会議室3C			
				DRM 2010 J	災害リスクマネジメント (春後期・夏)	片山、山口	D	REG 2050 J	現代食料・農業論	塩見、 外部講師		GOV 6100 J	政策過程講特別演習	船尾	研究会 室4E						STI 1100 J	イノベーションと経済学	鈴木潤	H			
火				GEN 4030 J	政策研究演習	増山	C																				
				DRM 2000 J	防災と復旧・復興	森地	D	GOV 2520 J	行政の改革・革新と政策 評価	吉倉田	D																
				ECO 3840 EA	Development Economics EA	Yamauchi	C																				
	PAD 2370 J	医療政策論	島崎	E	GOV 2400 J	政策過程論	船尾	L	MOR 2020 JA	実践データサイエンス ミクロ経済学 II		F	竹之内	REG 2500 J	食料・農業・農村政策総論		REG 2190 E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	Sunokawa, Escoffier	G	STI 1090 E	安全保障論	廣中	E			
水																											
木	ECO 3300 J	都市政策の空間分析	金本、沼崎、 安田	A	ECO 2400 J	費用便益分析																					
金																											
土	STI 1070 J	公約機関からのイノベーション創出																									
※ [DRM3030] 消防防災減災・被災地学習 (春後期～秋) : 春後期～夏については集中講義実施予定 (詳細はシラバスを参照)																											
* 時間割が変更になる場合があります。																											

As of March 8, 2023

[illegible]

This timetable is subject to change.

2023年度 修士課程 夏学期時間割 (2023年8月3日～2023年9月27日)

2023年8月8日現在

月日	曜日	1限(9:00～10:30)				2限(10:40～12:10)				3限(13:20～14:50)				4限(15:00～16:30)				5限(16:40～18:10)				6限(18:20～19:50)				(19:30～21:00)				
		科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	
8月3日	木																										政策研究特論 (国際法と安全保障) ①	古谷	E	
8月4日	金													DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑨ (春後・夏)	片山、 山口	D													
8月5日	土		政策研究特論(情報と安全保障)①②						道下	E																				
8月6日	日																													
8月7日	月	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management①②③								Ozawa	D													ECO 3750 J	経済シミュレーション分析①	細江	G		
8月8日	火									ECO 3700 J	計量経済学的应用と実践①②						後藤	E									政策研究特論 (国際法と安全保障) ②	古谷	E	
8月9日	水	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management④⑤⑥								Ozawa	D	DEV 2180 J	水圏国土学①②						知花	C					ECO 3750 J	経済シミュレーション分析②	細江	G	
8月10日	木	ECO 2200 J	現代社会における法と経済①②						福井	F																	政策研究特論 (国際法と安全保障) ③	古谷	E	
8月11日	金																													
8月12日	土	ECO 2200 J	現代社会における法と経済③④⑤								福井	F																		
		政策研究特論(情報と安全保障)③④						道下	E																					
8月13日	日																													
8月14日	月	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management⑦⑧⑨								Ozawa	D													ECO 3750 J	経済シミュレーション分析③	細江	G		
		ECO 2200 J	現代社会における法と経済⑥⑦⑧								福井	F																		
8月15日	火									ECO 3700 J	計量経済学的应用と実践③④						後藤	E									政策研究特論 (国際法と安全保障) ④	古谷	E	
8月16日	水	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management⑩⑪⑫								Ozawa	D	DEV 2180 J	水圏国土学③④						知花	C					ECO 3750 J	経済シミュレーション分析④	細江	G	
8月17日	木																									政策研究特論 (国際法と安全保障) ⑤	古谷	E		
8月18日	金	DEV 2080 E	Infrastructure Systems Management⑬⑭⑮								Ozawa	D	DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑩ (春後・夏)	片山、 山口	D														
8月19日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題・国際的整備の潮流と日本の対応①②③								西村、萩 野、清水	K																		
		政策研究特論(情報と安全保障)⑤⑥						道下	E																					
8月20日	日																													
8月21日	月																									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑤	細江	G	
8月22日	火									ECO 3700 J	計量経済学的应用と実践⑤⑥						後藤	E									政策研究特論 (国際法と安全保障) ⑥	古谷	E	
8月23日	水													DEV 2180 J	水圏国土学⑤⑥						知花	C					ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑥	細江	G
8月24日	木																									政策研究特論 (国際法と安全保障) ⑦	古谷	E		
8月25日	金													DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑪ (春後・夏)	片山、 山口	D													
8月26日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題・国際的整備の潮流と日本の対応④⑤⑥								西村、萩 野、清水	K																		
		政策研究特論(情報と安全保障)⑦⑧						道下	E																					
8月27日	日																													

3. 修士課程

2023年度 修士課程 夏学期時間割 (2023年8月3日～2023年9月27日)

2023年9月8日現在

月日	曜日	1限(9:00～10:30)				2限(10:40～12:10)				3限(13:20～14:50)				4限(15:00～16:30)				5限(16:40～18:10)				6限(18:20～19:50)				(19:30～21:00)			
		科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室
8月28日	月									UPP 3280 J	事業評価手法①②			城所、岡本、綿江	F									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑦	綿江	G		
8月29日	火									ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践⑦⑧			後藤	E											政策研究特論(国際法と安全保障)⑧	古谷	E	
8月30日	水												DEV 2180 J	水圏国土学⑦⑧			知花	C					ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑧	綿江	G			
8月31日	木									UPP 3280 J	事業評価手法③④			城所、岡本、綿江	F														
9月1日	金												DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑩(春後・夏)	片山、山口	D													
9月2日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応⑦⑧⑨							西村、萩野、清水	K																		
			政策研究特論(情報と安全保障)⑨⑩					道下	E																				
9月3日	日																												
9月4日	月									UPP 3280 J	事業評価手法⑤⑥			城所、岡本、綿江	F									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑨	綿江	G		
9月5日	火									ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践⑨⑩			後藤	E											政策研究特論(国際経済法)①	米谷	E	
9月6日	水												DEV 2180 J	水圏国土学⑨⑩			知花	C					ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑩	綿江	G			
9月7日	木									UPP 3280 J	事業評価手法⑦⑧			城所、岡本、綿江	F											政策研究特論(国際経済法)②	米谷	E	
9月8日	金												DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑩(春後・夏)	片山、山口	D													
9月9日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応⑩⑪⑫							西村、萩野、清水	K																		
			政策研究特論(情報と安全保障)⑪⑫					道下	E																				
9月10日	日																												
9月11日	月									UPP 3280 J	事業評価手法⑨⑩			城所、岡本、綿江	F									ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑪	綿江	G		
9月12日	火									ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践⑪⑫			後藤	E											政策研究特論(国際経済法)③	米谷	E	
9月13日	水												DEV 2180 J	水圏国土学⑪⑫			知花	C					ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑫	綿江	G			
9月14日	木									UPP 3280 J	事業評価手法⑪⑫			城所、岡本、綿江	F											政策研究特論(国際経済法)④	米谷	E	
9月15日	金	ECO 2200 J	現代社会における法と経済⑨⑩					福井	F				DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑩(春後・夏)	片山、山口	D													
9月16日	土	GOV 3500 J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応⑬⑭⑮							西村、萩野、清水	K																		
			政策研究特論(情報と安全保障)⑬⑭					道下	E																				
9月17日	日																												
9月18日	月																												
9月19日	火	ECO 2200 J	現代社会における法と経済⑪⑫					福井	F	ECO 3700 J	計量経済学の応用と実践⑬⑭			後藤	E											政策研究特論(国際経済法)⑤	米谷	E	
9月20日	水	ECO 2200 J	現代社会における法と経済⑬⑭⑮							福井	F	DEV 2180 J	水圏国土学⑬⑭⑮							知花	C	ECO 3750 J	経済シミュレーション分析⑬	綿江	G				
9月21日	木									UPP 3280 J	事業評価手法⑬⑭			城所、岡本、綿江	F											政策研究特論(国際経済法)⑥	米谷	E	
9月22日	金												DRM 2010 J	災害リスクマネジメント⑩(春後・夏)	片山、山口	D													

2023年度 修士課程 夏学期時間割 (2023年8月3日～2023年9月27日)

2023年3月6日現在																													
月日	曜日	1限(9:00～10:30)				2限(10:40～12:10)				3限(13:20～14:50)				4限(15:00～16:30)				5限(16:40～18:10)				6限(18:20～19:50)				(19:30～21:00)			
		科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室	科目番号	科目	教員	講義室
9月23日	土																												
9月24日	日																												
9月25日	月									UPP 3280 J	事業評価手法⑥	城所、岡本、 細江	F										ECO 3750 J	経済シミュ レーション分 析⑥	細江			G	
9月26日	火									ECO 3700 J	計量経済学の応 用と実践⑥	後藤	E											政策研究特論 (国際経済法) ⑦	米谷			E	
9月27日	水																						ECO 3750 J	経済シミュ レーション分 析⑥	細江			G	

- ※ PAD2720J 医療政策特論Ⅰは、夏学期に集中講義実施予定(詳細は教員より案内予定)。
- ※ ST11080J 科学技術イノベーション政策立案演習は、8月5日(土)、8月6日(日)、8月11日(金)に講義室Lで実施予定。
- ※ ST13150J 科学技術イノベーション政策特論Ⅶは、夏学期に集中講義実施予定(詳細は教員より案内予定)。
- ※ DEV2170J 現代インフラ政策特論は夏学期に集中講義実施予定(詳細は教員より案内予定)。
- ※ 政策研究特論(情報と安全保障)の第15回の日程は教員より案内予定。
- ※ 政策研究特論(国際経済法)の第8回は補講期間:9月28日(木) 19:30～21:00に実施予定。
- ※ 時間割が変更になる場合があります。

3. 修士課程

As of March 8, 2023

Course No.	Subjects	Professor	Time Schedule	Room
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	Hosoe	Aug. 3(period 4,5) Aug. 4(period 5) Aug. 7,9(period 4,5) Aug. 14,16, 21,23,28 and 30(period 5) Sep. 4 and 6(period 5)	G
ECO3890E	Development Econometrics	Takahashi Kazushi	Thursday, Friday (period 3)	A
DEV2080E	Infrastructure Systems Management	Ozawa	Aug. 7,9,14,16 and 18 (periods 1,2,3)	D

* This timetable is subject to change.

2023年度 修士課程 秋学期時間割 (2023年10月6日～2024年1月30日)

2022年3月8日現在

5

1曜 (9:00-10:30)			2曜 (10:40-12:10)			3曜 (13:20-14:50)			4曜 (15:00-16:30)			5曜 (16:40-18:10)			6曜 (18:20-19:50)			19:30-21:00							
科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員	科目番号	授業科目	教員					
ECO 1600 E	Economic Development of Southeast Asia	Kudo	F	3030 J	小野、外部講師				ECO 2000 J	経済政策の理論と展開	松谷	E	5040 J	GRIPS Forum II	大野泉	GEN 5020 E	The World and the SDGs*	TBA	MOR 2100 J	政治科学のためのデータ分析Ⅱ	土谷、竹之内				
STI 2080 E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy in Asian Countries	Itanaka, M.	E	2020 J	Inoue	DEV 2160 J	社会基盤発展のPPP/FPI (秋前期)	白比野	MOR 3010 J	数理モデル分析演習	土谷、野澤、竹之内	E	2150 J	都市学の理論と実践	岸井、家田	ECO 3300 J	都市経済学	岡本(亮)	GLD 1050 J	外交アカデミーⅠ (19:30-21:30)	組				
STI 1000 E	Economics of Innovation	Itanaka, M.	E	1000 J		CUL 2140 J	グローバリゼーションと文化政策 (秋前期)	瀬本	REG 3120 J			J	3120 J						G						
ECO 2100 J	財政政策	井堀	H	2100 J												PAD 2030 J	ベンチャー・中小企業と技術革新	橋本(久)	E						
DEV 2040 J	国土政策と社会資本整備	Iizuka	C	2040 J	森地	DRM 2050 J	気象と災害	鈴木靖	E							REG 2940 J	自治体改革論	高田	F	STI 2080 E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	Sumikura			
REG 2310 J	地方自治と行政学	木村	E	2310 J		GOV 2500 J	公共政策と制度・組織設計	吉車田	H										LAN 0040 E	English for Academic Purposes	O'Neill, et al.	CDEGU 2410 J	国際経済交渉論	横田	
ECO 2020 J	政府と市場	堀江	I	2020 J		ECO 6080 E	Theoretical Foundation of Economic Policy	Takahashi Kazuishi	G							GOV 2200 E	International Relations	Brunner	D	CUL 2020 J	文化政策論	堀内、小川	GLD 1050 J	外交アカデミーⅠ (19:30-21:30)	組
						DRM 3010 J	災害対策会議Ⅱ	小山内	E							CUL 2130 J	日本・通関の基礎づくり	堀内	G	PAD 2710 J	医療経営論	田嶋	I		
																REG 2040 J	農村・農業・農村政策特論Ⅱ (春後期～秋)	天羽	H				STI 2220 J	科学技術イノベーション政策と評価	林隆之
		</																							

* 時間割が変更になる場合があります。

Master's Programs TIMETABLE (Fall Session : Oct.6 - Nov.30, 2023)

[illegible]

Intensive Course:

This timetable is subject to change.

Master's Programs TIME TABLE (Fall Session II: Dec. 1, 2023 - Jan.30, 2024)

As of March 8, 2023

1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)				19:30-21:00			
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
MON	PPP 5010 E				Practicum at the National Tax Agency (PT)																						
	ECO 1800 E	Economic Development of Southeast Asia	Kudo	F																							
	ECO 1800 E				Advanced Macroeconomics II (Session I)																						
TUE	STI 2080 E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation in Asian Economies	Inanukunmed	E																							
					Non-Traditional Security																						
					Monetary Economics (Money and Banking)																						
WED	STI 2210 E	Science, Technology and Developing Country Context	Iizuka	C																							
	ECO 6710 E	Advanced Econometrics II (Session I)																									
					International Security Studies (YLP, MEP, PF, EPP, G-sub, Domestic)																						
THU	ECO 2080 EB	Macroeconomics II (MEP1, MEP2, PA) (Session I)																									
					Essential Microeconomics (YLP, MP1, MP2, EPP, MSP, G-sub)																						
					International Relations in East Asia																						
FRI	ECO 3000 E	Mathematics for Economic Analysis	Munro	D																							
					Essential Microeconomics (YLP, MP1, MP2, EPP, MSP)																						
					Comparative Political Economy																						
SAT					Trade and Industrial Development																						

* Intensive Course:

• This timetable is subject to change.

3. 修士課程

2023年度 修士課程 冬学期時間割 (2024年2月2日～2024年3月29日)

2023年3月8日現在

科目番号	科目名	担当教員	学期	日程	講義室
LAN0010E	Describing Tables and Figures	WICKENS Matthew H.	冬	火曜5限	J
LAN0150E	Thesis Writing for MSP	O'NEILL Gavin	冬	月曜6限	D
LAN0160E	Qualitative Writing	WICKENS Matthew H.	冬	月曜5限	J
LAN0170E	Abstract Writing for Japanese Students	ONO Keiko	冬	木曜6限	J
LAN0180E	Academic Vocabulary Development	NAKATSUGAWA Miyuki	冬	水曜6限	J
DEV2140J	景観・デザイン論	福井 恒明	冬	3/6(水), 3/13(水), 3/20(水、祝日) :3～6限 3/27(水):3～5限 (1年コースの学生は 履修不可)	G
GLD1050J	外交アカデミー I	粗 信仁	秋、冬	火木19:30～21:30	会議室3C
GLD2510J	外交交渉論	鶴岡 公二	冬	月水19:30～21:00	E

* 時間割が変更になる場合があります。

Master's Programs TIMETABLE (Winter: Feb.2 - Mar.29, 2024)

As of March 8, 2023

1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)			
Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
PFP 5010 E	Practicum at the National Tax Agency (PF)																			LAN 0150 E	Thesis Writing for MSP	O'Neill	D
				ECO 3450 E	International Finance																		

* Intensive Course:

*This timetable is subject to change.

博士課程の概要

基本理念

本学博士課程は、以下に掲げる人材の養成を基本理念とします。

- (1) 高度な研究能力を有する政策研究の研究者
- (2) 高度な実務的専門知識と学問的体系に沿った政策分析能力を有する実務家

教育目標

本学博士課程は、国際的スタンダードを満たす教育を通じて、

- (1) 高度な政策研究能力
- (2) 政策研究に必要な複数分野のディシプリン
- (3) 社会科学諸分野における論文作成能力を向上させます。

博士論文は、以下の基準を満たすものでなければなりません。

- (1) Policy-relevancy ないし policy implication を有するものであること。
- (2) それぞれの学術分野の研究動向や先行研究を踏まえ、かつ、オリジナリティーを示すものであること。

- (3) 特定政策に関する優れた分析に立脚するものであるか、鮮明な問題意識に立脚したレトロスペクティブな歴史的研究ないしはケーススタディーとして深い洞察を含むものであること。

上記基準を満たすためには、以下のいずれかを満たすことを必要要件とします。

- (1) 研究成果の一部が査読制を有する学術誌に掲載されたか、又は掲載が採択されていること。
- (2) 研究成果がすでに商業出版（出版助成等による出版を含む）されたか、あるいは予定されていること。
- (3) 上記(1)、(2)に相当すると認められる水準にあること。

設置プログラムの概要

本学博士課程には、GRIPS Global Governance Program (G-cube)、Policy Analysis、科学技術イノベーション政策、防災学、政策プロフェッショナルの5つのプログラムが設置されています。各プログラムの詳細については表1を参照してください。

博士課程の修了要件

履修指導

履修指導は、各学生が博士論文を完成させるために必要な科目全てを履修、修得することを目的として、それぞれの専門能力に応じて個別的、重点的にを行います。授業形式、指導方式は以下のとおりです。

- (1) 本学博士課程において提供される授業は、講義、演習、ゼミ形式等で行う。また、国際会議等における論文発表のための論文作成と発表演習、共同研究による論文作成と発表演習などを通じて行う場合もある。
- (2) 政策研究者を志向する者に対する指導は、概ね、各種ディシプリンに基づく学術的成果の発表、政策分析研究の成果発表等を目的として進められる。
- (3) 行政官キャリアを志向する者に対する指導は、概ね、特定政策に関する深い洞察力・歴史的検証に立脚したケーススタディーやレトロスペクティブスタディーを実施し、外部に対して発表することを目的として進める。

研究指導

本学博士課程における研究指導は、当該学生の研究課題と専門的能力、研究遂行能力に応じて、複数の指導教員によって構成される指導教員委員会(Advisory Committee)を通じて行います。指導教員委員会の構成は主指導教員1名、副指導教員1名以上3名以内とします。指導教員委員会は、当該学生の研究計画、これまでの科目履修状況等に応じて授業科目の履修についても指導します。授業科目の履修にあたっては、政策研究遂行上必要となる複数のディシプリン(主専攻・副専攻)を修得するものとします。

カリキュラム

プログラム別履修概要は表2に示すとおりです。博士論文提出資格試験(Qualifying Examination/以下QE)実施概要は表3に示すとおりです。

修了要件

本学博士課程においては、すべての学生は(1)履修要件を満たし、(2)QEに合格した上で、(3)論文の最終審査に合格することが要求されます(博士論文

審査の標準的な実施時期については表4参照)。履修要件、QE、博士論文発表会、博士論文審査委員会の概要は以下のとおりです。

- (1)原則として1年次終了前後に、表2に掲げたプログラム別履修概要の必要単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QEに臨むことができる。
- (2)QEは筆記試験と口述試験で構成される(Policy Analysisプログラムでは、Basic QEとField QEが課される。詳細については表3参照)。筆記試験は主指導教員による1科目、副指導教員または、主指導及び副指導教員により認定された指導教員以外の教員による2科目(政策プロフェッショナルプログラムで博士(政策研究)の学位を希望する場合は1科目)を任意の形式(in-class, take-home, open-note(book), closed-note(book))で行い、すべての科目で100点満点中60点以上を合格とする。口述試験では学生による研究計画案をもとに質疑応答を行う。原則3名以上の審査委員全員の討議によって可否を決定する。筆記試験、口述試験に不合格の場合、それぞれ2度目まで受験可能とする。筆記試験と口述試験の両試験に合格した場合に、QE合格とする。
- (3)すべての博士課程学生は博士論文発表会において、研究成果を発表し、その正当性、妥当性、学術的貢献度を公表、立証しなければならない。通常45分の口頭発表の後、45分の質疑応答を行う。博士課程学生は、審査対象の博士論文を博士論文発表会の4週間前までに教育支援課プログラム運営担当に論文全文データを提出する。プログラム運営担当は学生からの提出物一式を博士論文審査委員会に提出する。

博士論文審査委員会

博士論文審査委員会は、指導教員委員会メンバー(主指導及び副指導教員)に加えて、外部審査委員1名、博士課程委員会委員長代理が加わり、合計4名または5名とします。審査は、発表会での質疑応答の状況を踏まえ、審査委員全員が評価基準5~1の5段階のいずれかの評価を行い、評価の中央値が5となったものを合格とし、中央値が1となった場合に不合格とします。評価の中央値が5か1になる

4. 博士課程

まで審査、評価、修正のプロセスを続けます。博士課程学生は、博士論文審査委員会の最終確認を受けた後、全文データ最終稿を博士課程委員会及び研究

教育評議会の2週間前までにプログラム運営担当に提出します。博士課程委員会及び研究教育評議会にて修了判定承認を受け、学位記が授与されます。

表1 博士課程プログラムの構成

前後期 区分	プログラム	受入 学生	フィールド (研究分野)	学位名	担当 ディレクター
5年 前期・ 後期 一貫 ／ 3年 後期	Policy Analysis 経済学の方法論を使い、日本および世界の 政策課題を理論的、実証的に研究・分析で きる者を育成する	日本人 留学生	経済	Ph.D. in Public Economics : 博士 (公共経済学) Ph.D. in Development Economics : 博士 (開発経済学) Ph.D. in International Economics : 博士 (国際経済学) Master of Arts in Public Economics : 修士 (公共経済学) Master of Arts in Development Economics : 修士 (開発経済学) Master of Arts in International Economics : 修士 (国際経済学)	Leon- Gonzalez
	GRIPS Global Governance Program (G-cube) 新しい世界秩序形成に参画する意思と能力 を併せ持つ国家・国際機関・産業界等の将 来のトップリーダーや、安全保障・外交政 策について高度な戦略性と専門性を持った 人材を養成する	日本人 留学生	政治、経済、 地域研究、 歴史、安全保障・ 国際問題	Ph.D. in Advanced Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in International Relations : 博士 (国際関係論) Ph.D. in International Development Studies : 博士 (国際開発研究)	高橋
3年 後期	科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy) 科学的なアプローチを用い、科学技術イノ ベーション政策の企画・立案、遂行、評価、 修正を行うことができる高度専門職業人と 高度な研究能力を有する研究者を育成する	日本人 留学生	科学技術イノベ ーション政策	Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Public Policy : 博士 (公共政策分析)	林
	防災学 (Disaster Management) 水災害リスクマネジメント分野において国 及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指 導し、研究者を育成できる人材を養成する	日本人 留学生	防災学	Ph.D. in Disaster Management : 博士 (防災学)	日比野
	政策プロフェSSIONナル (Policy Professionals) 事例研究の蓄積を通じて、政策の現場と学 界の本質的な交流を促進し、高度な実務的 専門知識と政策分析能力を有する実務家を 養成する	日本人	事例研究	Doctor of Policy Studies : 博士 (政策研究) Ph.D. in Government : 博士 (政治・政策研究)	飯尾

表2 プログラム別履修概要

プログラム	フィールド (研究分野)	初年度 (QE 以前)	2 年目以降
Policy Analysis	経済	Basic QE 以前に、必修科目 6 科目 (12 単位) を履修する。Basic QE 合格後、更に 3 科目の Advanced コースを受講する。	必要に応じて経済系理論科目を履修し、Field QE に合格後、博士論文作成に努める。
GRIPS Global Governance Program (G-cube)	政治、経済、地域研究、歴史、安全保障、国際問題	カリキュラムに基づき 12 単位以上を履修し、研究計画を作成して QE を受験する。	チュートリアル、G-cube ワークショップを含めて必要単位を履修しつつ博士論文作成に努める。
科学技術イノベーション政策 (Science, Technology and Innovation Policy)	科学技術イノベーション政策	カリキュラムに基づき 10 単位以上 (科学技術イノベーション政策に関する学修歴がない場合は、16 単位以上を推奨) を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	QE 終了後は、必要に応じて研究に必要な方法論などの知識を深め、論文指導セミナーに出席しながら博士論文作成に努める。
防災学 (Disaster Management)	防災学	防災学に関する科目の中から 8 単位以上を履修する。	必要に応じて防災学に関する科目を中心に履修しつつ博士論文作成に努める。
政策プロフェッショナル (Policy Professionals)	事例研究	政策プロフェッショナルカリキュラムに基づいて 10 単位以上 (これ以上を課す場合もある) を履修するとともに、論文作成の骨格を準備する。	必要に応じて政策プロフェッショナルカリキュラムに基づいて履修しつつ博士論文作成に努める。

表 3 博士論文提出資格試験 (QE) 実施概要

本学博士課程学生は、必要な科目を履修し、原則として 1 年次終了前後に必要な単位数を取得済みまたは取得が見込まれる場合、QE に臨むことができる。

QE は筆記試験と口述試験で構成される。Policy Analysis プログラムについては、Basic QE と Field QE で構成される。

プログラム	筆記試験／Basic QE		口述試験／Field QE	
	試験者／科目	実施方法	試験者	実施方法
Policy Analysis	Basic QE は以下の 3 科目： Microeconomics, Macroeconomics Econometrics 以下の科目を履修後、Basic QE の受験が可能： Advanced Microeconomics, Advanced Macroeconomics Advanced Econometrics (それぞれのコースの I, II, を履修)	1 日に 1 科目、 in-class, closed-book で筆記試験を行う	主指導教員及び副指導教員 (原則 3 名以上)	学生の研究結果の初稿を口頭発表し、続いて質疑応答を行う。 Field QE の受験資格： (a) Basic QE (全 3 科目) に合格していること (b) Graduate Seminar I を履修済みであること (c) 主指導により承認されていること
	GRIPS Global Governance (G-cube) Program 科学技術イノベーション政策 防災学	in-class / take-home のいずれか open / closed-book の いずれかを選択し、 筆記試験を行う		学生の研究計画案をもとに口頭発表を行い、質疑応答を行う
政策プロフェッショナル	主指導教員が決定した 1 科目について筆記試験を行う			

4. 博士課程

表 4 博士論文審査の標準的な実施時期

	修了時期			
	3 月	6 月	9 月	12 月
博士論文審査委員の決定 (→実施体制承認・博士課程委員会)	10 月第 3 または第 4 水曜日	1 月第 3 または第 4 水曜日	4 月第 3 または第 4 水曜日	7 月第 3 または第 4 水曜日
論文提出 (→査読・審査実施の公表)	11 月	2 月	5 月	8 月
博士論文発表会・審査会	12 月	3 月	6 月	9 月
最終稿提出期限	下記博士課程委員会の 2 週間前			
審査結果の承認 (博士課程委員会)	3 月第 1 水曜日	6 月第 3 または第 4 水曜日	9 月第 1 または第 3 水曜日	12 月第 2 または第 3 水曜日
審査結果の承認 (研究教育評議会)・修了日	同上	同上またはその直近	同上	同上またはその直近
学位記の授与	3 月学位記授与式	9 月学位記授与式*	9 月学位記授与式	3 月学位記授与式*

* 上記は評価が 4 以上の場合のスケジュール。評価がそれより低い場合にはこれよりも時間を要する。

* 博士課程委員会及び研究教育評議会は 8 月には実施していない。

* 実施時期は、年度により変更することがある。

博士課程プログラム

Policy Analysis Program(5年制・3年制)

(1) 目的

本プログラムでは、経済学の方法論を使い、日本および世界の政策課題を理論的、実証的に研究・分析できる者を育成します。

(2) プログラムの特色

- ① 学生は通常 10 月に入学し、標準修業年限は 5 年です。修士は 2 年で取得可能であり、既に経済学の修士を取得した上で本プログラムに入学する人は、最短 3 年で博士の学位を取得することも可能です。
- ② アドバンスドレベルのミクロ経済学、マクロ経済学、及び計量経済学を履修し、博士論文提出資格試験（Qualifying Examination/以下 QE）に合格することによって、博士論文執筆に進むことができます。Policy Analysis Program については、Basic QE 及び Field QE が課されます。
- ③ 経済学の方法論の習得を必須とし、経済学の各論、および、政策分析の関連科目を履修することで、様々な政策課題に対応できる力を養います。
- ④ 政策分析に必要な経済学の方法論を習得することと並行して、講義・演習・研究会等の中で実際の政策立案や分析を行っている担当者や OB らと日常的に接することを通じて、問題意識の醸成とその解決策について考察する機会を提供します。
- ⑤ 入学者に対して必ずしも経済学に関する学位や予備知識を要求しませんが、経済学に関する知識と理解の程度に応じて、必修科目を履修する前にそれよりも基礎的な科目の履修を求めたり、あるいは、必修科目の一部の履修を免除するなど、学生の能力に応じた教育を行います。
- ⑥ 日本人だけでなく、外国人の学生も多く在籍するため、また博士号取得後直ちに国際的に通用する人材を輩出するため、すべての講義は英語で行われます。

(3) 専門分野（取得可能な学位の種類）

プログラムにおいて以下の専門分野を設定し、それぞれにおいて MA 及び Ph. D. の学位を授与します。

Public Economics

Development Economics

International Economics

GRIPS Global Governance Program (G-cube) (3年制)

本プログラムは、新しい世界秩序、地域秩序の形成に参画する意思と能力を持ち、国家、国際機関、産業界などで指導的な役割を果たしうるトップリーダー(Leader of Leaders)の養成を目的としています。そのために、長期的かつ複眼的で幅広い視野からの確な判断をする能力と、歴史や教養に裏打ちされた大局観を培うよう、工夫されたカリキュラムを提供します。

まず、本プログラムでは、経済学、政治学、歴史、それぞれの分野の考え方の基本と主要な分析手法を習得する機会を提供します。その際、討論や学生が発表する機会を数多く設け、コミュニケーション能力の醸成を図ります。また、国家的な危機の対処に携わった人物、グローバルビジネスを展開する産業界のリーダー、世界共通の政策課題に取り組む国際機関のリーダーなどの体験談を聞き、大局観を身に着け、実践的に使えるように訓練します。講義、チュートリアル、論文指導、試験等はすべて英語で行います。

本プログラムは、ミッドキャリアの行政官のほか、さまざまな分野でグローバルな活躍を目指す、既に関連分野で修士号を持った学生を対象としています。

科学技術イノベーション政策プログラム(3年制)

知識が経済・社会の発展に大きな影響を及ぼす知識基盤社会においては、科学技術イノベーション政策の役割は、科学知識の発展のためだけでなく、新産業創出や、雇用の確保、生活の質の向上、環境問題、さらには SDGs を含めた社会課題の解決のためにも急速に高まっています。また、デジタル化の時代において研究開発やイノベーションの方法論も変化し、その政策やマネジメントのあり方の理解も必要となっています。

こうした背景のもと、本プログラムでは、エビデンスベースのアプローチを用い、科学技術イノ

バージョン政策の企画・立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材の育成を目指します。特に、このような人材に求められる高度な政策研究能力と企画力、そのために必要となる複数のディシプリンの修得、社会科学諸分野における分析能力、高等教育での教授能力、高度の外国語能力を身につけた、行政官、実務者、研究者等を養成することを目指しています。

教授陣には、国内外の優れた科学技術イノベーション政策研究の専門家を揃え、さらにより実践的な研究教育を行うため、科学技術イノベーション政策を専門とし、第一線で活躍する実務家を講師として迎えています。また、優れた研究者や実務家を招いた研究会、講演会も開催します。

学位は、学術分野に確固たる理論的貢献をする論文を執筆した場合に授与する Ph.D. と事例研究・政策分析を軸として実務的貢献を重視した論文を執筆した場合に授与する Doctor の 2 種類を用意し、志望者の希望や特性に応じた論文執筆指導を行います。

防災学プログラム(3年制)

近年、都市化や工業化の進展、気候変動などにより、水災害は世界中で増加・深刻化しており、激甚な被害が経済発展を著しく阻害しています。こうした災害に対する抵抗力を構築し持続的な開発を行うには、水災害リスクマネジメントの研究者や教育者、戦略・政策立案者の養成が求められています。政策研究大学院大学 (GRIPS) と土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) は、国及び国際的な戦略・政策の企画・実践を指導し、研究者を育成することができる人材を養成することを目的とします。

本プログラムでは、すでに修士の学位を取得した者、もしくは同等の能力を有し、大学あるいは研究機関等での研究経験や水災害リスクマネジメント分野での実務経験を有する学生を受け入れます。本プログラムは英語で行われ、標準修業年限は 3 年です。

本プログラムには、東京大学との単位相互認定交換制度があります。また、ICHARM のリサーチ・アシスタント (ICHARM RA) として採用される可能性もあり、その場合には、ICHARM の研究補助業務に従事しながら、博士課程を修了することができます。これは、研究を行いながら

ICHARM での実務を学び経験できる非常に良い機会になります。

政策プロフェSSIONALプログラム(3年制)

高度な実務的専門知識と政策分析能力を有する実務家を養成するという本学建学の理念に沿って、すでに政策に関わる職務経験を十分に積み、基礎的な政策分析能力をも備えた実務家などを対象に、事例研究を軸とした博士論文の執筆を主たる内容とする博士課程のプログラムが政策プロフェSSIONALプログラムです。なお、本プログラムでは、プログラムの性格から、原則として Ph.D. とは違う学位である博士 (政策研究) = Doctor of Policy Studies を授与していますが、入学前の修学経験や履修条件などを考慮して、場合によって、博士 (政治・政策研究) = Ph.D. in Government を授与することがあります。

教育課程は、原則として入学後 1 年間で集中的に必要な講義・演習を履修するとともに、演習を通じて論文の骨格を作成し、2 年目以降は、職場に戻って実務をこなしつつ、論文の完成を目指して研究を続け、入学後 3 年間で博士の学位を取得することを標準として設計されています (軽減された職務につきながら履修する場合、最初の集中的履修期間を 2 年にすることもできます)。

本プログラムは、それぞれがすでに持っている問題意識と経験を最大限に生かし、それに本学における学問分野のトレーニングを効率的に組み合わせることで、優れた事例研究を世に問うとともに、それを通じて高度な実務家としての能力に磨きを掛けることを目指しています。そのため、カリキュラムは、必要な学問分野における分析能力を身につける科目とともに、視野を広げるための科目や論文の書き方などの研究技術に関わる科目などを集中的に履修する仕組みとなっています。学問分野としては、政治・行政学を基盤としながら、経済学や国際関係論、法学、工学などさまざまな分野を総合的に応用することとします。

本プログラムは、原則として、すでに修士の学位を持つ政策に関わる実務家で、博士レベルの事例研究を遂行するに足る実務経験、あるいは研究能力を備えた者で、官公庁や報道機関、NPO などに在籍し、10 年以上の経験を有している者を対象とします。ただし、修士の学位を持たない場合や、経験年数が満たない場合にも、適性に応じて審査

の上で入学を認める場合があります。

本プログラムには、4月、8月、10月に入学が可能です。4月の入学を奨励し、転任などの都合で修学時期を確保するために必要なときなどに限って8月または10月の入学を認めています。入学時期のほか、出願者の入学前の準備状況・研究テ

ーマによって、能力にかかわらず入学がかなわない場合もありますので、受験希望者は、アドミッションズオフィスを通じて、早めにプログラム・ディレクターに事前相談を行うことをお勧めします。

4. 博士課程

Academic Year 2023-2026 Curriculum

(1) GRIPS Global Governance Program (G-cube) (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
I Required Courses	GGG5030EA	Dissertation Proposal Seminar	TAKAHASHI Kazushi, KARUSIGARIRA Ian	Fall through Winter	2	4 18 22
	GGG6050E	G-cube Workshop	KIJIMA Yoko, IWAMA Yoko, TAKAGI Yusuke	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
II Recommended Courses		See Auxiliary Table				
	GGG5110E	* Tutorial I	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
	GGG5120E	* Tutorial II	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
	GGG5130E	* Tutorial III	Various	Fall/Winter/Spring/Summer	2	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with the advisory committee's approval)				
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:
1. Students are required to complete a minimum of 22 credits. Of these credits, 4 credits must come from Category I and 14 credits from Category II. The remaining 4 credits may be taken from Category II or III.
2. Students are required to pass the qualifying exam (QE) consisting of three written exams and an oral exam.
3. To take the QE, students in GGS and IDS Concentration are required to complete Dissertation Proposal Seminar (GGG5030EA) and 10 credits from Category II including 2 credits of Tutorial (GGG5110E or GGG5120E). Students in SISP Concentration are required to complete Dissertation Proposal Seminar (GGG5030EA) and 10 credits from Category II including 4 credits from Group A in Auxiliary Table.
4. Students can take G-cube Workshop (GGG6050E) and Tutorial III(GGG5130E) for credit only after passing the QE.
5. * Tutorials are small-sized classes with two to five students. Tutorials count toward the degree only if they satisfy the rules specified by the G-cube Tutorial Guideline.
6. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.
7. Courses offered in the Program are subject to change.

[AuxiliaryTable] GRIPS Global Governance Studies Concentration

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	GOV2260E	Politics in Africa	KARUSIGARIRA Ian	Winter	2	8
	GOV3320E	States, Regimes, and Institutions in Contemporary Africa	KARUSIGARIRA Ian	Spring	2	
	GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2	
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6901E	Advanced Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanie	Winter	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	2
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanie	Spring (Session I)	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	ECO2720EA	* Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	
	ECO2720EB	* Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2	
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	
	ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2	
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2	
	ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Fall	2	
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall	2	
	ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	

Notes:

The students in the GGS Concentration need to earn at least 8 credits from GOV courses and 2 credits from ECO or GEN courses listed under Category II.

*The students are not allowed to take both ECO2720EA and ECO2720EB for credit.

[AuxiliaryTable] GRIPS International Development Studies Concentration

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	GOV2260E	Politics in Africa	KARUSIGARIRA Ian	Winter	2	2
	GOV3320E	States, Regimes, and Institutions in Contemporary Africa	KARUSIGARIRA Ian	Spring	2	
	GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2	
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2	
	GOV6901E	Advanced Comparative Development Studies of Asia	LIM Guanie	Winter	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanie	Spring (Session I)	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2	
	ECO2720EA	* Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2	8
	ECO2720EB	* Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	
	ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2	
	ECO2790E	Data Science for Public Policy	GOTO Jun	Spring	2	
	ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2	
	ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2	
	ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2	
	ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2	
	ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2	
	ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2	
	ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2	
	ECO6090E	Theoretical Foundation of Economic Policy	TAKAHASHI Kazushi	Fall	2	
	ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Fall	2	
	ECO6820E	Economics of Health and Education	YAMAUCHI Chikako	Fall	2	
	ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	

Notes:

The students in the IDS Concentration need to earn at least 8 credits from ECO courses and 2 credits from GOV or GEN courses listed in Category II.

*The students are not allowed to take both ECO2720EA and ECO2720EB for credit.

[AuxiliaryTable] GRIPS Security and International Studies Concentration

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
II Recommended Courses	Group A	GOV6210E	International Political Economy Workshop	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2
		GOV7201EA	* Advanced International Relations	TBA	TBA	2
		GOV7201EB	* Advanced International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2
		GOV7241E	** Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2
		GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2
	Group B	GOV2260E	Politics in Africa	KARUSIGARIRA Ian	Winter	2
		GOV3280E	Analysis of Great Power Politics	IWAMA Yoko, et al.	Spring	2
		GOV3320E	States, Regimes, and Institutions in Contemporary Africa	KARUSIGARIRA Ian	Spring	2
		GOV6220E	Strategic Studies Research Seminar	MICHISHITA Narushige	Spring	2
		GOV6300E	State and Governance	TAKAGI Yusuke	Spring	2
		GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2
		GOV6461E	The Making of Modern Japan (Advanced)	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Fall	2
		GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2
		GOV7461E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)	LIM Guanle	Spring (Session I)	2
		GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2
		GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veeravooth	Spring	2
		GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2
		GEN8001E	International Development Policy	OHNO Izumi	Winter	2
		ECO3530E	Resource and Energy Economics	TANAKA Makoto	Winter	2
		ECO3840EB	Development Economics	KIJIMA Yoko	Winter	2
		ECO3810E	Economic Development of Japan	OHNO Kenichi	Spring	2
		ECO3860E	Development History of Asia: Policy, Market and Technology	NAKAO Takehiko	Spring	2
		ECO3870E	Agricultural Development	KIJIMA Yoko	Spring (Session I)	2
		ECO3890E	Development Econometrics	TAKAHASHI Kazushi	Summer	2
		ECO3920E	Economic History and Institutions	IZUMI Yutaro	Spring	2
		ECO6810E	Advanced Development Economics	YAMAUCHI Chikako	Fall	2
		ECO7881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2

Notes:
 The students in the SISP Concentration need to earn at least 4 credits from Groups A and 6 credits from Group B.
 *The students are not allowed to take both GOV7201EA and GOV7201EB for credit. Those who have taken "GOV2200EA or EB International Relations" at the Master's level cannot take "Advanced International Relations" with the same instructor.
 **Those who have taken "GOV2240E International Security Studies" at the Master's level are not allowed to take this course for credit.

4. 博士課程

Academic Year 2023-2028 Curriculum

(2)-1 Policy Analysis (Five Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Master's	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	16	8
	ECO6010E	Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2		
	ECO6050E	Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2		
	ECO6060E	Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2		
	ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2		
	ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2		
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
	ECO7020E	* Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
	ECO7030E	* Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
II Recommended Courses	ECO6020E	Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	6	38 (Including master's credits)
	ECO6030E	Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2		
	ECO6070E	Advanced Macroeconomics III	BRAUN Richard Anton	Winter	2		
	ECO6080E	Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2		
	ECO6720E	Advanced Econometrics III	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2		
	ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2		
III Elective courses	ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2	6	38 (Including master's credits)
	ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2		
	ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2		
	ECO7040E	* Graduate Seminar IV	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
	ECO7050E	* Graduate Seminar V	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4		
		Courses not listed in this table (with program director's approval).					
X Others		** Courses offered by the Center for Professional Communication					
Notes:							
1. Course requirements: For a Master's degree, students must complete a minimum of 30 credits, 16 of which must come from Category I, and 6 of which from Category II. For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 38 credits in total. Students must complete a minimum of 24 credits from Category I and 6 credits from Category II. 2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree. 3. The courses marked with * can be registered only by those who passed at least one of the subjects of the Basic QE (Microeconomics, Macroeconomics, and/or Econometrics). 4. A student who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Workshop and make at least two presentations prior to submitting the PhD dissertation. 5. Students are required to submit a policy paper as a requirement for the Master's degree. In the PA program, this is done in Graduate Seminar I. 6. Students who do not have any sufficient backgrounds in intermediate level microeconomics, macroeconomics, and econometrics should take Microeconomics I, II, Macroeconomics I, II, and Introduction to Applied Econometrics. 7. ** Credits earned in these courses cannot count toward the degree. 8. The degree title shall be 'PhD in International Economics', 'PhD in Development Economics' or 'PhD in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director. 9. Courses offered in the Program are subject to change.							

Academic Year 2023-2026 Curriculum
(2)-2 Policy Analysis (Three Year Ph.D. Course)

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Ph.D.
I Required Courses	ECO6000E	* Advanced Microeconomics I	YAMAZAKI Akio	Fall (Session I)	2	24
	ECO6010E	* Advanced Microeconomics II	YAMAZAKI Akio	Fall (Session II)	2	
	ECO6050E	* Advanced Macroeconomics I	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session I)	2	
	ECO6060E	* Advanced Macroeconomics II	FUJIMOTO Junichi	Fall (Session II)	2	
	ECO6700E	* Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2	
	ECO6710E	* Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2	
	ECO7010E	Graduate Seminar I	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4	
	ECO7020E	** Graduate Seminar II	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4	
	ECO7030E	** Graduate Seminar III	LITSCHIG Stephan, MATSUMOTO Hidehiko, YAMAZAKI Akio, IZUMI Yutaro, GOTO Jun	Spring/Fall	4	
II Recommended Courses	ECO6020E	* Advanced Microeconomics III	MUNRO Alistair	Spring (Session I)	2	6
	ECO6030E	* Advanced Microeconomics IV	TBA	Spring (Session II)	2	
	ECO6070E	* Advanced Macroeconomics III	BRAUN Richard Anton	Winter	2	
	ECO6080E	* Advanced Macroeconomics IV	HSU Minchung	Spring (Session I)	2	
	ECO6720E	* Advanced Econometrics III	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2	
	ECO6730E	* Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with program director's approval).				
X Others		*** Courses offered by the Center for Professional Communication				
Notes:						
1. This table applies to those who commenced from a GRIPS master's program with a Master's degree (internal students hereafter), and to those with equivalent ability to internal students.						
2. Course requirements: For the Ph.D. degree, students must complete a minimum of 34 credits, 24 of which must come from Category I and 6 from Category II.						
3. Internal Students may claim up to 10 credits to be transferred to the courses marked with *. With the permission of the Program Director, students who have taken all the required 6 Advanced courses as GRIPS Masters students may substitute one other ECO course.						
4. The courses marked with ** can be registered only by those who passed at least one of the subjects of the Basic QE (Microeconomics, Macroeconomics and/or Economics).						
5. A student who has passed the Basic QE is required to attend the Policy Analysis Workshop and make at least two presentations prior to submitting the PhD dissertation.						
6. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.						
7. *** Credits earned in these courses cannot count toward the degree.						
8. The degree title shall be 'PhD in International Economics', 'PhD in Development Economics' or 'PhD in Public Economics' determined according to the electives taken by the student, the content of the dissertation and the advice of the Program Director.						
9. Courses offered in the Program are subject to change.						

4. 博士課程

Academic Year 2022-2025 Curriculum

(3) Disaster Management

6/ Disaster Management						
Category	Course No.	Course Title	Instructor	Term	Credit	
III Electives Courses	DEV2020E	Supply Chain Management for Infrastructure Planners	INOUE Satoshi	Fall	2	8
	DMP2800E	Hydrology	MIYAMOTO Mamoru, KOIKE Toshio	Fall through Winter	2	
	DMP2810E	Hydraulics	HARADA Daisuke, EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP7001E	Advanced Disaster Management Policies A: from Regional and Infrastructure Aspect	HIBINO Naohiko	Fall	2	
	DMP7011E	Advanced Disaster Management Policies B: from Urban and Community Aspect	SUGAHARA Masaru	Fall	2	
	DEV7501E	Advanced Infrastructure and Regional Development: Lessons from the Past	IEDA Hitoshi	Spring	2	
	DMP7821E	Advanced Integrated Flood Management	TAKEUCHI Kuniyoshi	Fall through Winter	2	
	DMP7871E	Advanced Urban Flood Management and Flood Hazard Mapping	TANAKA Shigenobu	Fall through Winter	2	
	DMP7901E	Socio-economic and Environmental Aspects of Advanced Sustainability-oriented Flood Management	OHARA Miho, SUMI Tetsuya	Fall through Winter	2	
	DMP8811E	Advanced Flood Hydraulics and River Channel Design	FUKUOKA Shoji	Fall through Winter	2	
	DMP8821E	Advanced Mechanics of Sediment Transportation and Channel Changes	EGASHIRA Shinji	Fall through Winter	2	
	DMP8830E	Advanced Hydrometeorology	KOIKE Toshio RASMY Mohamed USHIYAMA Tomoki	Spring	2	
	DMP8840E	Advanced Hydrodynamics	YOROZUYA Atsuhiko	Spring	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
		Courses not listed in this table (with the program director's approval)				
Notes						
1. Course requirements: For Ph.Ds., students must complete a minimum of 8* credits from category III, pass the Qualifying Examination (QE), and pass the final thesis evaluation. * In addition, if a student is advised to take disaster management courses by supervising committee, he or she will be required to take these for up to 4 credits from category III.						
2. The written component of the QEs will be conducted for one course given by the supervisor, and two or three courses given by the advisors.						
3. After starting dissertation work, students are required to report on research that they are planning or working on, at Preliminary Presentations(Ph.D. Candidate Seminars)						
4. Courses offered in the Program are subject to change.						

Academic Year 2023-2026
(4) Science, Technology and Innovation Policy

Category	Course No.	Course Name	Instructor	Term	Credit	Requirement
I Required Courses	ST8011E	Research Seminar I	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	4
	ST8021E	Research Seminar II	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST8031E	Research Seminar III	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST8041E	Research Seminar IV	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
II Recommended Courses	EC07721EA	Introduction to Applied Econometrics (Advanced)	IZUMI Yutaro	Fall	2	6
	EC07881E	Trade and Industrial Development	SONOBE Tetsushi	Fall	2	
	EC08841EA	Development Economics (Advanced)	YAMAUCHI Chikako	Spring	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2	
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	TSUCHIYA Takashi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2	
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	TSUCHIYA Takashi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2	
	DMP8850E	International Policies on Water and Disasters	HIROKI Kenzo	Fall	2	
	GOV7201EB	Advanced International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	
	ST6001E	Economics of Innovation	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	ST6011J	科学技術政策過程論	SUNAMI Atsushi	Biyearly Spring	2	
	ST6061J	科学技術イノベーション政策概論	HAYASHI Takayuki, SUMIKURA Koichi, SUZUKI Jun, NEI Hisanori, IIZUKA Michiko, SUNAMI Atsushi, ARIMOTO Tateo	Spring (Session II)	2	
	ST6071J	公的機関からのイノベーション創出	SUMIKURA Koichi, HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko	Spring (Session II)	2	
	ST6081J	科学技術イノベーション政策立案演習	HAYASHI Takayuki, SHICHUO Naohiro	Summer	2	
	ST6091E	Politics of Innovation	BRUMMER Matthew	Biyearly Spring	2	
	ST6101J	イノベーションと経済学	SUZUKI Jun	Spring (Session II)	2	
	ST6111J	科学技術イノベーション政策のためのミクロ経済学	NAGANE Hiromi	Fall(session II)	2	
	ST7031E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	ST7031J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2	
	ST7061E	Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation	SUMIKURA Koichi	Biyearly Fall	2	
	ST7061J	高等教育・産学連携政策	SUMIKURA Koichi	Biyearly Fall	2	
	ST7071J	科学技術外交論	HIROKI Kenzo, SUNAMI Atsushi	Fall(session II)	2	
	ST7081E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy: Asian Experiences	INTARAKUMNERD Patarapong	Fall	2	
	ST7151E	Comparative Paths of Science, Technology and Innovation Policy	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	ST7151J	科学技術イノベーション政策の史的比較	UEYAMA Takahiro	TBA	2	
	ST7161E	Outline of Energy Policy	NEI Hisanori	Fall(Session I)	2	
	ST7171E	Energy and Environmental Science&Technology	NEI Hisanori, SHIBATA Yoshiaki	Spring	2	
	ST7180E	Advanced Energy Policy	NEI Hisanori, SAKAMOTO Toshiyuki	Spring (Session II)	2	
	ST7191E	Roles of Intellectual Property Rights in Globalized World	SUMIKURA Koichi, ESCOFFIER Luca	Spring	2	
	ST7201J	科学技術とアントレプレナーシップ	SUMIKURA Koichi, MAKI Kanetaka	Spring	2	
	ST7211E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	IIZUKA Michiko	Fall	2	
	ST7221J	科学技術イノベーション政策と評価 (Evaluation of Science, Technology and Innovation Policy)	HAYASHI Takayuki	Fall	2	
	ST7231E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall (Session II)	2	
	ST7241E	History of Japanese Science, Technology and Innovation Policy	ARIMOTO Tateo	Fall	2	
	ST7251J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2	
	ST7261J	科学技術行政システムと指標	HAYASHI Takayuki, IIZUKA Michiko, UICHI Tomohiro	Spring (Session I)	2	
	ST7271J	知的財産マネジメント I	SUMIKURA Koichi	Spring	2	
	ST7281J	知的財産マネジメント II	SUMIKURA Koichi	Fall	2	
	ST8051E	Energy Security	NEI Hisanori, KUTANI Ichiro	Spring	2	
	ST8061E	Energy Policy in Japan	NEI Hisanori	Spring	2	
	ST8071E	Research Seminar V	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST8081E	Research Seminar VI	Various	Fall through Winter/Spring through Summer	1	
	ST8101J	科学技術イノベーション政策特論 I	TBA	TBA	2	
	ST8111J	科学技術イノベーション政策特論 II	TBA	TBA	2	
	ST8121J	科学技術イノベーション政策特論 III	TBA	TBA	2	
	ST8131J	科学技術イノベーション政策特論 IV	TBA	TBA	2	
	ST8141J	科学技術イノベーション政策特論 V	TBA	Biyearly Summer	1	
	ST8151J	科学技術イノベーション政策特論 VI	SUMIKURA Koichi	Biyearly Summer	1	
	ST8161J	科学技術イノベーション政策特論 VII	UEYAMA Takahiro	Fall (Session I)	1	
	ST8171J	科学技術イノベーション政策特論 VIII	TBA	TBA	1	
	ST8200E	Advanced Topics I	TBA	TBA	1	
III Elective Courses		Courses not listed in this table (with Program director's approval)				
X Others		Courses offered by the Center for Professional Communication				

Notes:

1. Course Requirements

Students must fulfill the requirements shown below and pass an oral dissertation defense.

- a) Category I: 4 credits
- b) Category II: at least 6 credits
- c) Category II・III: at least 4 credits

Students are expected to take QE after earning at least 2credits from Category I, at least 6 credits from Category II and 2 credits from Category II & Category III (total 10 credits).

If students neither have completed a master degree program relating to the science, technology and innovation policy nor do have sufficient knowledge in this field, it is strongly recommended in this program that they acquire approximately 16 credits before taking QE and totally 20 credits until their completion.

2. If a student takes the same course in both English and Japanese, only one course will count toward the degree.

3. * Credits earned in these courses cannot count toward the degree.

4. Courses offered in the Program are subject to change.

5. In addition to the above, students can take "科学技術社会論概説", "地域サステナビリティ" and "東アジア地域の科学技術イノベーション政策" which are the courses offered by Kyushu University, as courses required for completion (Category II Recommended Courses), following prescribed procedures. The names of courses offered at Kyushu University are subject to change.

4. 博士課程

Academic Year 2023-2026 Curriculum

(5) Policy Professionals 政策プロフェッショナルプログラム

5) Policy Professionals 政策プロフェッショナルプログラム						
区分	科目番号	科目名	担当教員	学期	単位	
II 選択必修科目	GOV6100J	政策過程論特別演習 (Special Seminar for Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	4
	GOV6910J	事例研究方法論 (Scope and Methods of Case Studies)	IIO Jun	Summer/Winter	2	
	GOV6920J	社会科学方法論＝質的分析 (Social Science Methodology for Qualitative Analysis)	IIO Jun	Fall	2	
	GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Spring	2	
III 選択科目	GOV6110J	日本政治研究特別演習 (Special Seminar for Japanese Politics)	TAKENAKA Harukata	Fall	2	10
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia	TAKAGI Yusuke	Fall	2	
	GOV6520J	行政学特別演習 (Special Seminar for Public Administration)	TBA	TBA	2	
	GOV7101J	政策過程論 (Policy Process)	IIO Jun	Spring	2	
	GOV7201EB	Advanced International Relations	BRUMMER Matthew	Fall	2	
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan	KITAOKA Shinichi, PRESSELLO Andrea	Spring	2	
	GOV7241E	Advanced International Security Studies	MICHISHITA Narushige	Fall	2	
	GOV7311E	Comparative Politics	TAKENAKA Harukata	Fall	2	
	GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)	CHEY Hyoung-kyu	Fall	2	
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy	KANCHOOCHAT Veerayooth	Spring	2	
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe	IWAMA Yoko	Spring	2	
	MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2	
	STI6061J	科学技術イノベーション政策概論	HAYASHI Takayuki, SUMIKURA Koichi, SUZUKI Jun, NEI Hisanori, IIZUKA Michiko, SUNAMI Atsushi, ARIMOTO Tateo	Spring (Session II)	2	
本学で開講されている科目のうち、政策プロフェッショナルプログラム委員会が定めた科目 (Courses not listed in this table, admitted by the Program Committee.)						
X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目				
備考						
1 修了要件						
政策事例研究演習 (Seminar for Policy Case Studies)(通年)を受講し、 次の①および②に示す要件を満たし、Qualifying Examination (QE)に合格した上で、最終論文試験に合格すること。						
① 区分 II 4単位以上						
② 区分 II・III 10単位以上						
なお、入学の際に、プログラム・コミッティーが、上記単位数以上の履修を要求したときには、それに従うこと。						
2. 授業科目は、年度途中で追加開設・変更される場合がある。						
3. 授業内容が同様である日本語の授業科目と英語の授業科目の両方を履修した場合は、いずれか一方の単位を修了に必要な単位としてカウントする。						
4. 区分Xで取得した単位は修了要件に含まない。						

政策研究データサイエンス認定証制度について

I 概要

本学は、一連のデータサイエンス関連科目の履修を通じて、学生がエビデンスに基づく政策立案に資する分析能力を獲得させることを目指し、政策研究データサイエンス（DS）認定証制度を設置している。以下に定める要件をすべて満たしたものには認定証を授与する。

II 認定証授与要件

①データサイエンスの基幹的・基礎的科目として下記科目のうち2単位以上を修得する。

- ・データサイエンス基礎
- ・政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I
- ・実践データサイエンス
- ・政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II
- ・Introduction to Data Science
- ・Data Science in Practice
- ・Data Science for Public Policy

②上記の①で修得した科目を含む、データサイエンス関連科目（次項「DS 関連科目群リスト」参照）を2単位×5＝10単位以上を修得する。

※認定書の申請手続及びその他の注意事項については、別途案内するので確認すること。

4. 博士課程

DS関連科目群リスト/ List of DS-related Courses

As of February 15th, 2023

Course Number	Courses	Instructor	Term	Credit
MOR1000E	Introduction to Quantitative Methods	MOROHOSI Hozumi	Fall	2
* MOR1030E	Introduction to Data Science	TSUCHIYA Takashi	Fall(Session I)	2
* MOR2020E	Data Science in Practice	TAKENOUCHI Takashi	Fall (Session II)	2
MOR2500E	Quantitative Social Systems Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Spring	2
MOR7011E	Quantitative Data Analysis	TSUCHIYA Takashi, MOROHOSI Hozumi, TAKENOUCHI Takashi	Fall	2
ECO2720EA	Introduction to Applied Econometrics	IZUMI Yutaro	Fall	2
ECO2720EB	Introduction to Applied Econometrics	WIE Dainn	Fall	2
ECO2760E	Applied Time Series Analysis for Macroeconomics	LEON-GONZALEZ Roberto	Winter	2
ECO2770E	Applied Econometrics	LITSCHIG Stephan	Winter	2
ECO2780E	Applied Econometrics Practice	LITSCHIG Stephan	Winter	2
ECO3000E	Mathematics for Economic Analysis	MUNRO Alistair	Fall	2
ECO3710E	Time Series Analysis	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2
ECO3720E	Cost Benefit Analysis I	KIDOKORO Yukihiro	Winter	2
ECO3740E	Economic Modeling for Policy Simulations	HOSOE Nobuhiro	Summer	2
ECO6770E	Computer Programming for Economics	PORAPAKKARM Ponpoje	Fall (Session II)	2
ECO6700E	Advanced Econometrics I	LITSCHIG Stephan	Fall (Session I)	2
ECO6710E	Advanced Econometrics II	HAYASHI Fumio	Fall (Session II)	2
ECO6720E	Advanced Econometrics III	LEON-GONZALEZ Roberto	Spring (Session I)	2
ECO6730E	Advanced Econometrics IV	GOTO Jun	Spring (Session II)	2
ECO7771E	Applied Econometrics (Advanced)	LITSCHIG Stephan	Winter	2
STI2030E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI2230E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall(Session II)	2
STI7031E	Bibliometrics and Applications	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7231E	Energy Data Analysis	NEI Hisanori, SUEHIRO Shigeru	Fall (Session II)	2
* MOR1030J	データサイエンス基礎	土谷 隆	春前	2
* MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 I	土谷 隆、竹之内 高志	春	2
MOR2000J	計画と評価の数理	諸星 穂積	春	2
* MOR2020J	実践データサイエンス	竹之内 高志	春後	2
* MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理 II	土谷 隆、竹之内 高志	秋	2
MOR3010J	数理モデル分析演習	土谷 隆、諸星 穂積、竹之内 高志	秋	2
ECO2700JA	計量経済学	黒澤 昌子	春	2
ECO2700JB	計量経済学	未定	未定	2
ECO2710J	費用便益分析	城所 幸弘	春後	2
ECO3330J	都市政策の空間分析	金本 良嗣、河端 瑞貴、安田 昌平	春	2
ECO3700J	計量経済学の応用と実践	鶴田 大輔	夏	2
ECO3750J	経済シミュレーション分析	細江 宣裕	秋	2
UPP3280J	事業評価手法	城所 幸弘、岡本 亮介、細江 宣裕	夏	2
GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)	MASUYAMA Mikitaka	Fall	2
STI2030J	ビブリオメトリクスとその応用	林 隆之	隔年春	2
STI2250J	計量分析演習	鈴木 潤	秋前	2
STI7031J	ビブリオメトリクスとその応用	HAYASHI Takayuki	Biyearly Spring	2
STI7251J	計量分析演習	SUZUKI Jun	Fall (Session I)	2
*	Selected Topics in Policy Studies (Data Science for Public Policy)	GOTO Jun	Spring	2

※1 “*”を付した科目はデータサイエンス基幹的・基礎的科目。
Courses with “*” are data science basic/core courses.

※2 開講学期の変更や開講しない場合がある。
The term of a course may be changed or it may not be offered.

※3 修了直前の夏学期または冬学期の科目は、成績評価のスケジュールの都合上、DS認定証授与要件には含まれない場合があるので注意すること。

Note that data science related courses completed in the summer or winter term immediately before completion may not be registered at the time of certificate judgement, due to the timing of grading.

Doctoral Programs TIMETABLE (Apr. 5, 2023~Mar. 29, 2024)

Term	1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)				As of March 8, 2023 18:30-21:00				
Day	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	
	GOV 6720 E	State and Politics in Southeast Asia (Advanced)(Session I)	Lim	J	STI 6720 E	Advanced Energy Policy (Session II)	Nei, Sakamoto	I									LAN 0190 E	Thesis and Policy Paper Writing	Petcho, et al.	CDEF GUK	STI 6101 J	イノベーションと経済学 (Session II)	鈴木潤	H					
Mon					LAN 2030 J	Intermediate Japanese 3	Petcho, et al.	J																					
					DEV 7991 F	Advanced Infrastructure Development and Resilient Lessons from the Past	Iida	M		GOV 6100 J	政策通商特別演習 (Special Seminar for Policy Process)	Ito		研究会室 4E															
Tue	ECO 6090 E	Advanced Macroeconomics IV (Session I)	Hsu	H	GOV 7321 E	Comparative State Formation (Advanced)(Session II)	Lim	C									LAN 0190 E	Academic Communication for Japanese Speakers	Nakatsugawa	E	STI 6101 J	イノベーションと経済学 (Session II)	鈴木潤	H					
	ECO 6720 E	Advanced Economics III (Session I)	Leon-Gonzalez	A	ECO 8641 EA	Development Economics (Advanced)	Yamauchi	C		GOV 6300 E	State and Governance	Takagi	I				ECO 7010 E	Graduate Seminar I-VII	Li, Qing, Matsumoto, Izumi, Goto	J	STI 6091 E	科学技術とアントレプレナーシップ	Sunkun, Mai	G					
Wed					LAN 3030 J	Advanced Japanese 3	Petcho, et al.	J		LAN 1030 JB	Basic Japanese 3B	Petcho, et al.	J				STI 7181 E	Roles of Intellectual Property in the Globalized World	Sunkira, Escotier	G									
																	GOV 7010 E	Politics and Diplomacy in postwar Japan	Kikuka, Pressado	E									
	ECO 6720 E	Advanced Economics III (Session I)	Leon-Gonzalez	A	GOV 7101 J	政策通商論 (Policy Process)	Ito	L									GOV 8281 E	Analysis of Great Power Politics	Iwama et al.	H									
Thu					ECO 6730 E												GOV 6930 J	社会科学研究法＝量的分析 (Social Science Research Methodology for Quantitative Analysis)	Matsumiya	I									
					GOV 8401 E	Advanced International Relations in Europe	Iwama	H		LAN 0210 E	Policy Presentations	Erdelyi	G																
					STI 8051 E	Energy Security	Nei, Kuriani	H																					
Fri					ECO 7711 J	貿易優益分析 (Cost-Benefit Analysis) (Session II)				GOV 8311 E	Advanced Comparative Political Economy	Kanchodant	J																
			</																										

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4. 博士課程

Term	1 (9:00-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)				AS OF MARCH 5, 2023			
Day	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room
Mon		DMP 8850 E				International Policies on Water and Disaster's	Hiroki	G																				
		GOV 8241 E				Non-Traditional Security (Advanced)	Cross	F																				
Tue		ECO 6900 E				Advanced Macroeconomics II (Session II)					Fujimoto	E																
	STI 7011 E	Comparative Analysis of Science, Technology and Innovation Policy/Asian Experiences	Intrakumnerd	E	ECO 6910 E	Advanced Development Economics	Yamauchi	G	GOV 6910 J	日本経済発展特別演習 (Special Lecture on Japanese Politics)	Takenaka	H	GOV 6920 J	社会科学方法論=質的・量的分析 (Social Science Methodology for Qualitative Analysis)	Ito	研究室 4D	GOV 7011 E	Advanced International Security Studies	Michishita	F								
		STI 6001 E				Economics of Innovation	Intrakumnerd	E	MQR 7011 E	Quantitative Data Analysis	Tsuchiya, Morohoshi, Takemouchi	E																
		GOV 7311 E				Comparative Politics	Takenaka	Research Meeting Room 4F	ECO 6950 E																			
Wed																												
	GOV 7041 E	Policy of Global Money and Finance(Advanced)	Chey	J	DEV 7041 J	国連政策と経済資本主義 (Advanced Topics in National Development Policy and Infrastructure Investment)	Moichi	D	ECO 7721 EA	Introduction to Applied Economics (Advanced)	Izumi	M	GOV 6210 E	International Political Economy Workshop	Chey	C	ECO 7010 E	Graduate Seminar I~VII	Litschig, Matsumoto, Yamazaki, Izumi	J	LAN 0040 E	English for Academic Purposes	O'Neill, et al.	CDEGU	STI 7051 E	Policy for Higher Education-Industry Cooperation	Sumikura	H
	STI 7211 E	Science, Technology and Innovation Policy in Developing Country Context	Iizuka	C	ECO 6820 E	Economics of Health and Education	Yamauchi	G	ECO 7721 EB	Introduction to Applied Economics (Advanced)	Wie	L	GOV 6400 E	Advanced International Relations in East Asia	Takagi	D	GOV 6401 E	The Making of Modern Japan(Advanced)	Kikada, Pressello	M								
Thu		ECO 6710 E				Advanced Economics II (Session II)																						
Fri		ECO 8001 E	Mathematics for Economic Analysis (Advanced)	Miano	D	ECO 6700 E																						
		STI 7221 J																										
Sat																												

*This timetable is subject to change.

As of March 8, 2023																											
Term	Day	1 (9:30-10:30)				2 (10:40-12:10)				3 (13:20-14:50)				4 (15:00-16:30)				5 (16:40-18:10)				6 (18:20-19:50)				19:30-21:00	
		Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room	Course No.	Subjects	Instructor	Room		
	Mon					GOV 6901 E					Advanced Comparative Development Studies of Asia	Lim	F		GEN 8001 E	International Development Policy	Ohno Izumi	E		LAN 0150 E	Thesis Writing for MSP	O'Neill	D				
															LAN 0160 E	Qualitative Writing	Wickens	J									
	Tue					ECO 6070 E						Braun I			LAN 0010 E	Describing Tables and Figures	Wickens	J									
Winter (Feb.2-Mar.7)	Wed																			LAN 0160 E	Academic Vocabulary Development	Nakatsugawa	J				
	Thu					GOV 7281 E					Politics in Africa	Karugagira	G		GEN 8001 E	International Development Policy	Ohno Izumi	E		LAN 0170 E	Abstract Writing for Japanese Students	Ono Keiko	J				
	Fri					ECO 7771 E																					
															PAD 7681 E												

*This timetable is subject to change.

博士課程学生への経済的支援

博士課程授業料免除制度

応募条件

本学博士課程に3年以上在学*し、成績が優秀で、かつ、次のいずれかに該当すること。

- (1) 博士論文を提出し、審査を経たもので、最終合格のための論文修正を行っている学生
- (2) 免除を希望する年の4月又は10月から起算して1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生
- (3) 病気その他やむを得ない事由により休学していた者が復学し、復学後1年以内に博士論文の提出及び学位授与が見込まれる学生

* 休学期間は含みません。

審査

選考委員会が博士論文の執筆状況、成績、研究成果・業績、その他学生の事情等を基準に審査を行います。

免除期間

原則として1年を上限とします（免除申請期間ならびに論文執筆状況を基準とし、選考委員会が決定します）。

申請方法

年に2回、以下の時期に申請を受け付けます。所定の期日までに、主指導教員の推薦状を添えて「授業料の免除申請書」を教育支援課総務担当に提出してください。期の途中からの免除を希望する場合も、所定の期日までに漏れなく申請してください。

- ・ 前期授業料（4月～9月）：2月
- ・ 後期授業料（10月～翌年3月）：8月

結果の通知

申請期限より1ヶ月前後で、文書にて通知します。

ティーチング・アシスタント／リサーチ・アシスタント

博士課程学生は、教育・研究上有意義で、かつ学業の遂行に悪影響がないとプログラム・ディレクターが判断した場合、ティーチング・アシスタント(TA) 又はリサーチ・アシスタント(RA) として、本

学で就労することができます。TA 及び RA の採用申請は、講義又は研究プロジェクト担当教員が行います。

博士課程学生会発表支援制度

目的

博士課程学生に自らの研究成果を積極的に外部で発表する機会を提供し、研究成果発表の経験を積ませることにより、標準修業年限内での学位取得の促進を図ることを目的としています。

申請資格

次の要件をすべて満たす者。

- (1) 博士課程の標準修業年限内での修了が見込まれる者
- (2) 博士論文提出資格試験(QE)に合格した者（学会発表までにQE合格が見込まれる者も含む）
Policy Analysis Program の学生については Basic QE に合格した者（学会発表までにQE合格が見込まれる者も含む）
- (3) 主指導教員が推奨する学会において、自ら研究発表を行う者（ポスターセッション、ペーパーフェア等による発表を除く）
- (4) 主指導教員が学会への参加を承認した者
- (5) 学会開催時点で、審査対象の博士論文を未提出の者

申請手続

原則として、学会のための旅行開始日の2ヶ月前までに、以下の書類を教育支援課総務担当に提出してください。なお、申請に際しては、主指導教員の承認を要します。申請書等の各種様式は、教育支援課総務担当にメールでご請求ください。

- (1) 学会発表旅費等申請書（様式1）
- (2) 当該申請に係る学会の開催通知又はプログラム、申請時点で取り寄せることができる学会の概要
- (3) 学会発表採択通知及び詳細プログラム等学生が研究発表を行うことがわかる資料*
- (4) 航空機を利用する場合は、航空賃の見積書又は請求書（金額に航空券代以外のものが含まれている場合は、内訳がわかる資料）

(5) 外国旅行の場合は、旅行日程がわかる資料(旅行会社等から発行される旅程表等)

* (3) 学会発表採択通知及び詳細プログラムの提出が遅れる場合は、「予備審査」として参加する学会が支援の対象となるかの審査を行います。「予備審査」を行った学会については、書類が整った時点で支援の可否の最終決定のため「本審査」を行いますので、書類が発行され次第早急に提出してください。

出発前に当該資料が提出できない場合は、学会発表のための旅行が終了した日の翌日から2週間以内に提出してください。なお、3月に行われる学会発表については、上記書類を全て、出発前に提出してください。

留意事項

- (1) 旅程には私用を含まないこと。
- (2) 公的資金を適正に使用することの重要性を十分に理解すること。
- (3) 学会登録をする際、所属先に本学の名称を入れること。

補助の決定及び内容

(1) 本制度による補助の可否及び支援内容については、申請書類に基づき、奨学金等委員会が決定します。

* 書類の提出が遅れる場合、又は不備書類が提出された場合は、補助の決定が遅れることがありますので、ご了承ください。

必要書類が整わない場合、参加する学会が支援の対象となるかを判断する予備審査を行う場合があります。

(2) 支援内容は、政策研究大学院大学旅費規程(平成18年18規程第7号)に準じて算出した旅費及び学会参加費(懇親会代、食事代等は補助しない)の全部又は一部とします。

ただし、会計年度毎(4月1日～3月31日)の学生1人あたりの補助総額は25万円を超えないものとし、このうち1回の旅行に対する補助額については、国内旅行5万円、外国旅行20万円を超えないものとします。なお、上限を超える旅費については、学生の負担とします。

(3) 外国旅行及び内国旅行別に支給する旅費は、当該規程に基づき、下表1及び2のとおりとします。ただし、日当及び宿泊料は、現地での2泊3日を上限とします。

(4) 航空賃、鉄道賃、車賃又は船賃及び宿泊料(以下

「航空賃等及び宿泊料」という)がセットになった料金(以下「パック料金」という)を利用した旅行の場合で、パック料金の額が当該規程に基づいて計算した航空賃等及び宿泊料に相当する額の総額より低額であるときは、下表にかかわらず、当該パック料金の額を上限として支給します。

(5) 外国旅行のために必要な保険の費用は、当該規程に基づき、6,000円を上限に支給します。海外での医療費は高額になることから、万一の事故や病気に備え、海外旅行保険に加入することを強く勧めます。緊急時対応の為、出発前に保険証明書のコピーを教育支援課総務担当に提出してください。

学会発表後の手続

学会発表のための旅行が終了した日の翌日から2週間以内に、以下の書類を教育支援課総務担当に提出し精算手続を行ってください。なお、報告書については、主指導教員の確認を要します。

- (1) 学会発表報告書(様式3)
- (2) 確定したスケジュールが記載されているプログラム等及び学会発表内容に関する資料
- (3) 航空機を利用した場合は、航空券の半券又は搭乗を確認できる書類及び航空賃の領収書(金額に航空券代以外のものが含まれている場合は、金額の内訳がわかる資料)
- (4) 外国旅行の場合は、現地での移動にかかった費用に関する領収書
- (5) やむを得ない事情により宿泊料が定額を超えた場合は、宿泊料の領収書
- (6) 学会参加費を支払った場合は、学会参加費の納付証明書

参加費に懇親会代、食事代、宿泊代等が含まれる場合は、内訳がわかる資料を添付すること。懇親会代、食事代、宿泊代等を除いた金額が支給されます。内訳が発行されない場合は日当、宿泊料が減額となります。

- (7) 債主データ登録依頼書(様式2)(すでに口座登録をしてある場合を除く)
- (8) 旅行雑費(表1下段)を支払った場合は、その領収書

注意事項

- ・ 旅行に係る領収書については、旅行後1ヶ月以内に提出を求めることがあるので保管しておくこと。

4. 博士課程

- ・ 領収書の宛名は、申請者本人とすること。

支給方法

学会発表のための旅行終了後、申請者が指定した預金口座へ振り込みます。

表 1 【外国旅行】

旅費の種類	摘要	領収書提出
航空賃	成田空港又は羽田空港から学会開催地の最寄りの空港までの、合理的・経済的な経路によるエコノミークラスの航空賃	○
鉄道賃	成田空港利用の場合：JR 東京駅又は自宅―成田空港駅の成田エクスプレスの運賃 羽田空港利用の場合：JR 東京駅又は自宅―羽田空港第 3 ターミナル駅の運賃	×
車賃	リムジンバス利用の場合：JR 東京駅―成田空港の料金（3,200 円）を上限に実費支給	○
船賃	旅程に応じた旅客運賃	○
現地での移動にかかる費用	学会開催地最寄りの空港から、学会会場までの移動費用（空港が学会会場と同一地域内にある場合を除く）	○
日当 (上限 3 日分)	5,000 円／日 指定都市* の場合、6,000 円／日	×
宿泊料 (上限 2 泊分)	15,000 円／泊 指定都市* の場合、21,000 円／泊 やむを得ない事情により宿泊料が定額を超えた場合、実費額(上限 42,000 円／泊)	△
旅行雑費	旅行者の予防注射料、パスポート交付手数料、査証手数料（旅行代理店への代行手数料を含む）、空港使用料、外貨交換手数料並びに出入国税、任意保険料等必要となる雑費の実費額を大学での支給可否判断を経た上で支給。なお、任意保険料については、6,000 円を上限に支給。	○

* 指定都市は以下のとおり。

アジア：シンガポール

北米：ロサンゼルス、ニューヨーク、サンフランシスコ、ワシントン

欧州：ジュネーブ、ロンドン、モスクワ、パリ

中東：アブダビ、ジッダ、クエート、リヤド

アフリカ：アビジャン

表 2 【国内旅行】

旅費の種類	摘要	領収書提出
航空賃	合理的・経済的な通常の経路及び方法により旅行した場合の旅費	○
鉄道賃		×
車賃		○
船賃	旅程に応じた旅客運賃	○
日当 (上限 3 日分)	2,000 円／日*	×
宿泊料 (上限 2 泊分)	11,000 円／泊	×

* 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県及び群馬県を目的地とする日帰り旅行については、日当を支給しない。

問合せ先

教育支援課総務担当

E-mail: kyouiku@grips.ac.jp**博士課程学生研究支援学内助成金****目的**

本助成金は、博士論文執筆のために必要な研究活動を促進するための経済的支援を行うことを目的とします。また、本事業における経験を活かし、将来的には学外の研究奨励金制度や研究資金制度への応募に資することを目的とします。

募集する案件

以下の観点からその内容等が十分であると判断されるものを支援します。

- (1) 博士研究の内容が優れており、修了に向けての着実な進捗が見られること。
- (2) 本助成金による支援により、博士研究の確実な促進が見込めること。
- (3) 研究を遂行する能力が優れていること。

申請資格

本制度の対象となる学生は、本学に在籍する博士課程の学生で以下を満たしていることとします。

- (1) 当該年度に本制度の採択歴がないこと
- (2) 研究期間開始までに QE (Policy Analysis Program) の学生については Basic QE) に合格していること
- (3) 研究倫理・コンプライアンス教育を研究期間開始までに受講していること

申請手続

- (1) 本制度の支援を受けることを希望する学生は、申請書を作成し、指導教員に提出して承認を受けてください。
- (2) 指導教員は、提出された調査研究等が博士学位論文執筆に資するか否かの観点から申請内容を精査し、受給が決まった場合には最終的な責任者として実施につき学生を指導することができる旨を確認した上で、申請書を承認してください。
- (3) 学生は、指導教員の承認を受けた申請書類一式を電子メールにて、指導教員を CC に入れ、教育支援課担当 (docresearchgrant@grips.ac.jp) まで提出してください。

予算規模と研究期間

・申請 1 件当たりの予算額は、30 万円を上限とし、研究期間は最長で当該年度末日までとなります。ただし申請内容等により、予算額の減額を採択の条件とすることがあります。

・海外調査が含まれる場合、現地での調査進捗状況に基づく調整の必要性を考慮し、承認された金額の範囲内であれば、指導教員の承認により、10 日間以内程度の日程の変更（出発日、滞在日数、訪問先、帰国日の変更等）については、再申請（申請内容の変更）は不要とします。ただし年度をまたぐ滞在延長は認められません。

スケジュール

申請の採否は、奨学金委員会委員が申請書を審査、決定します。

応募締切：奨学金委員会開催の二週間前

審査：奨学金委員会に先立ち資料配布

採択：奨学金委員会にて審査、決定

対象となる経費

経費を申請するにあたっては、研究計画と対象経費との具体的な関連について分かるように記載してください。

(1) 旅費

・海外旅行を伴う旅費については、宿泊費は本学の旅費規程を上限とした実費精算、日当は定額支給、PCR 検査や隔離等に係る費用は実費精算とします。海外旅行保険については、6000 円を上限とした実費精算とします。

・航空券の手配については、事前に教育支援課担当に購入予定のものについてご相談ください。認められた内容以外での購入、使用された場合には、精算できない場合があります。

・出張者以外が支払ったものについては精算できませんのでご注意ください。

・精算に必要な書類は学生が責任をもって取得し、帰国後速やかに教育支援課担当に提出してください。精算に必要な書類に不備がある場合は精算ができず、自己負担となりますので、ご注意ください。

(2) その他の経費（消耗品費、諸雑費等）

[例]

・物品費（書籍、文具等の当該年度に消費が想定されるもの（単価 10 万円以下））

4. 博士課程

- ・耐久消費財（単価 10 万円以下。PC や iPad 等のコンピュータ機器については不可）
- ・言語支援、サブスクリプション・サービス等の費用
- ・ソフトウェア購入にかかる費用
- ・学会発表にかかる経費は不可（学会発表支援制度で申請すること）。

問合せ先

教育支援課教育プログラム室

E-mail: docresearchgrant@grips.ac.jp

注意事項

- ・経費については学生が主体的に執行可能としますが、指導教員の管理・指導のもと、本学規程に基づいて行ってください。経費の執行にあたっては指導教員に CC を入れ、教育支援課担当を通して行ってください。
- ・耐久消費財については、現地調査等のために必要とされる場合を除いて原則として国外に持ち出すことはできません。当該年度を超えて利用することができる物品については、国内で勉学を継続する限りにおいて指導教員の管理の下で利用してよいこととします。学籍を失ったとき、あるいは、休学して離日する際には大学に返却していただきます。
- ・データ購入費、委託費等、他の財源との合算使用も可能な場合がありますので、事前に教育支援課担当にご相談ください。
- ・上記区分外の本学で執行できない経費を計上し採択されても執行できません。執行可能な経費については、教育支援課担当に問い合わせください。
- ・国内外への出張にあたっては、本学における出張手続きが必要となりますので留意ください。
- ・海外旅行を伴う研究計画については、各国の渡航や行動制限等について十分ご注意ください。

成果報告

申請した研究活動終了後一か月以内または当該年度末日のいずれか早い期日までに学生は成果報告書（様式有り）を作成し、指導教員を CC に入れた上で教育支援課担当 (docresearchgrant@grips.ac.jp) まで電子メールで提出してください。

その他注意事項

- ・既存または今後取得予定の外部研究資金等との併用は、外部研究資金の種類によって認められない場合があります。
- ・受給している奨学金等の関係で日程が制約される場合にはそれに従ってください。

図書館

新型コロナウイルス感染症の状況により、開館時間やサービス内容を変更することがありますので、図書館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

開館情報

開館時間

平日：10:00～19:00

土曜日：10:30～15:00

休館日

日曜日、祝休日

年末年始（12月28日～1月4日）

その他臨時に休館する場合は予め図書館ウェブサイトでお知らせします。

入館・退館

図書館の来館利用には学生証が必要です。学生証は必ずご自分のものをお使いください。入館は学生証を入館ゲートにかざして、一人ずつお通りください。

退館は学生証をかざす必要はありません。退館ゲートのバーを押してお通りください。

図書館ウェブサイト

図書館のウェブサイトでは、図書館に関するお知らせを随時掲載しています。また OPAC や各種オンライン・データベースへのリンクもこちらからご利用いただけます。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/>

資料・文献・情報を探す

蔵書検索システム（OPAC）

図書や雑誌を検索して所蔵の有無とその所在場所を確認することができます。また本学で契約している電子ブックはここから検索して本文を利用することができます。

<https://glib.grips.ac.jp/drupal/?q=ja>

（図書館ウェブサイトトップページの検索窓で「OPAC」を選択して検索することもできます。）

GRIPS Discovery Service

電子ジャーナル、電子ブックやデータベース等の電子リソースをまとめて検索し、ジャーナル／ブックのタイトルや論文記事等の情報を探すことができ

ます。本学で契約しているものや無料アクセス可能なものについては、本文を利用することができます。図書館ウェブサイトトップページの検索窓で、「Discovery Service」を選択して検索してください。※ 図書館所蔵の図書、雑誌については OPAC で検索してください。

オンライン・データベース

雑誌に掲載されている論文、新聞記事、統計、判例、法令、特許情報などを検索したり、本文にアクセスしたりすることができます。

目的に合ったデータベースをこちらから選んでご利用ください。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/database/>
（図書館ウェブサイトトップページの「資料の検索」から「データベース・電子ジャーナル」へリンクしています。）

持込 PC によるアクセス／学外からのアクセス

EZproxy サービスにより、構内に持込んだご自分の PC や学外の PC から電子ジャーナルや電子ブック、データベースを利用できます。

https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/off_campus_access/

資料を使う

貸出

借り出したい図書と学生証をカウンターにお持ちください。また自動貸出機も使えます。

- ・ 貸出冊数：30 冊以内
- ・ 貸出期間：1 ヶ月以内

返却

返却期限までに図書をカウンターにお持ちください。学生証は必要ありません。なお図書館が閉館している時は館外に設置しているブックポストに入れてください。

5. 学生生活 —図書館—

予約

借りたい図書が貸出中の場合、予約をすることができます。

→ 『マイライブラリ』をご覧ください。

予約した図書が利用可能になりましたら、図書館からメールでお知らせします。

館外貸出できない資料

以下の資料は貸出禁止です。図書館内でご利用ください。

- ・ テキストコーナーの資料
- ・ 参考図書コーナーの資料
- ・ 雑誌
- ・ 新聞、新聞の縮刷版
- ・ CD/DVD-ROM、視聴覚資料、マイクロ資料
- ・ 破損した資料、およびその恐れのあるもの
- ・ その他特に館長が指定したもの

複写

学生証でコピーをすることができます。コピー機備付けの「文献複写申込書」を記入してからコピーを行ってください。

- ・ 複写できる資料：図書館所蔵資料
- ・ 複写できる範囲：著作権法の認める範囲（「文献複写申込書」を確認してください。）

（科目等履修生等、学生証でコピーできない方はPASMO、Suica等の交通系電子マネー（私費）でコピーしてください。）

レファレンスサービス

図書館の使い方、資料の探し方、資料の入手方法、データベースの使い方など不明なことがありましたら、図書館カウンターにお問い合わせください。

購入希望

本学での学習・研究に役立つ図書、必要な図書がありましたら、購入希望としてリクエストしてください。検討の上、図書館の蔵書として購入します。

『マイライブラリ』よりお申込みください。

※ 既に所蔵している図書の複本は購入しません。

グループ学習室

利用時間

平日：10:00～18:00

土曜日：11:00～14:00

グループで会話をしながら、学習・研究ができる部屋です。ご自由にご利用ください。テーブル、部屋全体のご予約も可能です。図書館カウンターまたはEメールにてお申込み下さい。

ご注意ください

- ・ 図書館内では静粛をお願いします。
- ・ 喫煙、飲食、携帯電話の通話は禁止です。
- ・ 図書館の資料は共有の財産です。破損、紛失、書き込み等しないよう取り扱いにご注意ください。

他大学図書館の資料を使う

相互貸借(ILL サービス)

探している図書や論文がGRIPS 図書館にない場合、他大学等の図書館から取り寄せることができます。『マイライブラリ』よりお申込みください。詳しくは図書館ウェブサイトをご覧になるか、図書館カウンターにお問い合わせください。

紹介状の発行

他大学図書館を来館利用するためにはGRIPS 図書館の紹介状が必要な場合があります。図書館カウンターにご相談ください。

オリエンテーション・講習会

図書館ではご希望に応じて、利用講習やデータベースの講習会を行っています。詳しくは図書館カウンターにお問い合わせください。

図書館に関する質問やご要望がありましたら、いつでもお寄せください。 lib@grips.ac.jp

OPAC の使い方

蔵書検索

OPAC (Online Public Access Catalog) は、GRIPS 図書館で所蔵している図書や雑誌、本学で契約している電子ブックを調べることができる、オンライン蔵書検索システムです。

* 本学で契約している電子ジャーナルについては、GRIPS Discovery Service の「電子ジャーナル・電子ブック検索」で検索してください。

The screenshot shows the OPAC search page. Annotation 1 points to the search bar. Annotation 2 points to the search criteria dropdown menu. Annotation 3 points to the search button. Annotation 4 points to the search results list.

検索条件入力

1. キーワードを入力します。
 2. 資料種別を選択します。
 3. 検索ボタンを押します。
 4. 探している資料が見つからない場合は、「他大学所蔵」を選択し、検索すると他大学図書館の所蔵を調べることができます。
- 前頁の「他大学図書館の資料を使う-ILL サービス」をご覧ください。

検索結果一覧

The screenshot shows the search results list. Annotation 1 points to the search criteria dropdown menu. Annotation 2 points to the search results list.

条件に該当した検索結果の簡略表示一覧です。タイトルをクリックしてさらに詳細を確認してください。

結果が多すぎる場合は、絞込みや検索条件の再設定を行ってください。

1. 資料種別や著者、出版年等による絞込みができます。
2. 「条件再設定」をクリックして、キーワードを追加、変更することができます。

検索結果詳細(図書)

The screenshot shows the search results detail page for a book. Annotation 1 points to the book title. Annotation 2 points to the book details. Annotation 3 points to the book availability. Annotation 4 points to the book location.

1. 「所在」を確認します。
2. 図書は各「所在」に請求記号順に配架されています。請求記号は背表紙ラベルの番号と同じです。
3. 貸出中の場合、返却期限日が表示されます。
4. 貸出中の場合、予約ボタンから予約ができます。

→ マイライブラリ参照

論文単位の検索をする場合は、別のデータベースをご利用ください。

1. 所蔵巻号:この場合、1～426 号、523 号、615～616 号は所蔵していません。
2. 所在:雑誌はタイトル順に配架されています。
3. 所蔵年:図書館で所蔵している巻号の年次の範囲です。
4. 受入継続:受入中止の場合は空欄です。
5. 創刊:雑誌の初号です。GRIPS 図書館で所蔵している号とは異なる場合があります。

OPAC の検索結果から、本学で契約している電子ブックへアクセスできます。

1. 「電子資料を表示」や「IDENT」をクリックすると、電子ブックへアクセスできます。
2. 同時アクセス数などの利用上の注意です。

EZproxy サービスにより、構内に持込んだご自分の PC や学外の PC から GRIPS の契約する電子ジャーナルやデータベースを利用できます。

- ・「データベース・電子ジャーナル」ページで、使用したい電子リソースの「Remote」リンクをクリックし、EZproxy の ID とパスワードでログインしてください。利用終了後は必ずログアウトしてください。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/database/>

- EZproxy 利用方法詳細 https://www.grips.ac.jp/main/lib/search/off_campus_access/

*EZproxy は MyLibrary や G-way とは別のサービスです。

マイライブラリ

マイライブラリでできること

貸出状況の確認

借出中の図書や返却期限日、延長回数を確認することができます。

相互貸借(ILL サービス)

図書館にない図書や文献を他大学から取り寄せることができます。

貸出延長

貸出図書に予約が入っていないければ、貸出期間の延長ができます。延長期間は1ヶ月で、2回まで延長できます。

図書の購入希望

本学での学習・研究に必要な図書を購入希望としてリクエストできます。リクエストを検討の上、図書館の蔵書として購入します。

予約

他の利用者が借りている図書の予約、予約の確認、キャンセルができます。予約した図書が貸出可能になったときは、図書館からメールでお知らせします。

ログイン

1. ログイン画面には、G-way、OPAC、図書館ウェブサイトからアクセスできます。

G-way 左メニューLink



OPAC 画面右上リンク



図書館ウェブサイト
左メニュー

2. GRIPS ID とパスワードでログインしてください。



マイライブラリメインメニュー

マイライブラリ

予約中の資料1件の情報ができました。詳細をみる ← お知らせ

借用中の資料：貸出の延長もできます	入手待ちの資料：予約の取消もできます	新規申し込み
図書館から借りている資料 1件	予約中の資料 2件	学外から取寄せ(文献複写)
	他機関に複写を依頼中の資料 1件	学外から取寄せ(現物貸借)
	購入を依頼中の資料 2件	図書購入希望

お知らせ

貸出中の図書、予約図書、ILL や購入希望を申し込んだ資料についてのお知らせが表示されます。

借用中の資料

貸出中の図書の確認、貸出期間の延長ができます。

入手待ちの資料

予約した図書、ILL や購入希望の申し込みについて、状況の確認や取り消しができます。

<新規申し込み>

学外から取寄せ(文献複写・現物貸借)

学外の図書館から文献複写や図書の取寄せ依頼(ILL)ができます。

図書購入希望

学習・研究等に必要な図書の購入希望をリクエストできます。

予約方法

貸出中の図書を予約するには、OPAC 検索結果画面で「予約」をクリックしてください。貸出中でない図書の予約はできません。

詳解 労働者派遣法, 第2版
著者名: 高松昌雄
出版: 日本労働研究機構 2001/3
ISBN: 4538411388
所蔵: 一般書架 366.14|T946 1ヶ月
状況: 貸出中(返却予定: 2021/01/16)

図書

予約

予約取消

「入手待ちの資料」の「予約中の資料」で一覧表示し、「予約取消」をクリックしてください。

入手待ちの資料: 予約中の資料 全2件 1~2

予約中の資料

他機関に複写を依頼中の資料
購入を依頼中の資料

詳解 労働者派遣法
著者: 高松昌雄
出版社: 日本労働研究機構
年月情報: 2001/3
予約番号: 10007149
予約待機: 1

図書

資料が返却されるまでお待ちください。 予約取消

貸出期間の延長

「借用中の資料」の「詳細を見る」で貸出中の資料の一覧を表示し、「延長する」をクリックします。延長が完了すると、新しい返却期限が表示されます。1ヶ月間延長されます。

借用中の資料：貸出の延長もできます

図書館から借りている資料

Japan's trade policy : action o
r reaction?
著者: Yumiko Mikanagi
出版社: Routledge
年月情報: 1996
資料ID: 00645455
返却予定: 2021/01/16
延長回数: 0

2021/01/16までに返却してください。 延長する

- ・予約のある図書は貸出延長ができません。
- ・延滞図書がある場合は、貸出・延長ができません。
- ・貸出延長ができるのは2回までです。それ以上は、図書館カウンターに図書と学生証をお持ちください。

※新型コロナウイルス感染症対応期間中は、2回を超えてマイライブラリで延長することができます。

学外から取寄せ(文献複写・現物貸借) (ILL サービス)

必要な資料が図書館にない場合、学外の図書館から文献複写や図書を取り寄せることができます。文献や図書が特定できるよう必要事項を入力して「確認に進む」ボタンをクリックします。

【自動入力】 OPAC 詳細検索で「他大学所蔵」にチェックを入れて検索すると、図書館で所蔵していない資料も検索することができます。検索結果画面で ILL 依頼ボタンを押すと、書誌事項が自動で入力されます。

- ・ 書誌事項（書名・著者名・出版社など）が自動的に入力される。
- ・ 文献の複写依頼→論文著者名・論文名、巻号、出版年などを入力して「確認に進む」をクリック。
- ・ 資料の借用依頼→書誌事項を確認して「確認に進む」をクリック。

図書購入希望

学習・研究に役立つ図書や必要な図書がある場合は、購入希望としてリクエストすることができます。検討の上、図書館の蔵書として購入します。

- ・ 購入を希望する図書の情報を入力し、必ず「希望理由」を記入して「確認に進む」をクリック。
- ・ OPAC 詳細検索で「他大学所蔵」にチェックを入れて検索し、検索結果から書誌事項を自動入力することもできます。

※ すでに所蔵している図書の複本は受け付けません。
 ※ 各種資格試験対策・語学学習本は受け付けません。
 ※ 雑誌、電子ジャーナル、データベース等は対象外です。

教育支援情報サービスシステム-GRIPS Gateway (G-way)

G-way とは

G-way とは GRIPS が提供しているオンラインシステムであり、学生が履修登録、成績照会、各種掲示の閲覧、各種申請等をオンラインで行うことができます。

G-way にログインする

(1) G-way (<https://gportal.grips.ac.jp/fw/dfw/ASTSV004/>) にアクセスします。

GRIPS ホームページの [Intranet] からアクセスできます。



(2) ログイン画面が表示されたら、配布された GRIPS ID と GRIPS パスワードを入力し、[Login] をクリックしてください。



National Graduate Institute For Policy Studies

GRIPS ID (学籍番号) と GRIPS パスワードを入力し、
[Login] をクリック

トップ画面

トップ画面には次の4種類の情報が表示されます。

- ・ 講義情報：当日から1週間以内の履修科目についての変更情報
- ・ 時 間 割：当日のスケジュール
- ・ 新着情報：本日付けの自分宛の掲示。タイトルをクリックすると、掲示内容を参照できます。
- ・ 連絡事項：学年暦や各種マニュアル等、在学期間中を通して必要となる情報

The screenshot shows the GRIPS Gateway interface. At the top, there's a header with the logo, date (2016/01/22), login field, and language selector (日本語 / English). Below the header is a navigation bar with HOME and TOP links. A left sidebar contains a MENU with various options like 履修・シラバス・成績, 講義情報, 掲示板, etc. The main content area is divided into four sections:

- 講義情報 (Course Information):** A table listing courses with columns for 講義日 (Date), 時間 (Time), and 科目名 / 講義室 (Course Name / Lecture Room). It shows entries for Microeconomics II on 01/23 and 01/27.
- 時間割 (Timetable):** A table showing the daily schedule with columns for 時間 (Time), 科目名 / 講義室 (Course Name / Lecture Room), and 担当 (Instructor). It lists Operations Research and Quantitative Data Analysis.
- 新着情報 (New Information):** A list of recent announcements, including 2015年度秋学期・秋後期講義アンケート and 2015年度秋学期・秋後期講義アンケート.
- 連絡事項 (Contact Items):** A list of contact information, including G-wayマニュアル, 学年暦, and 履修登録について.

MENU

画面の左側の MENU には利用可能な各種サービスが表示されています。

[+] をクリックすると詳細メニューが表示されます。



5. 学生生活 —G-way—

ポップアップブロックが表示された場合

メニューから各処理画面に移る際に次のようなメッセージが表示される場合は、[このサイトのオプション(O)]及び[常に許可(A)]を選択します。メッセージの表示が異なる場合は、ブラウザのヘルプ画面を参照してください。



[↑ IE : Internet Explorer]



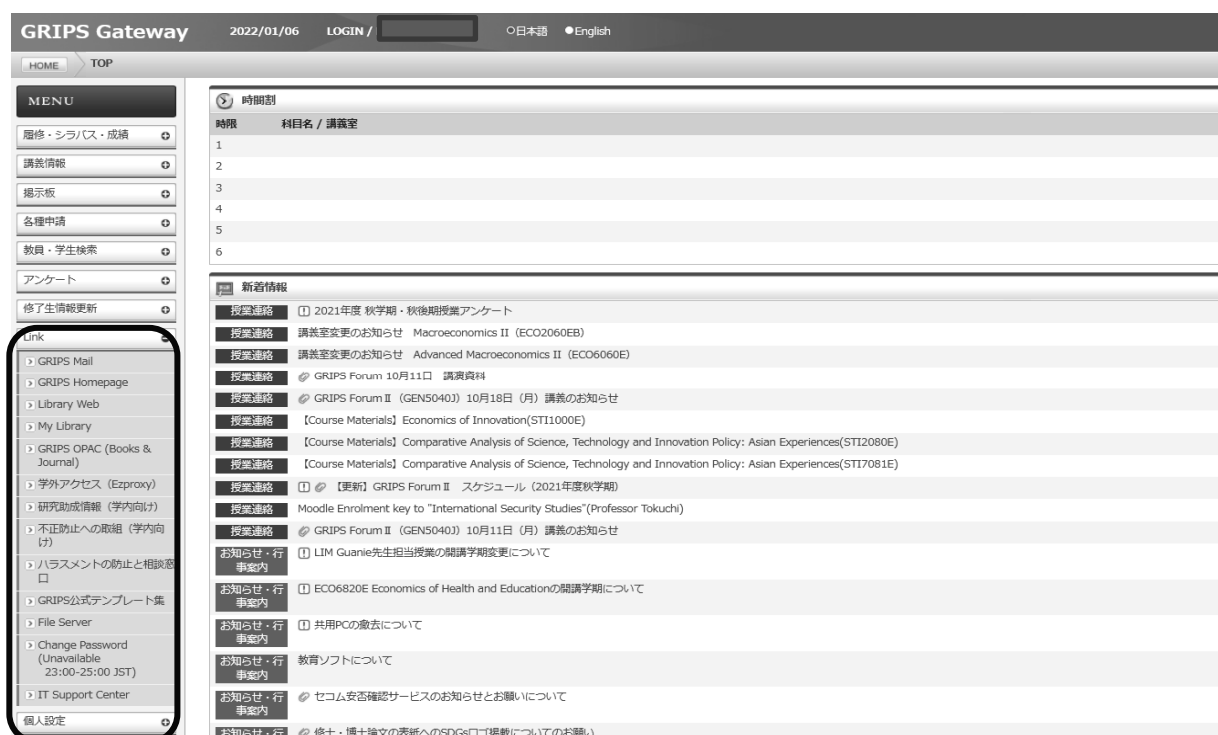
[↑ Firefox の画面]



[↑ Google Chrome の画面]

各種リンク

左側のメニュー画面に各種学内サービスへのリンクが表示されるので、利用したいサービスをクリックして使用してください。



GRIPS Mail	GRIPS で提供する WebMail システム
GRIPS Homepage	GRIPS ホームページ
Library Web	図書館ホームページ
My Library	図書館システム（本の貸し出し管理や予約など）
GRIPS OPAC	図書館システム（蔵書の検索）
学外アクセス（EZproxy）	電子ジャーナル、電子ブック等電子リソースの利用に関するサービス
研究助成情報	各種研究助成情報
不正防止への取組	研究上の不正防止に関する各種資料
File Server	学生用ファイルサーバ（SSL-VPN システムに接続されます）
Change Password	パスワード変更システム
IT Support Center	IT サポートセンターホームページ

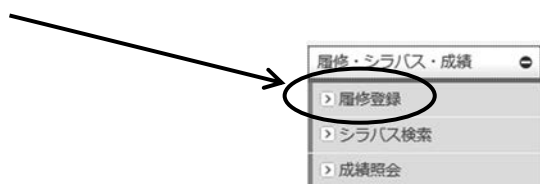
※ 表示されるリンク内容は変わることがあります。

履修登録・成績照会

履修登録

履修登録画面を表示

G-way のメニュー (MENU) 「履修・シラバス・成績」 から [履修登録] をクリックすると、履修登録、履修登録取消ができます。



各学期で定められた期間に応じて、「履修登録」、「履修登録取消」、「履修登録確認票参照」のいずれかの画面が開きます。

・履修登録・更新画面（履修登録期間中）

プログラム		学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)		sg-stu	PlannersX 太郎X
mon	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		

・履修登録取消画面（履修取消期間中）

プログラム		学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)		sg-stu	PlannersX 太郎X

Update Time : Label

取り消したい科目にチェックをつけ履修登録取消ボタンを押してください。 Please check the box for the course to withdraw and click the Withdrawal button.

曜日	時間	学期	科目番号	科目名	担当者	履修登録取消
mon	1	Winter	LAN0000E	Strategies for Editing and Revising		☐
	2	Winter	PAD2500E	Global Governance: Leadership and Negotiation		☐
	3					
	4	Winter	LAN1020JA	Basic Japanese 2A		☒

- ・履修登録確認票
(上記の期間以外)

(1) 履修登録期間中は次のような画面が開きます。

履修登録・更新

2	
3	
4	- Development Economics - Education Policy
5	- International Security - Resource and Environment
6	

2	
3	__ Military Operations, Strategy, and Policy
4	__ Military Operations, Strategy, and Policy
5	

Web ページからのメッセージ

 変更前の授業は複数コマ授業です。他の曜日時間の授業も変更されますので、注意して下さい。

This is a course that is offered on different days and periods in the week. The change you are making will be reflected on other day(s) and period(s).

OK

履修登録確認票は、履修登録処理を完了した際に画面が開きます。

また、履修登録期間ではない場合には、登録処理画面が開かずに、履修登録確認票が直接開きます。

必要に応じて印刷したり、PDF ファイルとしてダウンロードし保存したりすることができます。

プログラム		学籍番号	氏名	修得単位合計 (履修中含む)	修得単位合計
Young Leaders Program (School of Local Governance)		agrate	Planners 木原	20	

	1	2	3	4	5	6
Mon	Strategies for Editing and Writing Jredits Lecture Room E 講義室E	Global Governance: Leadership and Negotiation Jredits Lecture Room D 講義室D		Basic Japanese 2A Jredits Lecture Room E 講義室E		
Tue	Impacts of Macroeconomic Policies and International Finance Jredits Lecture Room D 講義室D (中食後)	Impacts of Macroeconomic Policies and International Finance Jredits Lecture Room D 講義室D (中食後)		State Building and Development Jredits and OCHIMOTO Takashi Lecture Room E 講義室E		
Wed				State Building and Development Jredits Lecture Room E 講義室E		
Thu		Global Governance: Leadership and Negotiation Jredits Lecture Room D 講義室D	Educational Policy Jredits Lecture Room D 講義室D	Educational Policy Jredits Lecture Room D 講義室D		
Fri						
Sat						
Others						
Total						

Remarks
I Required Courses: You have earned/are expected to earn 0 credits (including ongoing courses) out of 10 credits.
II Core Elective Courses: You have earned/are expected to earn 2 credits (including ongoing courses) out of 4 credits.
Total (I Required Courses, II Core Elective Courses, III Recommended Courses, IV Elective Courses: You have earned/are expected to earn 14 credits (including ongoing courses) out of 20 credits.

(8) 履修登録科目が適切でない場合は以下の画面が表示されます。[戻る] ボタンをクリックし、「履修登録」画面に戻ってエラー箇所を修正し再度「登録」 ボタンをクリックしてください。

5. 学生生活 －G・way－

(9) 履修登録期間中は何度でも登録内容の修正が可能です。登録済みの科目は「履修登録」画面に表示されます。また、当学期以前から履修している科目や事前に教務担当が登録した科目（黄色ハイライト）は、登録を取り消すことはできません。

(10) 一度登録した科目を取り消すには、履修可能な科目一覧の最上段にあるブランク行を選択して、再度、
[登録] ボタンをクリックしてください。

(11) 履修登録画面に表示されない科目がある場合、画面左下にある” others” ボタンを押してください。
「集中型授業」の場合もこちらに表示され、登録することができます。

シラバス閲覧

(1) 各時限のボタンをクリックすると、履修可能な科目の一覧が表示されます。

Gateway to Global Leadership
GRIPS

時間割 履修登録申請書 CSV出力 履修登録確認票 登録

履修登録・更新

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X
mon	1	Strategies for Editing and Revising () [Winter]
	2	Global Governance: Leadership and Negotiation () [Winter]
	3	
	4	Basic Japanese 2A () [Winter]
	5	
	6	
tue	1	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance () [Winter]
	2	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance () [Winter]
	3	
	4	State Building and Development () [Winter]
	5	
	6	
wed	1	
	2	
	3	
	4	State Building and Development () [Winter]
	5	
	6	
thu	1	
	2	Global Governance: Leadership and Negotiation (KOMATSU Masayuki) [Winter]
	3	Education Policy () [Winter]
	4	Education Policy () [Winter]
	5	
	6	

(2) [閲覧] ボタンをクリックすることでシラバスを参照することができます。

Gateway to Global Leadership
GRIPS

政策研究大学院大学

Academic Matters 科目一覧

曜日: tuesday 時限: 2

学期	科目番号	科目名	担当者	シラバス
Winter	ECO2890E	Project Cycle Management and International Development Evaluation		閲覧
Winter	ECO3470E	Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance		閲覧

5. 学生生活 —G-way—

履修登録申請書と時間割

(1) 履修登録申請書

「履修登録」画面に表示されない科目の履修を希望する場合は、[履修登録申請書] ボタンをクリックして申請書をダウンロードします。申請書に必要事項を記入し、教務担当 (ast@grips.ac.jp) まで E メールにて提出してください。

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X

(2) 時間割

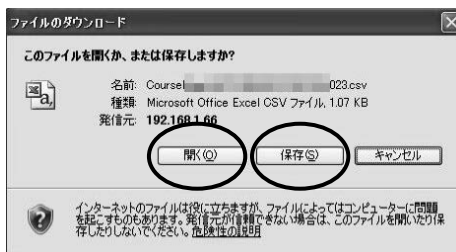
「履修登録」画面にある[時間割]ボタンをクリックすると、その学期の時間割を確認することができます。

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X

CSV 出力

[CSV 出力] ボタンをクリックするとその時点で登録している履修科目の一覧を CSV ファイルでダウンロードできます。ファイルを開く場合は[開く]ボタンをクリックし、保存する場合には[保存] ボタンをクリックしてください。

プログラム	学籍番号	氏名
Young Leaders Program (School of Local Governance)	sg-stu	PlannersX 太郎X



履修登録取消

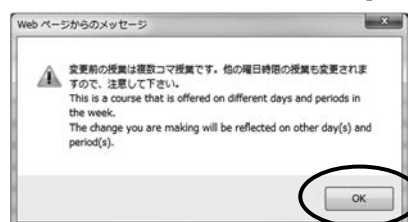
(1) 履修登録取消期間中は次のような「履修登録取消」画面が開きます。

曜日	時限	学期	科目番号	科目名	担当者	履修登録取消
mon	1	Winter	LAN0060E	Strategies for Editing and Revising		☐
	2	Winter	PAD2580E	Global Governance: Leadership and Negotiation		☐
	3					☐
	4	Winter	LAN1020JA	Basic Japanese 2A		☒

(2) 履修登録を取り消したい場合は、対象科目の【履修登録取消】ボックスをクリックしてチェックを入れます。履修登録取消の対象から解除したい場合は、チェックの入っている【履修登録取消】ボックスを再度クリックしてチェックを外します。（※教務担当が履修登録した科目は自分では取り消しできません。教務担当にご連絡ください。）

曜日	時限	学期	科目番号	科目名	担当者	履修登録取消
mon	1	Winter	LAN0060E	Strategies for Editing and Revising		☐
	2	Winter	PAD2580E	Global Governance: Leadership and Negotiation		☐
	3					☐
	4	Winter	LAN1020JA	Basic Japanese 2A		☒

(3) 複数の曜日時限に開講される科目の場合は、いずれかの選択内容を変更すると、連動して他の曜日時限の内容も更新されます。以下のメッセージが表示されるので、確認後 [OK] ボタンをクリックしてください。



(4) 最後に【履修登録取消】ボタンをクリックしてください。

曜日	時限	学期	科目番号	科目名	担当者	履修登録取消
mon	1	Winter	LAN0060E	Strategies for Editing and Revising		☐
	2	Winter	PAD2580E	Global Governance: Leadership and Negotiation		☐
	3					☐
	4	Winter	LAN1020JA	Basic Japanese 2A		☒

5. 学生生活 —G-way—

(5) 履修登録取消期間中は何度でも履修登録取消の修正が可能です。履修登録取消をした科目は、「履修登録取消」画面の科目右側にある[履修登録取消]ボックスにチェックが入った状態で表示されます。

成績照会

(1) GRIPS Gateway メニュー「履修・シラバス・成績」から[成績照会]をクリックすると、成績を照会することができます。

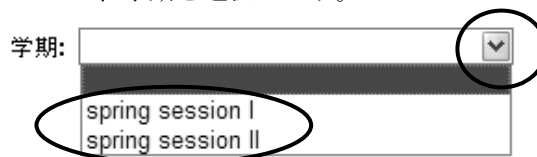


(2) メニュー画面には以下の3種類のボタンがあります。



成績照会(学期)

(1) プルダウンメニューをクリックして、学期を選択します。



(2) 学期を選択した後に[成績照会 (学期)] ボタンをクリックしてください。



(3) それぞれの科目名の上に成績評価が表示されます。履修中の場合は「*」が表示されます。

政策研究大学院大学 2011 Winter 冬学期 成績照会(学期)

プログラム Young Leaders Program (School of Local Governance)		学籍番号 se-sfu	氏名 PlannersX 太郎X			
	1	2	3	4	5	6
Mon	Grade A Strategies for Editing and Negotiating Credit: 2 KOMATSU	Grade A Global Governance: Leadership and Negotiation Credit: 2 KOMATSU		Grade A Basic Japanese 2A Credit: 1 Kondoh		Grade D Urban Development and Real Estate Policy Credit: 2 KANEMO
Tue	Grade B Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance Credit: 2 KOEDA	Grade B Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance Credit: 2 KOEDA		Grade Pass State Building and Development Credit: 2 SONOBE		
Wed				Grade Pass State Building and Development Credit: 2 SONOBE		Grade D Urban Development and Real Estate Policy Credit: 2 KANEMO
Thu		Grade A Global Governance: Leadership and Negotiation Credit: 2 KOMATSU	Grade B Education Policy Credit: 2 OKAMOTO	Grade B Education Policy Credit: 2 OKAMOTO		
Fri						
Sat						
Others						

戻る

成績照会(全体)

[成績照会 (全体)] ボタンをクリックすると、2種類の表が表示されます。

Gateway to Global Leadership
GRIPS 政策研究大学院大学

Menu

成績照会(学期) 学期:

※Available only after the grade release dates of each term.

成績照会(全体) 学期:

履修登録状況 CSV出力

- 上段の表には、これまでに履修した全ての科目とその成績評価が表示されます。履修中の場合は「*」が表示されます。
- 下段の表には、区分ごとの単位修得状況が表示されます。

成績照会(全体)

プログラム Young Leaders Program (School of Local Governance)	学籍番号 se-sfu	氏名 PlannersX 太郎X	修了予定年月 2012/02
科目名	担当	単位数	修得時期
Global Governance: Leadership and negotiation	KOMATSU Masayuki	2	A
Managing Cultural Diversity	AIKAWA-FAURE Noriko	2	C
Introduction to Quantitative Methods	OYAMA Tatsuo and MOROHOSHI Hozumi	2	B
Macroeconomics II	DEGUCHI Kyoko	2	B
Microeconomics II	YOSHIDA Yuichiro	2	A
Education Policy	OKAMOTO Kaoru	2	B
Labor Economics	KUROSAWA Masako	2	B
Empirics of Macroeconomic Policies and International Finance	KOEDA Junko	2	B
Urban Development and Real Estate Policy	KANEMOTO Yoshitsugu	2	D
State Building and Development	SONOBE Tetsushi and SHIRAIISHI Takashi	2	Pass
Basic Japanese 2	Kondoh et al.	1	A
Strategies for Editing and Revising	NAKATSUGAWA Miyuki	1	*
(Prospective number of credits (including * ongoing courses))		1	*
(Number of credits earned)		21	
●修了要件			
区分		必要単位数	修得単位数
I Required Courses		18	0
II Core Elective Courses		4	2
Total I Required Courses, II Core Elective Courses, III Recommended Courses, IV Elective Course		30	14

戻る

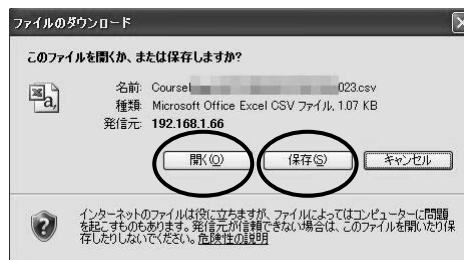
5. 学生生活
－G-way－

履修登録状況 CSV 出力

(1) プルダウンメニューをクリックして、学期を選択します。



(2) [履修登録状況 CSV 出力] ボタンをクリックするとその時点で登録している履修科目の一覧が CSV ファイルでダウンロードできます。ファイルを開く場合は [開く] ボタンをクリックし、保存する場合には [保存] ボタンをクリックしてください。



授業連絡

授業連絡

G-way のメニュー（MENU）「講義情報」から【授業連絡】をクリックすると、履修登録している科目に関する連絡を確認したり、講義資料をダウンロードすることができます。



授業連絡の確認方法

(1) 【授業連絡】 をクリックしてください。



(2) 件名をクリックすると授業連絡の内容が表示されます。



(3) 添付ファイルは、ファイル名をクリックするとダウンロードできます。



5. 学生生活 —G-way—

授業連絡への返信方法

(1) [返信] ボタンの表示がある場合は返信が可能です。返信の際、コメント入力及びファイル添付ができます。



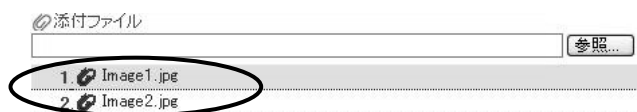
(2) ファイルを添付するには、[参照] ボタンを押し、パソコンに保存されたファイルを選択します。



(3) ファイル選択後、[開く] ボタンをクリックしてください。



(4) 選択したファイルはファイル名が表示されます。



(5) 選択したファイルが正しければ、[返信] ボタンを押してください。



学籍異動・各種証明書の申請

各種申請

G-way のメニュー (MENU)「各種申請」から学籍の異動や各種証明書の発行を申請することができます。



学籍異動申請

(1) [学籍異動申請] をクリックしてください。



(2) [新規申請] をクリックすると新規申請画面が表示されます。



(3) 「異動区分」で申請する区分を選択し、必要事項を入力の上、[申請] ボタンをクリックしてください。



(4) 申請内容が画面に表示されます。

(5) 申請内容を修正する場合は [MODIFY] をクリックし、申請を取り消す場合は [DELETE] をクリックしてください。(※この操作は、「申請状況」が「申請中」の時のみ有効ですので、注意してください。)



5. 学生生活 —G-way—

各種証明書発行申請

(1) [証明書発行申請] をクリックしてください。



(2) [新規申請] をクリックすると新規申請画面が表示されます。



(3) 「証明書の種類と必要発行部数」に発行可能な証明書の種類が表示されるので、証明書の種類と部数を選択し、「申請理由」に申請理由を入力してください。



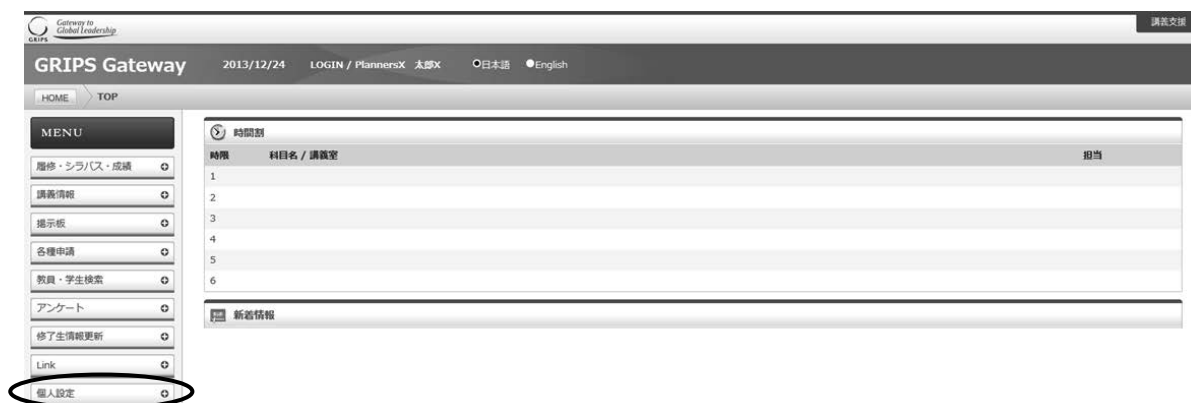
(4) 入力後、[申請] ボタンをクリックすると、申請内容が画面に表示されます。

(5) 申請内容を修正する場合は [MODIFY] をクリックし、申請を取り消す場合は [DELETE] をクリックしてください。（※この操作は、「申請状況」が「申請中」の時のみ有効ですので、注意してください。）



各種設定

個人設定



システム設定

[システム設定] をクリックすると掲示板の最新情報を指定したメールアドレスに転送することができます。

※ 入学時に付与されたメールアドレス (×××××@grips.ac.jp) が、転送先アドレスとしてあらかじめ登録されています。



プライバシー設定

[プライバシー設定] をクリックすると、「教員・学生検索」で表示される情報の公開可否を設定することができます。



Gateway to Global Leadership GRIPS		政策研究大学院大学
Directory Search	Student Privacy Setting	
メールアドレス1:	☒ 許可しない	☐ 許可する
メールアドレス2:	☒ 許可しない	☐ 許可する
メールアドレス3:	☒ 許可しない	☐ 許可する
顔写真:	☒ 許可しない	☐ 許可する
住所:	☒ 許可しない	☐ 許可する
郵便番号:	☒ 許可しない	☐ 許可する
電話番号:	☒ 許可しない	☐ 許可する
携帯電話番号:	☒ 許可しない	☐ 許可する
Submit		

IT サービス(IT サポートセンター)

IT サポートセンターの紹介

IT サポートセンターは、GRIPS 内の全ての教員・学生・職員の皆様に対し、先端技術を用いた、より良いネットワーク環境の提供を目指しております。

IT サポートセンターの業務内容

- ・ GRIPS ネットワークシステム利用に関するご質問にお答えします。
- ・ GRIPS ネットワークシステムにおけるセキュリティ対策及びウイルス対策を行います。

IT サポートセンターで対応できないこと

- ・ プリンタの用紙やトナー等の補充、注文。
- ・ PC 付属品等の物品購入。
- ・ 個人 PC に対するサポート。
- ・ 自宅等への学外出張。

個人 PC の使用ルールとお願い

- ・ 持ち込まれた PC は、利用者各人の責任のもとご利用ください。
- ・ ウイルスに感染すると、本人だけではなく学内のネットワーク全てに影響が出る可能性があります。万一ウイルスに感染した場合は、すぐにネットワークを切断した後、駆除を行ってください。
- ・ 学内のネットワークを利用する場合は研究以外の目的で使わないでください。
- ・ PC をサーバーとして利用しないでください。
- ・ ライセンス規約、および著作権法に違反するソフトウェアの使用は禁止されています。
- ・ PC、情報ネットワーク利用において法に抵触する行為はしないこと。
- ・ 統計ソフトウェアについての質問は教育支援課教務担当までお願い致します。

重要なデータの管理に関して

- ・ PC が故障した場合やウイルスに感染した場合などに備えて、重要なデータについては、各自バックアップを作成し、適切な管理を行ってください。
- ・ データ等の紛失、破損などが発生しても大学側では責任を持ちません。

GRIPS ネットワークサービス

- ・ ポルノ、中傷、ウイルス、または好ましくないソフトウェアをもたらすウェブサイトにはアクセスしないでください。

無線 LAN サービス

- ・ 学内には無線 LAN アクセスポイントが設置されております。
- ・ 場所によっては接続しにくい場所があります。

G-way

- ・ 本学が提供している各種サービス（ファイルサーバ、図書館システム等）へアクセスするためのポータルサイトです。
- ・ 重要な連絡事項は G-way の[掲示板]に掲示されますので、定期的に確認をするか、掲示板の新着情報を普段使用しているメールアドレスに転送するよう、あらかじめ設定してください。

GRIPS パスワードの変更

- ・ GRIPS パスワードは各種ネットワークシステムで使用する共通のパスワードです。パスワードを変更すると全てのシステムのパスワードが変更されます。

GRIPS ウェブメール

- ・ 各自に学籍番号（小文字）@grips.ac.jp の E-mail アドレスが与えられます。
- ・ このアドレスは GRIPS 修了後も継続して利用できます。

学生用ファイルサーバ

- ・ G-way 経由でファイルサーバに保存したファイルにどこからでもアクセスできます。
- ・ 個人用のクラウドストレージとして Google Drive が利用可能です。

共用 PC

- ・ 共用 PC は講義室 A 及び図書館に設置されています。講義室 A の共用 PC には、GRIPS 所有の統計ソフトウェアがインストールされています。
- ・ PC に保存されているデータはシャットダウン、または再起動により自動的に消去されます。
- ・ 研究以外の目的で使用しないでください。

プリンタ

- ・ 4F に 1 台、5F に 3 台、6F に 2 台設置しています。
- ・ 共用 PC 経由もしくは USB メモリ経由で印刷できます。なお、USB 経由の場合には PDF 形式のファイルのみ印刷可能です。
- ・ 紙やトナー、コピーポイントに関するお問い合わせは教育支援課教務担当までお願いします。

スキャナ

- ・ Xerox プリンタ(図書館を除く)で USB メモリへの保存が出来ます。

学内 IT サポートセンター窓口連絡先

内線：6092 / 2501

外線：03-6439-6092

E-mail：support@grips.ac.jp

受付時間：月～金 9:00～18:00

ウェブサイト(学内 PC からのみ)：

<http://www10.local.grips.ac.jp/support-center/Japanese/index.html>

仮想 IT サポートセンター窓口連絡先

電話：03-4571-2088 (Microsoft Teams を使用)

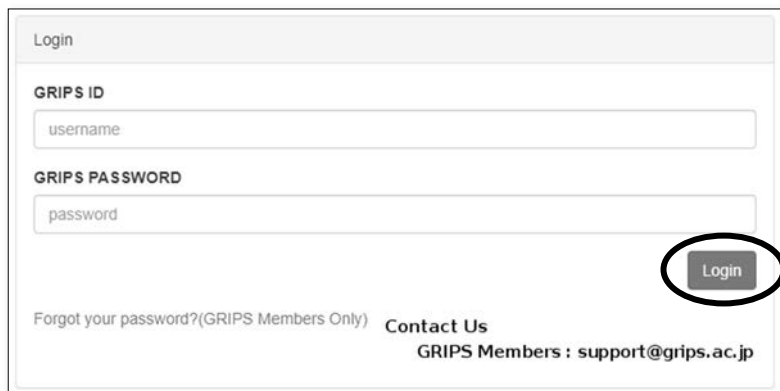
受付時間：月～金 9:00～18:00

※仮想 IT サポートセンター窓口は、学内窓口につながが取れない事情が発生した場合を想定し設けてあります。

※仮想 IT サポートセンター窓口へのアクセス方法は毎月の 1 日頃に IT サポートセンターよりメールにてお知らせしていますので、そちらをご確認ください。

GRIPS メール

GRIPS ウェブメール (<http://gwmail.grips.ac.jp>) にアクセス
GRIPS ID と GRIPS パスワードを入力 → [ログイン]をクリック



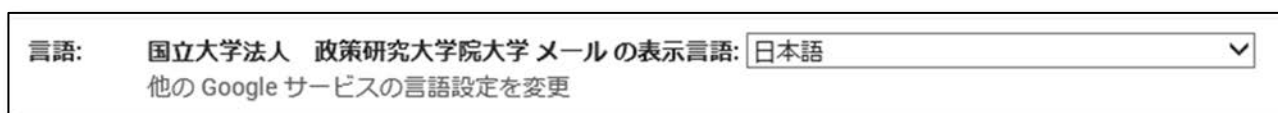
The login form has a title 'Login'. It contains two input fields: 'GRIPS ID' with a placeholder 'username' and 'GRIPS PASSWORD' with a placeholder 'password'. A 'Login' button is located at the bottom right, circled in black. Below the button, there is a link 'Forgot your password?(GRIPS Members Only)' and a 'Contact Us' section with the email 'GRIPS Members : support@grips.ac.jp'.

表示言語の設定

ホーム画面右上の  から [すべての設定を表示] をクリック



[全般]タブの[言語:]より言語を選択 → 画面下の [変更を保存] をクリック



The language selection form shows '言語:' followed by '国立大学法人 政策研究大学院大学 メール の表示言語: 日本語'. Below this is a dropdown menu with '日本語' selected. At the bottom, there is a link '他の Google サービスの言語設定を変更'.

受信しているメールの閲覧をする

[受信トレイ] をクリック ※ 20MB を超えるメールは受信できません。



メールを送信する

メニューより [作成] → [送信] ボタンをクリック

- ・ Cc/Bcc を使用する場合は、[Cc]、[Bcc] をクリック
- ・ ファイルを添付する際には、 をクリック → ファイルを選択

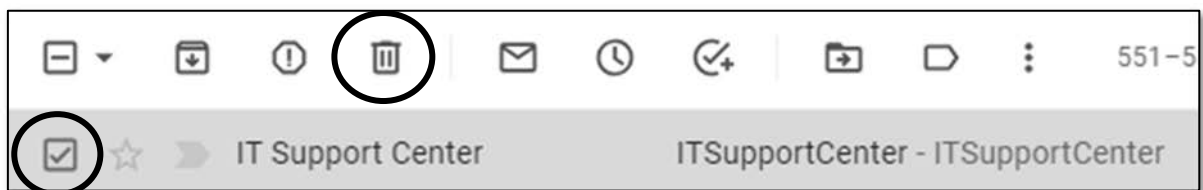
※ 20MB を超えるファイルは添付できません。



メールを削除する

削除するメールのチェックボックスにチェック →  をクリック

※ このときメールはごみ箱フォルダへ移動します。完全に削除はされていません。

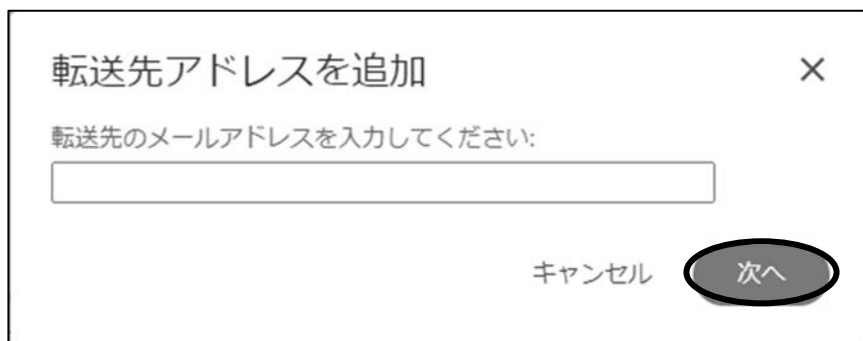


メールを転送する

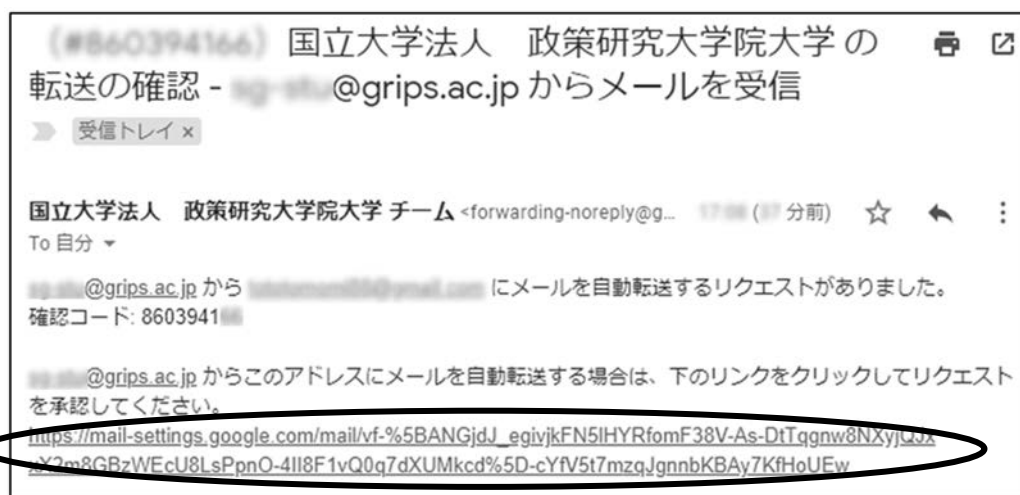
1. 画面右上  より [すべての設定を表示] → [メール転送と POP/IMAP]
→ [転送先アドレスを追加] をクリック



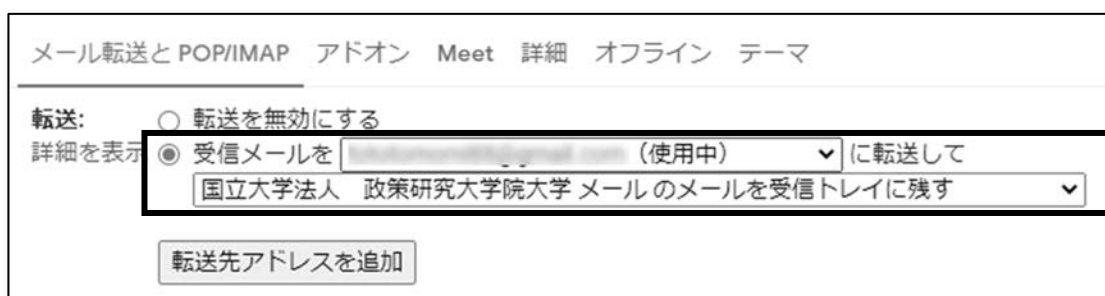
2. 転送先のメールアドレスを入力し [次へ] → [続行] → [OK]をクリック



3. 転送先に確認コードが送信されるので、
転送先のメールを確認 → 確認メール内に記載されている承認 URL をクリック



4. 転送元の設定ページに戻り、ブラウザの再読み込みを行う
[受信メールを...] を選択 → 転送先のメールアドレスを選択 → [変更を保存] をクリック
※ 設定が完了した後、次に受信するメールより転送が開始されます。



ファイルサーバ

注意事項

- ・ サーバ上でファイルおよびフォルダを消去（ゴミ箱への移動や、Delete キーを押す）した場合は、PC 内のゴミ箱には入らずに完全に削除されますのでご注意ください。
- ・ データは各自で管理し必要な場合はデータのバックアップを必ず実施してください。万一、個人データ等の紛失、破損などトラブルが発生しても大学側では責任を持ちません。
- ・ ファイルサーバ内に、[Public_Folder]があります。全学生間でファイルを共有する際にご利用ください。なお、フォルダの容量の関係で、毎月 1 日に[Public_Folder]内に保存されているすべてのファイルが削除されますのでご注意ください。
- ・ ファイルサーバ内に、各プログラム・コースの共有フォルダがあります。それぞれ同じプログラムやコースの学生間でファイルを共有する際にご利用ください。

学内の共有 PC からファイルサーバへアクセスする方法

Windows キー+R を押す → [ファイル名を指定して実行]に YYmedia-file と入力 → [OK]
→ 自身のプログラムのフォルダにアクセス

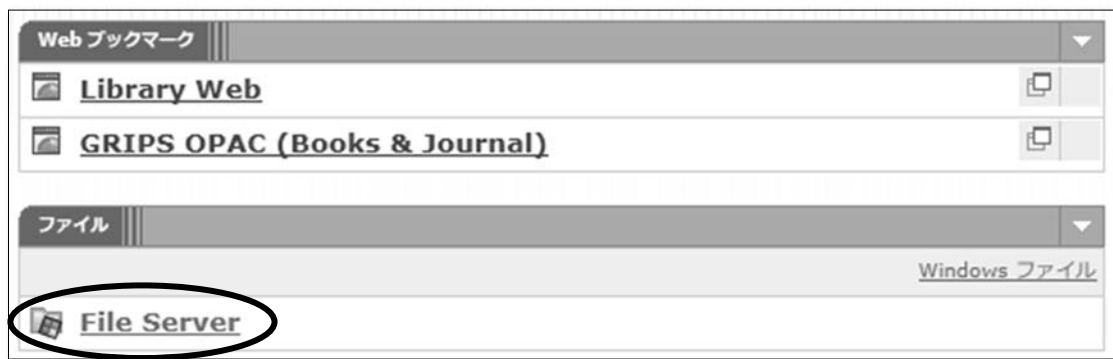


Web からファイルサーバへアクセスする方法

1. G-way にログイン後、左カラムメニューから [Link] → [File Server]をクリック
2. [Username]に GRIPS ID、[Password]に GRIPS パスワードをそれぞれ入力し、[Sign in]をクリック

5. 学生生活
ーITサービスー

3. [File Server]をクリック



4. 各自のプログラム名をクリックし、ファイルのアップロード、ダウンロードおよび削除を行うことができます。



Google Drive

Google Drive

Google Drive とは Google が提供しているクラウドストレージサービスです。アップロードしたファイルは Web ブラウザ経由でどこからでもアクセスできます。データのバックアップにご利用ください。

※ 各自でデータ管理をお願い致します。

アクセス方法

Web ブラウザ経由で使用する場合は下記 URL にアクセスしてください。

https://www.google.com/intl/ja_ALL/drive/

PC アプリ版は下記 URL より[バックアップと同期]をダウンロードしてお使いください。

https://www.google.com/intl/ja_ALL/drive/download/

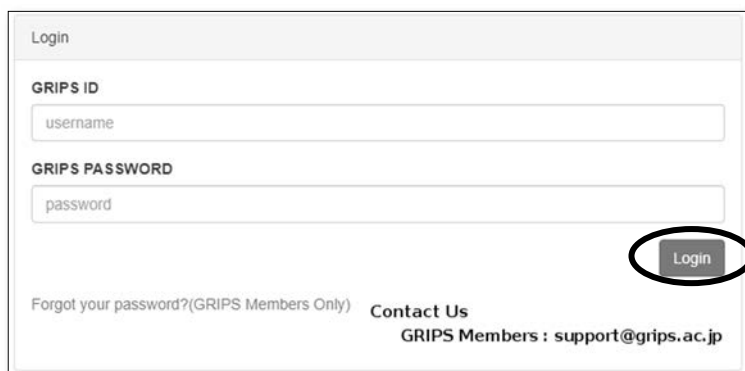
ログイン方法

1. [GRIPS メールアドレス]を入力 → [ログイン]をクリック ※@grips.ac.jp 必須



The image shows the Google login page in Japanese. At the top, it says 'Google ログイン' (Google Login) and 'お客様の Google アカウントを使用' (Use your Google account). Below this is a text input field labeled 'メールアドレスまたは電話番号' (Email address or phone number), which is highlighted with a black rectangle. Underneath the field is a link 'メールアドレスを忘れた場合' (If you forgot your email address). Further down, there is a note: 'ご自分のパソコンでない場合は、ゲストモードを使用して非公開でログインしてください。詳細' (If it's not your own PC, please log in using Guest mode to keep it private. Details). At the bottom left is a link 'アカウントを作成' (Create account), and at the bottom right is a button labeled '次へ' (Next), which is circled in black.

2. [GRIPS ID]と[GRIPS パスワード]を入力 → [ログイン]をクリック ※@grips.ac.jp 不要



The image shows the GRIPS login page. It has a title 'Login'. Below it are two input fields: 'GRIPS ID' with a placeholder 'username' and 'GRIPS PASSWORD' with a placeholder 'password'. At the bottom right is a button labeled 'Login', which is circled in black. At the bottom left, there is a link 'Forgot your password?(GRIPS Members Only)'. At the bottom right, there is a link 'Contact Us' and the text 'GRIPS Members : support@grips.ac.jp'.

使用方法

下記 URL にアクセスして Google 公式のヘルプページをご参照ください。

<https://support.google.com/drive/?hl=ja#topic=14940>

プリンタ

共有PCから印刷

1. プリンタ選択画面から、印刷を出力するプリンタを選択
[両面]、[まとめて1枚]、[カラーモード]の設定が必要な場合には印刷設定画面にて変更し[OK]をクリック



[5F-1、5F-2]



[4F-1、5F-3、6F-1、6F-2]

2. [蓄積用ユーザーID]を入力 → [OK]をクリック
※ユーザーIDは(学籍番号など)任意のもので構いません。



3. プリンタの横にあるカードリーダーに、カードを挿入 ※カード間のポイント移動はできません。



① GRIPS ID カード用

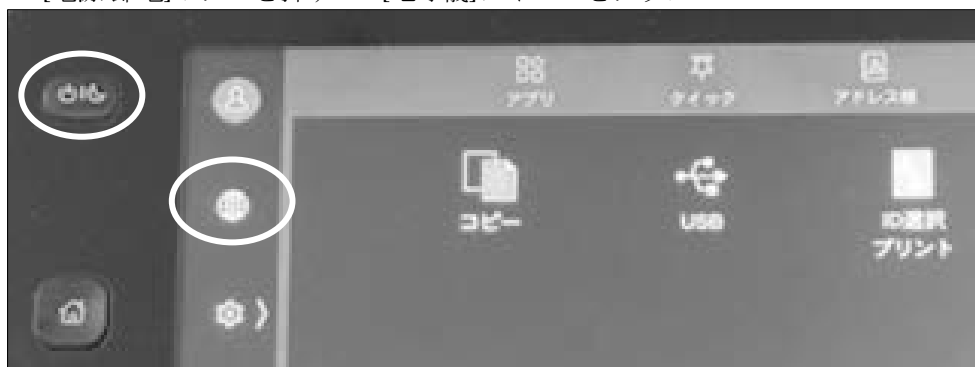


② 交通系カード用 (SUICA・PASMO)

4. 言語設定

1) 5F-1、5F-2 のプリンタの言語設定

[電源/節電]ボタンを押す → [地球儀]アイコンをタップ



言語を選択 → [OK]をタップ



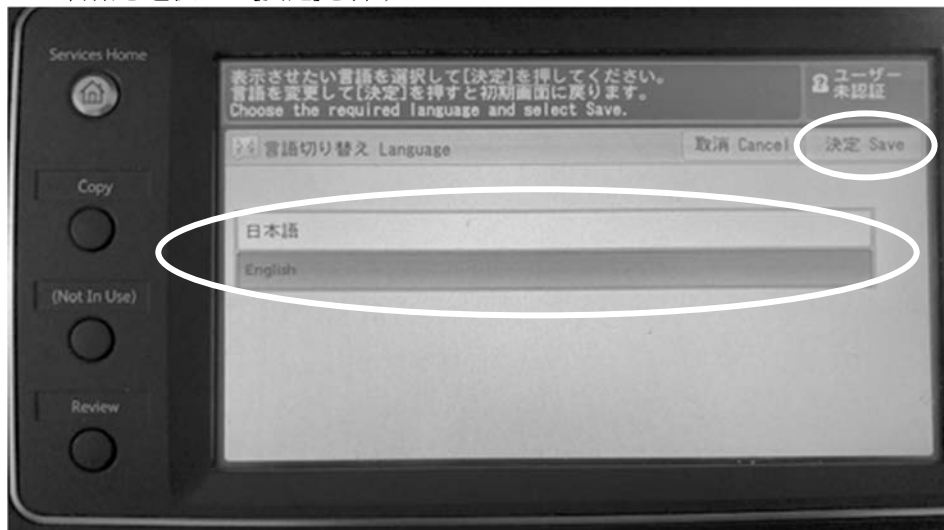
2) 4F-1、5F-3、6F-1、6F-2 のプリンタの言語設定

プリンタ左上の[Service Home]を押す → [言語切り替え/ Language]を押す

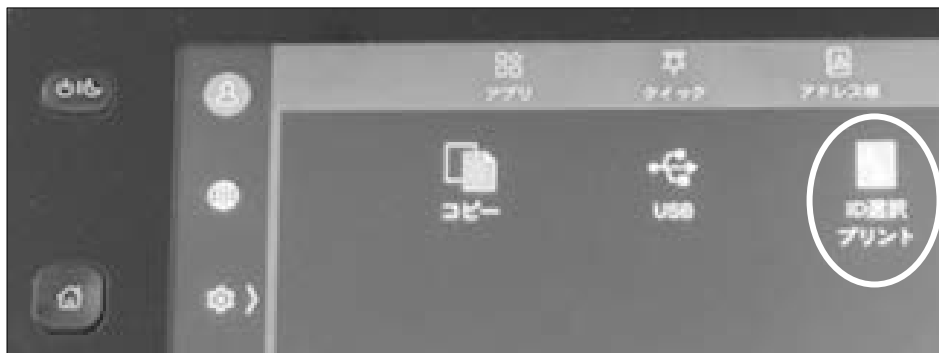


5. 学生生活
ーITサービスー

言語を選択 → [決定]を押す



5. [ID 選択プリント]を押す



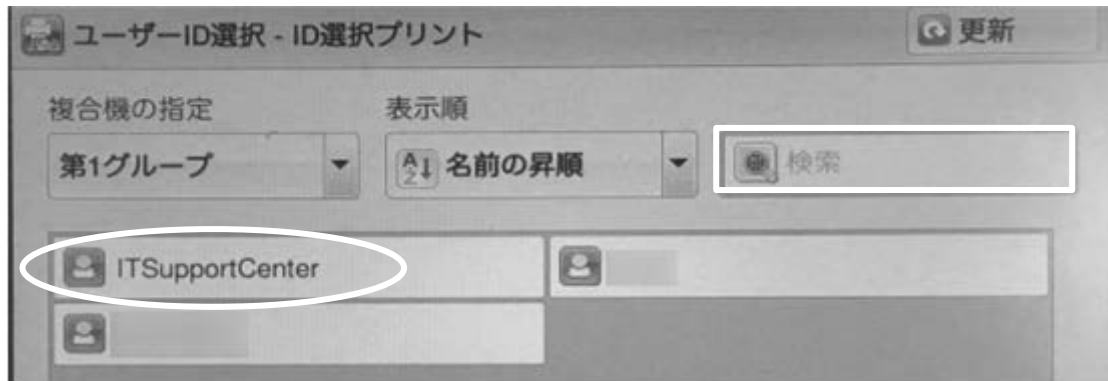
PC からプリンタを指定し印刷を行う際、対象のプリンタが使用中または、故障中の場合に、下記のプリンタ間で別のプリンタから印刷することが可能です。

- ・ 5F-1 と 5F-2 間
- ・ 6F-1 と 6F-2 間

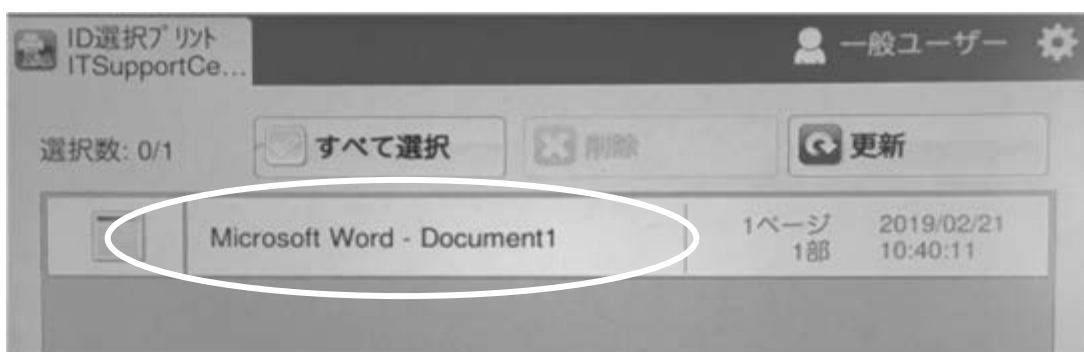
例：5F-1 を指定し印刷を行い 5F-1 のプリンタが使用中だった際、再度 PC から印刷を行うことなく 5F-2 で印刷できます。

※この場合、ジョブ連携していない 5F-4 や 6F-1 等に印刷を行いたい際は再度 PC から印刷を行う必要があります。

6. ID一覧の中から手順2で入力したユーザーIDを押す
※ID一覧に対象のIDが確認できない場合、画面右上の[検索]ボックスから検索することも可能です。



7. 印刷したいドキュメントを選択 → [スタート]を押す



5. 学生生活
ーITサービスー

USB から印刷

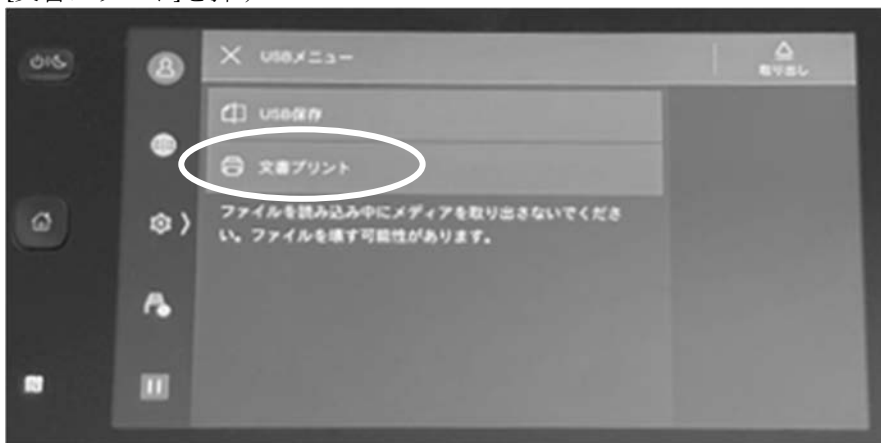
5F-1、5F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [確認]を押す

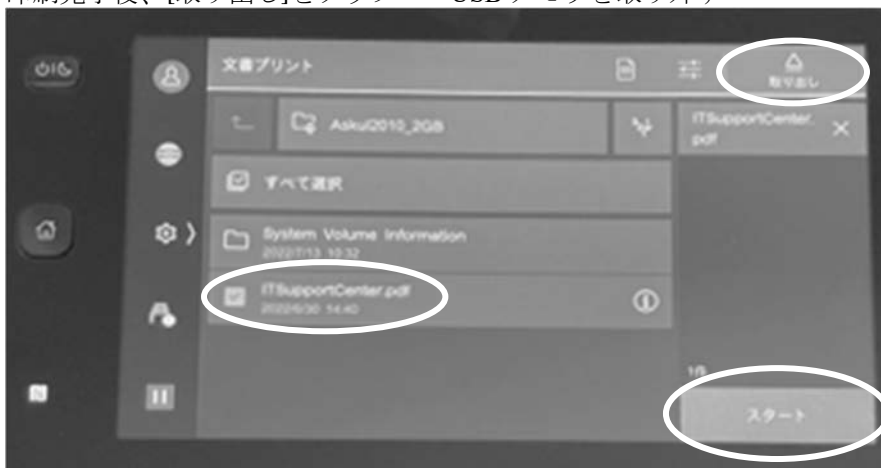
※NTFS と exFAT のフォーマットはサポートされていません。



2. [文書プリント]を押す



3. 印刷したいファイル名を選択 → [スタート]を押す
印刷完了後、[取り出し]をタップ → USB メモリを取り外す



※メニューアイコンを押す → 印刷設定の変更ができる



4F-1、5F-3、6F-1、6F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [文書プリント]を押す ※USB から印刷する場合には **PDF** ファイルのみ読み込み可能です。※NTFS と exFAT のフォーマットはサポートされていません。



2. [すべてを選択]が選択されていることを確認 → 設定(カラーモード等)変更 → 本体の[Start]を押す
※特定のファイルを印刷したい場合、[一覧から選択]を選択 → プリントしたいファイルを指定 → 本体の[Start]を押す



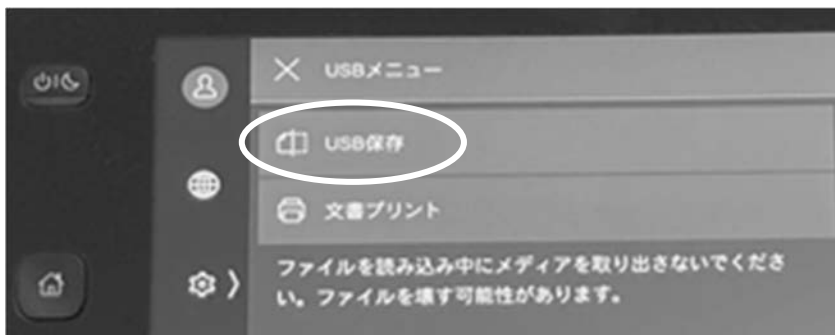
スキャナー

5F-1、5F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [確認]を押す
※NTFS と exFAT フォーマットの USB は使用できません



2. [USB 保存]を押す



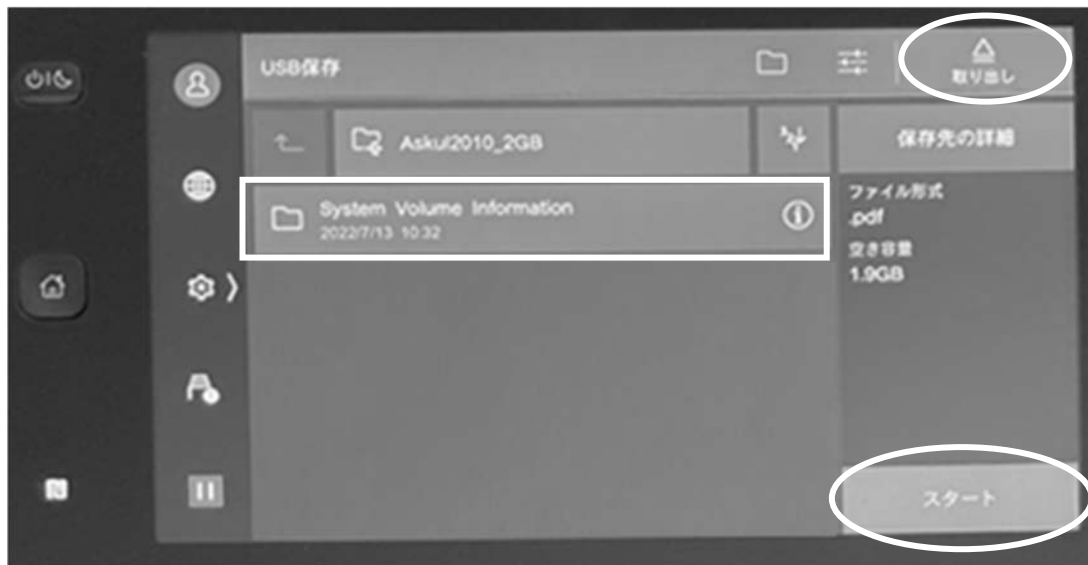
3. [メニュー]アイコンを押す → 設定を変更



4. スキャンする書類を以下のどちらかの方法でプリンタにセット
- ① スキャンする面を上にして自動トレイにセット
 - ② スキャンする面を下にして蓋を閉める



5. 保存先を選択 → [スタート]を押す
スキャン完了後、[取り出し]を押す → USB メモリを取り外す



5. 学生生活 ーITサービスー

4F-1、5F-3、6F-1、6F-2 のプリンタの場合

1. USB メモリをプリンタに接続 → [スキャナー (USB メモリ保存)]を押す
※NTFS と exFAT フォーマットの USB は使用できません



2. 画面下部の[出力するファイル形式]を指定



3. スキャンする書類を以下のどちらかの方法でプリンタにセット → 本体の[Start]を押す
 - ① スキャンする面を上にして自動トレイにセット
 - ② 読み取り面を下にして蓋を開める



4. 以下の画面が表示されたら、[閉じる]を押す → USB メモリを取り外す



共用 PC

共用 PC

講義室 A (5 階)、CPC ランゲージラボ (5 階)、図書館(2 階)に共用 PC が設置されています。

言語設定

PC 起動後に、使用する OS の言語（英語か日本語）の切り替え画面が表示されます

英語で使用する場合：Win10_L570_English_202***** を選択 → [Enter]を押下

日本語で使用する場合：Win10_L570_日本語_202***** を選択 → [Enter]を押下

※ LAN ケーブルは抜かないでください。



【注意！】

シャットダウンや再起動の際、PC 上に保存されたデータがすべて削除されます。

共有 PC で作業するときはデータをご自身の USB メモリ等に保存をしてください。

GRIPS パスワード変更

GRIPS パスワードの変更

GRIPS パスワードは各種ネットワークシステムへのログイン時に使用する共通のパスワードです。
本手順で GRIPS パスワードを変更すると、全てのシステムのパスワードが変更されます。

パスワードの変更手順 G-way (<https://gportal.grips.ac.jp/fw/dfw/GSSOF/redirect.php>) にログインし、
左カラムメニューより [Link] → [Change Password] をクリック
GRIPS ID とパスワードを入力 → [ログイン] をクリック

A screenshot of the GRIPS login page. At the top, there is a 'Login' header. Below it, there are two input fields: 'User ID' with the text 'GRIPS ID' and 'Password' with the text '現在のパスワード'. A red rectangle highlights these two fields. Below the fields is a red oval button labeled 'ログイン'.

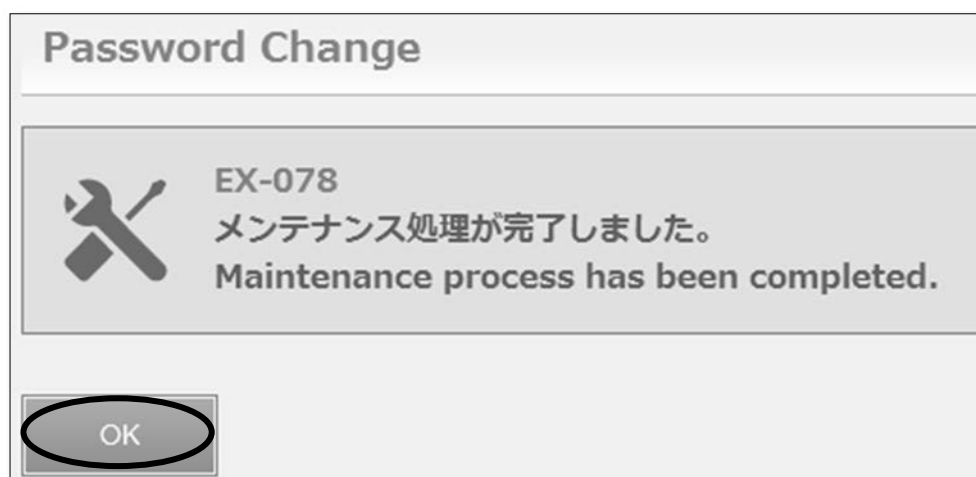
新しいパスワード(6 文字以上 16 文字以下の半角英数字)を [New Password] と [Confirm New Password]
に入力 → [保存] をクリック

A screenshot of the 'Password Change' form. It has a title 'Password Change'. Below it, there are two input fields: 'New Password' and 'Confirm New Password', both containing the text '新しいパスワード'. A red rectangle highlights these two fields. Below the fields is a red oval button labeled '保存'.

[OK] をクリックするとパスワード変更が始まります。
パスワード変更が完了するまで 1 分程度かかります。

A screenshot of a confirmation dialog box titled 'Web ページからのメッセージ'. It contains a question mark icon, the text 'EX-074 実行しますか? Do you execute?', and two buttons: 'OK' and 'キャンセル'. The 'OK' button is highlighted with a red oval.

[OK]をクリック



[Logout]をクリック



重要な確認事項

各種問い合わせ先

G-wayに関するお問い合わせ	➡	教育支援課教務担当
机上の物（机、ロッカー、電球、電源など）	➡	スチューデントオフィス
パスワードトラブル（G-way） プリンタの不具合 キャンパス内のインターネットへの接続トラブル	➡	IT サポートセンター

各種 URL

サービス名	URL	内容
G-way	https://gportal.grips.ac.jp/fw/dfw/GSSOF/redirect.php	学内ポータルサイト兼 教育支援情報サービスシステム
GRIPS Mail	http://gwmail.grips.ac.jp/	Web メールサービス
ファイルサーバ	https://gremote.grips.ac.jp	ファイルサーバ
パスワード変更	https://gpw.grips.ac.jp/webmtn/LoginServlet	パスワード統合システム
SSL-VPN システム	https://gremote.grips.ac.jp	学外から図書館システムにアクセスするためのシステム
IT サポートセンター HP	http://www10.local.grips.ac.jp/support-center/Japanese/index.html	IT サポートセンターの HP (共用 PC からのみアクセス可能)

ご不明な点がございましたら、IT サポートセンターまでご連絡ください。

内線：6092 / 2501

E-mail：support@grips.ac.jp

学内における学生の PC 使用について

GRIPS 学生の PC 使用について

GRIPS に在籍している間、学生は個人の PC 又は学内に設置されている共用 PC のいずれかを使用して、学位論文の執筆や、履修登録などの学事手続きを行います。GRIPS では、学生が個人の PC を持参することを推奨しています。

ソフトウェア

Microsoft Office、STATA、MATLAB、ArcGIS などの大学所有のソフトウェアは、所定の手続きを経て、学生個人の PC にインストールすることができます。

学生個人 PC のセキュリティ要件

個人 PC は、ウイルス対策ソフトウェアをインストールする必要があります。

GRIPS の共有 PC

約 50 台の共用 PC が、講義室 A、図書館、CPC ランゲージラボに設置されています。学生は、これらの PC を学修や、各種学事手続きのために使うことができます。ただし長時間独占的な利用はできません。

お問い合わせ

教務担当

内線:6042

メール:ast@grips.ac.jp



図書館（2 階）



講義室 A(5 階)

教育支援課

教育支援課では、様々な学生支援を行っています。(受付時間：月～金 9時～12時、13時～17時)

担当	学生支援内容	
総務担当 E-mail : kyouiku@grips.ac.jp	奨学金 博士課程授業料免除制度 ティーチング・アシスタント 博士課程学生会発表支援制度	講義室・コピー室・ 院生研究室の消耗品 ・ホワイトボードペン ・蛍光灯 ・コピー用紙 ・複合機カートリッジ
教務担当 E-mail : ast@grips.ac.jp	カリキュラム 履修登録 時間割 講義室・ゼミ室 休学・復学・退学手続 住所変更届 各種証明書発行（学割証を除く）	
プログラム運営担当 E-mail : pmt-ml@grips.ac.jp	教育プログラムに関すること	
スチューデントオフィス		
E-mail : studentoffice@grips.ac.jp	学生生活・宿舎に関する相談 文化交流イベントの紹介 学生教育研究災害傷害保険 学割証発行 屋内運動場（講習会、卓球用具貸出等） 院生研究室、院生談話室	
E-mail : alumni@grips.ac.jp	院生会のサポート 修了生データ管理	

各種証明書の発行

成績証明書・在学証明書・修了見込証明書

- ・ G-way からオンラインで申請してください。
- ・ 成績証明書は、春学期の成績発表以降に申請可能です。
- ・ 修了見込証明書は、1年制修士課程学生については春学期の成績発表以降、2年制修士課程学生については在学2年目、博士課程学生については最終論文発表会以降に申請可能です。
- ・ 証明書発行に関しての質問は、ast@grips.ac.jp までお願いします。

学割証(学校学生生徒旅客運賃割引証)

- ・ スチューデントオフィスにて申請してください。
※ 定期券購入には必要ありません。

発行までの日数及び受領方法

- ・ 成績証明書・在学証明書・修了見込証明書は申請日翌日から3業務日以内、学割証は5業務日以内に受け取ることができます。
- ・ 発行した証明書は、学生のメールボックスに投函します。

各種届

- ・ 以下の場合、速やかに教務担当に届け出てください。

(1) 学生証を紛失または破損した場合

- ※ 再発行のための実費 2,000 円を徴収します。
- ※ 学生証には IC チップが内蔵されており、夜間や週末に大学へ入構する際及び図書館へ入館する際に必要となりますので、取扱いに注意してく

ださい。

- (2) 通学定期乗車券発行控を紛失した場合
- (3) 住所が変更となった場合
- (4) 休学、退学、復学又は休学期間の延長を希望する場合（G-way からオンラインで申請）

※ 特別の事由のある場合を除き、学籍異動希望日の3週間前までに申請してください。

教材等のコピー・印刷

授業関係の配付物

- ・ 授業関係の配付物は、授業の際に直接配付される他、G-way の掲示板上に配信されます。

コピーポイント

- ・ 学生証には、学内専用のコピー用ポイントが年間 10,000 ポイント付与されています。使用開始前に必ず、ポイントが付与されているか確認してください。
- ・ 学生証のカード初期不良時以外、紛失等の際のコピーポイント再付与は一切いたしませんのでご注意ください。

ICカード（Suica、PASMO等）の利用

- ・ 学内のコピー機では、お手持ちの IC カードにチャージされた電子マネーを利用することも可能です。学生証に付与されたコピーポイントを使い終わった後は、IC カードをご利用ください。

白黒印刷・コピー：5 ポイント（5 円）/ページ
カラー印刷・コピー：25 ポイント（25 円）/ページ

教材用コピーカード

- ・ 授業用教材について、教員が「教材コピー指示書」を添えて、履修者の代表にコピーを指示することがあります。その場合は、教材と指示書を教務担当まで持参してください。学生証と交換で教材用コピーカードを貸し出します。

大学からの連絡

- ・ 休講、補講、講義室変更、その他大学からの連絡事項は、G-way の掲示板上に掲載されます。頻繁に確認をするか、掲示板的な新着情報を普段使用しているメールアドレスに転送するよう、あらかじめ設定してください。

学外からの連絡

郵便物

- ・ 学生宛ての郵便物は受取できません。自宅等の住所を郵便物の送付先として指定してください。

派遣元等からの電話連絡

- ・ 緊急時を除いて取り次ぎはできかねます。連絡にはメールをご使用ください。調査等を実施する際も、各自の電話連絡先は、本学ではなく、個人の携帯番号等としてください。

学生用保険

- ・ 「学生教育研究災害傷害保険（略称『学研災』）（通学中等傷害危険担保特約付帯）」は学生対象の傷害保険で、加入者本人が被った不慮の事故による傷害に対し保険金等が支払われるものです。本学の学生は全員加入することになっています。
- ・ 保険の詳細については、加入手続きの際に配布される「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」を参照してください。
- ・ 万が一、補償対象となる事故等に遭った場合は各自で引受会社である東京海上日動へ保険金請求を行ってください。

<http://www.jees.or.jp/gakkensai/inform.htm>

保険会社へ事故通知を送付後、スチューデントオフィスにお知らせください。

ハラスメント

ハラスメントの定義

ハラスメントとは、人種、国籍、性別、出身地、宗教、政治的信条、年齢、職業、身体的特徴等、広く人格に関わる事項において、当事者の尊厳を損ない不快にさせる言動をいいます。

ハラスメントには、さまざまな態様がありますが、大学という場で問題となる典型的な例としては、セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメントとパワー・ハラスメントがあります。また、これらの態様は独立しているものではなく、さまざまなハラスメントと重複する場合があります。

大学の責務

学長は、ハラスメントの防止及び対策に関する施策等全般について責任を負います。また、構成員を監督する立場にある者は、ハラスメントのない良好な環境を確保するために、日常的な活動の中で指導等を行い、ハラスメントに関する認識を深めさせるとともに、ハラスメントに起因する問題が生じた場合には、適切に処理する責任を負います。

構成員の責務

本学のすべての構成員は、個人としての人格を尊重するとともに、人としての尊厳を傷つけることになるハラスメントを起こさないこと、また、その防止に努める義務を負い、ハラスメントにより修学上又は就労上の環境が害されることを防ぐため、次の事項について留意しなければなりません。

- ①ハラスメントについて問題提起をする学生、職員及び関係者をいわゆるトラブルメーカーと見たり、ハラスメントに関する問題を当事者間の個人的な問題として片づけないこと。
- ②ハラスメントに関する問題の加害者や被害者を出

さないようにするために、周囲に対する気配りをし、必要な行動をとること。

具体的には、次の事項について十分留意して必要な行動をとる必要があります。

- ・ハラスメントが見受けられる場合には、修学上又は就労上の環境に重大な悪影響が生じないうちに、機会をとらえて注意を促すなどの対応をとることが必要です。
- ・被害者は「恥ずかしい」、「トラブルメーカーとのレッテルを貼られたくない」、「仕返し怖い」などの考えから、他の人に対する相談をためらうことがあります。被害を深刻にしないように、気が付いたことがあれば相談に乗ることが大切です。

ハラスメントを受けた場合の対応

ハラスメントに対しては、毅然とした態度をもって、相手に意思表示をすることが求められます。しかし、相手に伝えることが難しい場合は、一人で我慢したり悩んだりせず、信頼できる人に相談することが必要です。また、発生した日時・内容等について記録したり、第三者の証言を得たりしておくことが望ましいです。

苦情の相談

本学はハラスメントに対して、相談窓口を設けております。ハラスメント相談窓口は、G-way リンク集に掲載されていますので、ご確認ください。

相談者に対する守秘義務を遵守し、相談したことによりさらなる被害に遭うことのないよう、適切に対応いたします。

ハラスメント相談員ホットライン
sodan-cukeii@grips.ac.jp

休学・復学・退学等に関する案内

休学

休学の条件

病気その他やむを得ない事由により、引き続き 3 ヶ月以上就学することができない場合は、所定の申請手続きに基づき、学長の許可を得て休学することができます。

休学期間

休学期間は、原則として月ごと（初日から末日）に取得でき、修士課程では通算 2 年、博士課程では通算 3 年を超えることはできません。（休学期間は、修業年限及び在学期間に算入されません。）

休学の手続き

- (1) 休学を希望する者は、指導教員及びプログラムディレクターと面談し、復学後の履修・研究計画について、十分に相談してください。
- (2) 休学申請前に以下の事項を完了してください（休学申請時に「休学手続確認票」を提出）。
 - ・ 図書返却
 - ・ 院生研究室座席まわりの私物の撤去
 - ・ 奨学金関係の手続き（該当者のみ）
 - ・ 休学前までの授業料納付（未納者のみ）
- (3) 休学開始希望日の原則として 3 週間前までに、G-way からオンラインで「休学」を申請してください。なお、病気による休学の場合は、医師の診断書を教務担当に提出してください。
- (4) 休学の許可が下りた後、教務担当にて「休学許可書」を直接もしくは郵送にて交付します。

授業料の取扱い

休学中の授業料は免除されます。ただし、期の途中から休学をする場合、一旦納付した授業料は返還されませんので、注意してください。期の途中から休学することがあらかじめわかっている場合は、前期（4～9 月）の場合は 2 月末日までに、後期（10～3 月）の場合は 8 月末日までに教務担当までメールにて連絡してください。連絡がない場合は 6 ヶ月分の授業料を納付していただきます。

休学期間中のサービス

休学期間中も引き続き、以下のサービスを受けることができます。

- ・ 各種証明書の発行
- ・ GRIPS メールアドレスの利用
- ・ 図書館の利用（休学前に借りていた図書の返却及び休学期間中の利用登録が必要）

休学延長の手続き

病気その他やむを得ない事由により、休学の延長をする場合は、指導教員及びプログラムディレクターに相談の上、休学期間満了日の 3 週間前までに、G-way からオンラインで「休学継続」を申請してください（「休学手続確認票」の提出は不要です）。

休学延長の手続きをせずに休学期間満了日を迎えた場合は、授業料債権が発生し、納付が必要となるので注意してください。

住所変更

休学中に連絡先に変更が生じた場合は、速やかに教務担当まで「住所変更届」を提出してください。

復学

期間満了による復学手続

休学期間満了による復学の場合は、指導教員及びプログラムディレクターに相談の上、休学期間満了日の原則として 3 週間前までに、G-way からオンラインで「休学期間満了」を申請してください。

休学期間満了前の休学解除手続

休学の事由が消滅したときは、休学期間途中であっても、学長の許可を得て復学することができます。その場合は、指導教員及びプログラムディレクターに相談の上、復学希望日の原則として 3 週間前までに、G-way からオンラインで「休学解除」を申請してください。

その他

復学に際して、カリキュラム等に不明な点がある場合は、教務担当まで問い合わせてください。

退学

(1) 退学を希望する者は、指導教員及びプログラムディレクターの承認後、退学希望日の原則として 3 週間前までに、G-way からオンラインで「退学」を申請してください。なお、病気による退学の場合は、医師の診断書を教務担当に提出してください。

(2) 退学申請前に以下の事項を完了してください。

- ・ 図書返却
- ・ 院生研究室座席まわりの私物の撤去
- ・ 奨学金関係の手続き（該当者のみ）
- ・ 退学前までの授業料納付（未納者のみ）

(3) 退学に際しては、学生証を返却してください。

連絡先

政策研究大学院大学

教育支援課教務担当

〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1

Tel : 03-6439-6042 Fax : 03-6439-6040

E-mail : ast@grips.ac.jp

授業料及び奨学金

授業料

授業料は、前期（4月～9月）及び後期（10月～翌年3月）、それぞれ321,480円です。前期は4月末日、後期は10月末日までに納付してください。納付額、期限及び振込先口座は、各期の初めに発行する請求書に記載されています。

なお、納付した授業料は還付されません。振込手数料は各自負担してください。また、在学中に授業料の改定があった場合は、改定後の授業料額が適用されます。

奨学金

日本学生支援機構(JASSO)奨学金

意欲と能力のある学生に「教育を受ける機会」を保障し、自立した学生生活を送れるよう支援するもので、第一種奨学金（無利息）、第二種奨学金（利息付）の2種類があり、どちらの奨学金も貸与終了後、返還の義務が生じます。申込みは大学を通じて行うことになっておりますので、希望される方は、教育支援課総務担当までご相談ください。

詳細は、JASSO ホームページでご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

その他の奨学金

その他の財団法人等から奨学金の募集があった場合は掲示しますので、ご確認ください。

インターンシップ

日本国内または国外で実施されるインターンシップ（本学の正規の授業として位置づけられているものを除く）に参加する場合は、下記学内手続きを行ってください。

1. インターンシップ参加届の提出

インターンシップ参加届に必要事項をご記入の上、プログラムディレクター（*博士課程学生は指導教員及びプログラムディレクター）の承諾を得たうえで（プログラムディレクターのサインが必要です）、教育支援課プログラム運営担当（PMT）に、少なくともインターンシップ開始日の2週間前までに提出してください。

（参加届様式は PMT に取りに来るか、または G-way からダウンロードしてください。）

2. 保険への加入

スチューデントオフィスにて、次の付帯保険に追加加入してください。

・インターンシップ等賠償責任保険（学研災付帯賠償責任保険）（インターン賠）

3. インターンシップ終了報告

インターンシップ終了後、教育支援課プログラム運営担当（PMT）にて、インターンシップ参加申請書の終了報告欄にサインをしてください。

施設

本学施設の開館時間はコロナの影響で変更している場合があります。本学からの通知をご覧ください。ご不明な場合は各担当にお問い合わせください。

入構

- ・ 構内には、24 時間入構することができます。
- ・ 平日は 20:30 から翌朝 8:00 まで、土曜日は 18:00 から月曜日の朝 8:00 まで、日曜日及び祝日は終日、入口が施錠されますが、学生証を建物入口のカードリーダーにかざすことにより、入構することができます。

院生研究室(4 階・5 階・6 階)

講義室(5 階)・ゼミ室(6 階)

- ・ 院生研究室は施錠しませんので、私物は個人の責任において管理してください。特に貴重品の管理には注意してください。
- ・ 院生研究室・院生談話室の清掃は、各自で行ってください。5 階及び 6 階の院生研究室に掃除用具が常備されています。
- ・ 院生研究室の壁面への張り紙は禁止します（パーティションへの張り紙は可）。
- ・ 院生研究室内での私語や携帯電話の利用は控えてください。
- ・ 院生研究室、講義室及びゼミ室の蛍光灯やホワイトボード用の水性ペンが切れた場合は、教育支援課までお知らせください。
- ・ 院生研究室、講義室及びゼミ室での飲食は厳禁です（ペットボトル又はふた付きのボトルに入った飲み物であれば持ち込み可）。飲食は、院生談話室、コモンスペース及び食堂にて行うようにしてください。
- ・ 講義終了後や、院生研究室、講義室及びゼミ室使用後は、最後に部屋を出る方が照明や冷暖房のスイッチを切り、節電にご協力下さい。また、ホワイトボードは次に使用する人のために消してください。
- ・ 自主ゼミ等のために講義室やゼミ室を使用したい方は、必ず事前に教務担当にて予約してください。予約は 2 日分までのみ受け付けます。
- ・ 講義室には、教卓用ノート PC、プロジェクタ、DVD プレーヤーが設置されています。
- ・ ゼミ室には、プロジェクタが設置されています。
- ・ ポータブルマイクを教務担当にて貸し出しています。使用したい場合は、事前に教務担当まで申し出てください（原則、当日 17:00 までの貸し出しとなります）。

コピー・プリンタ複合機(2 階・4 階・5 階・6 階)

- ・ 4 階院生研究室 1 台、5 階コピー室 2 か所に夫々 2 台と 1 台、6 階コピー室に 2 台、図書館に 2 台（うち 1 台は事務室内、コピー機能のみ）、設置されています。
- ・ 4 階、5 階、6 階の複合機は、講義室 A（PC 教室）とネットワークで接続されており、プリンタとして使用できます。
- ・ 複合機使用にあたっては、学生証に付与されているコピーポイント又は教材用コピーカードが必要です。使用点数は、モノクロが 5 ポイント、カラーが 25 ポイントです。IC カード（Suica、PASMO 等）にチャージされた電子マネーも利用が可能です。金額は、モノクロが 5 円、カラーが 25 円です。
- ・ プリンタ、コピーとも両面印刷利用にご協力ください。
- ・ コピー用紙はコピー機の横にあります。在庫が少なくなった場合は教育支援課まで取りに来てください。

メールボックス(3 階教育支援課内、6 階院生研究室内)

- ・ 各学生にメールボックスが用意されています。配布物などはこのメールボックスに投函しますので、来学の際は必ず確認してください。

掲示板(4 階・5 階・6 階)

- ・ 大学からの通知や案内が掲示されますので、注意してください。
- ・ 学生間の情報交換には、5 階学生用掲示板を利用してください。

5. 学生生活

コモンルーム(3 階)

- ・ 開室時間：平日 9 時～18 時
- ・ 教員用メールボックスが設置されています。教員との連絡に利用してください。
- ・ スタッフが常駐し、教員のスケジュール管理をしていますので、必要に応じてお尋ねください。

院生談話室(5 階・6 階)

- ・ 学生同士がコミュニケーションを図り、休憩スペースとして使用できる場所です。
- ・ ロッカーが配置されております。使用を希望する場合は、スチューデントオフィスにて申し込んでください(保証金：4,000 円、修了時返金)。
- ・ 5 階の院生談話室内には院生会室があり、院生会の活動に利用できます。
- ・ 清掃や管理は、院生会を中心として、学生で行ってください。

給湯室(4 階・5 階・6 階)

- ・ 4 階、5 階及び 6 階高層棟側に給湯室があり、電子レンジ及び熱湯の出る蛇口が設置されています。
- ・ 冷蔵庫(5 階と 6 階)の中身の管理、清掃及び電子レンジの清掃は学生が行ってください。

コモンスペース(4 階・5 階)

- ・ テーブルと椅子があり、飲食ができます。なお、4 階テラスは屋外です。

ラウンジ(1 階)

- ・ 開室時間：9 時～23 時
- ・ 自動販売機、ウォーターサーバー及び電子レンジがあります。
- ・ 院生会主催で交流会等を行う際は、基本的に食堂を使用してください。利用の際は許可が必要です。事前にスチューデントオフィスにて手続きを行ってください。

全面禁煙

- ・ 敷地内は全面禁煙です。

自転車・バイク置き場

- ・ 正面玄関右手奥、及び南門右手に自転車・バイク置き場があります。自転車・バイクで来学の場合はこの場所に駐輪してください。

- ・ 自動車での通学は禁止です。

屋内運動場(1 階)

- ・ 平日：9 時～21 時、土曜日：9 時～17 時
- ・ 日曜、祝日及び年末年始休暇中は利用できません。
- ・ 利用に際しては、トレーナーによる講習の受講が必須となります。講習会の日程はスチューデントオフィスから連絡します。
- ・ 更衣室、靴箱等には私物を放置せず、必ず持ち帰るようにしてください。

防災管理センター(1 階)

- ・ 拾得物は防災管理センターまで届けてください。

データサイエンスセンター(5 階)

- ・ データサイエンスセンターでは、実証分析を行う学生がデータクリーニングやプログラムの使い方等について相談して指導を受けたり、数理統計学やデータサイエンスについての基礎的知識が十分ではない学生が理解度を深めたりすることができるよう、学生向けコンサルテーションを提供しています。また、外部データベースが利用できる環境も整備しています。

プロフェッショナル・コミュニケーションセンター(5 階)

- ・ プロフェッショナル・コミュニケーションセンター(CPC)では、政策プロフェッショナルに求められる言語運用能力およびコミュニケーション能力の育成のために、さまざまな学習支援、教育手法の開発及び学習機会の提供を行っています。CPCには、英語部門と日本語部門があり、その内容として、英語および日本語のアカデミックライティング(論文作成)やプレゼンテーションスキルに関する講義、セミナーやカウンセリング、留学生のための日本語の講義を実施しています。また、異文化コミュニケーション関連のワークショップ、日本文化体験イベントなどを通して、留学生と日本人学生の皆さんの交流・学習の場を提供しています。詳細については、ウェブサイトをご覧ください。

セコム安否確認システムの登録について

本学では、大規模災害発生時における安否確認等の緊急連絡の手段として、「セコム安否確認システム」を導入しております。

セコム安否確認システムは、大規模災害発生時やネットワーク障害等の緊急事態に、予めご自身でご登録いただいた個人メールアドレス(Web, 携帯等)に対して、自動的にメール等を発信します。

安否確認システムから発信を行うメールアドレスの一つには、大学が発行しているアドレス(grips.ac.jpドメインのもの)を予め登録しておりますが、システム障害等で本学のメールアドレスにアクセスできない場合に備えて、必ず大学が発行しているアドレス以外の個人メールアドレスのご登録をお願いいたします。

メールアドレス等の連絡先情報は、登録した本人のみ確認・修正することが可能です。
セコム安否確認サービスにログインするために必要な情報は、下記のとおりです。

○登録URL : <https://www.e-kakushin.com/login/>

○企業コード:0364396000(大学の代表番号と同様です。)

○ユーザID:学籍番号(アルファベットは大文字)

○初期パスワード:企業コードと同様です。

○注意事項:ログイン後の具体的な登録方法については、登録マニュアルをご確認ください。また、ログイン後、初めてメールアドレス等の情報を保存する際には、初期パスワードを任意のものに変更する必要がありますのでご注意ください。

なお、避難訓練の際、学生の皆さまには当システムを通じたテストメールが発信される予定ですので、それまでに個人メールアドレスのご登録をお願いいたします。

【本件担当】

教育支援課 教務担当

Email : ast@grips.ac.jp

利用者初期登録マニュアル【自主報告機能あり】

—ver.2.1.0—

ここで登録したメールアドレスは災害発生時に管理者からの安否を確認するメールを受信します。
※ご登録いただいたメールアドレス/電話番号等の情報は、管理者であっても閲覧できません。（※安否確認サービスSCMをご契約の場合のみ、設定による例外がございます。）

パソコンで初期登録

1. インターネットを利用して <https://www.e-kakushin.com/login/> に接続し「ログインページ」ボタンを押します。
企業コード・ユーザーID・初期パスワードを入力し、「ログインする」ボタンを押します。

2. 「アカウント管理」から「パスワード変更」を選択します。初期パスワード（現在のパスワード）から任意のパスワードへ変更します。

※設定の状態やご契約のサービスによって「本人情報詳細」「家族情報」は表示されません。

3. パスワード変更後、[本人情報]画面が表示されます。
「本人情報を変更する」ボタンを押すと[本人情報変更]画面が表示されるので、各項目を入力後「本人情報を変更する」ボタンを押します。

- ①パスワード忘れの質問と回答を入力します。（例:出身校は？/〇〇小学校）
②サービスで利用する言語（日本語/英語）を選択します。
※初期値は日本語で設定してあります。
③『居住地（都道府県）』、『勤務地（都道府県）』で都道府県を選択します。
④連絡先（メールアドレス/電話番号）を入力します。

4. 「メールアドレスが更新されました。アドレス確認メールを送信しますか？」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。
登録したアドレスへアドレス確認メールが送信されます。
「メールを送信しました。」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。登録したメールアドレスに確認メールが届くことを必ず確認してください。

5. 続いて、自主報告専用の URL を通知します。

自主報告専用 URL 取得 QR コードを携帯電話のカメラ機能で読み取ります。もしくは、「URL 通知メールを送信する」ボタンを押します

6. QRコードを読み取った場合、表示されたURLをそのまま「お気に入り」へ登録します。「URL 通知メールを送信する」ボタンを押した場合は、登録したメールアドレス宛に自主報告専用のURLが送信されますので、受信したメールに記載されたURLをそのまま「お気に入り」へ登録します。

※お気に入りには「安否報告画面」など分かりやすい名前をつけていただくことをお勧め致します。

※URL接続後に別画面に進まれた場合は、そのURLはお気に入り登録しないでください。

▼自主報告専用 URL のお知らせ

絆 四郎 様

安否確認メールは、通信の輻輳（ふくそう）や障害等が発生した場合、携帯端末等へのメール着信が遅れる場合があります。
下記の自主報告専用URLにつきましては、携帯電話またはパソコンのインターネット接続用として「お気に入り」にご登録してください。

■自主報告専用のURL

http://www.e-kakushin.com/eanpi/*****

※メールが着信しない場合には、予めお気に入り登録しておいた自主報告専用のURLを利用してセコム安否確認サービスにアクセスいただき、報告すべき災害を選択して安否報告を行ってください。

セコムXXXXサービス

このURLを「お気に入り」へ登録してください。

操作中のパソコンのアドレスを登録する

1. 「アカウント管理」から、「本人情報」を選択します。

2. [本人情報]画面が表示されるので、「空メールでアドレスを更新する」を選択します。自動的にメール送信機能が立ち上がりますので、件名を変更せずそのまま空メールを送信します。しばらくすると『連絡先登録結果』メールが届きます。

▼連絡先登録結果メール

メールアドレスが登録されました。
The E-mail address has been registered successfully.

セコムe-革新サービス
SECOM e-Innovation service

<https://www.e-kakushin.com/login>

※メール着信が遅い場合は、「アカウント管理」から「本人情報」を選択してメールアドレスが登録されたかを確認してください。

3. 『連絡先登録結果』メールが届いたら、「アカウント管理」から「本人情報」を選択します。

登録されたメールアドレスが表示されていれば、パソコンのメールアドレスの登録が完了です。

※登録エラーメールを受信した場合は再度操作をやり直すか、「パソコンで初期登録」をご参照のうえ、画面上に直接メールアドレスを入力する方法で登録を実施してください。

ヒント

連絡先登録結果メールや、確認メールが届かない場合、下記の点を確認し、再度メール送信の操作を実施してください。

- 登録されたアドレスに間違いはありませんか？ 大文字・小文字、「.」「,」「」にご注意ください。

フリーメール(hotmail/msnメール/AOL等)を含む一般プロバイダメールの場合、メールの処理手続きで「迷惑メール」として処理される可能性があります。

これは不特定多数のサイトからのメールを「迷惑メール」として排除し、快適にメールを使用するために各社独自に判断しています。
よってアドレスの登録は可能ですが、確実に配信されるか不明のためお勧めはできません。

スマートフォンで初期登録

1. インターネットを利用して <https://www.e-kakushin.com/login/> に接続し、企業コード・ユーザーID・初期パスワードを入力して、「ログインする」ボタンを押します。

2. 「メニュー」を押し、「アカウント管理」から「パスワード変更」を選択します。初期パスワード(現在のパスワード)から任意のパスワードへ変更します。

※設定の状態やご契約のサービスによって「本人情報詳細」「家族情報」は表示されません。

3. パスワード変更後、[本人情報]画面が表示されます。本人情報を変更するボタンを押すと[本人情報変更]画面が表示されるので、各項目を入力後「本人情報を変更する」ボタンを押します。

- ①パスワード忘れの質問と回答を入力します。(例:出身校は?/〇〇小学校)
- ②サービスで利用する言語(日本語/英語)を選択します。
※初期値は日本語で設定してあります。
- ③『居住地(都道府県)』、『勤務地(都道府県)』で都道府県を選択します。
- ④連絡先(メールアドレス/電話番号)を入力します。

4. 「メールアドレスが更新されました。アドレス確認メールを送信しますか?」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。登録したアドレスへアドレス確認メールが送信されます。「メールを送信しました。」のメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。登録したメールアドレスに確認メールが届くことを必ず確認してください。

5. 続いて、自主報告専用の URL を通知します。「URL 通知メールを送信する」ボタンを押します。

6. 登録したメールアドレス宛に自主報告専用のURLを通知致します。
メール内のURLをそのまま「お気に入り」へ登録してください。
※お気に入りには「安否報告画面」など分かりやすい名前をつけていただくことをお勧め致します。
※URL接続後に別画面に進まれた場合は、そのURLはお気に入り登録しないでください。

▼自主報告専用 URL のお知らせ

注意事項

◇自宅パソコン(家族共有端末など)のメールアドレスを登録された場合は、ご家族の方へ弊社サービスからのメールが届く場合があることを事前にご案内いただくようお願いいたします。「知らないメールが届く」と、ご家族の方から問合せが多くなっております。

◇パスワードを間違えて連続入力すると、パスワードが無効になりログインができなくなります。ログインページの「パスワードを忘れた方はこちら」よりパスワードの再設定をお願いいたします。
※手順の詳細は「利用者用操作マニュアル」の『パスワードを再設定する(パスワードを忘れた場合、ログインできない場合)』をご確認ください。
ご登録いただいているメールアドレスが利用出来ない場合等は、貴社の管理担当部署に(SCMをご利用の場合は取引先の管理担当部署に)パスワード初期化の依頼をしてください。パスワードが初期パスワードにリセットされ、ログインできる状態になります。

操作中のスマートフォンのアドレスを登録する

1. 「メニュー」押し、「アカウント管理」から「本人情報」画面を表示します。

2. 「空メールでアドレスを更新する」を選択すると、自動的にメール送信機能が立ち上がりますので、件名を変えずそのまま空メールを送信します。しばらくすると『連絡先登録結果』メールが届きます。

※メール着信が遅い場合は、画面右上にある「メニュー」押し、「アカウント管理」から「本人情報」を選択してメールアドレスが登録されたかを確認してください。

3. 『連絡先登録結果』メールが届いたら、「メニュー」押し「アカウント管理」から「本人情報」を選択します。登録されたメールアドレスが表示されていれば、携帯電話のメールアドレスの登録が完了です。

※ご利用の機種によっては『連絡先登録結果』メールを受信ボックスで確認してしまうと、操作中の画面に戻れない場合があります。その際はメールに添付されているURLより再度ログインしてください。

※登録エラーメールを受信した場合は再度操作をやり直すか、「スマートフォンで初期登録」をご参照のうえ、画面上に直接メールアドレスを入力する方法で登録を実施してください。

ヒント

連絡先登録結果メールや、確認メールが届かない場合、下記の点を確認し、再度メール送信の操作を実施してください。

- ・登録されたアドレスに間違いはありませんか？大文字・小文字、「.」「,」「」にご注意ください。

フリーメール(hotmail/msnメール/AOL等)を含む一般プロバイダメールの場合、メールの処理手続きで「迷惑メール」として処理をされる可能性があります。

これは不特定多数のサイトからのメールを「迷惑メール」として排除し、快適にメールを使用するために各社独自に判断しています。

よってアドレスの登録は可能ですが、確実に配信されるか不明のためお勧めはできません。

安否報告アプリで初期登録

安否報告アプリをダウンロードする

※スマートフォン機種、設定により画面イメージや設定方法が異なります。

※安否報告アプリで「あんびくん」(オプション)機能はございません。ご家族にプッシュ通知が送信されることはございません。
※安否報告と同様、連絡報告(管理者様の設定によっては報告する必要がございません)、連絡一覧の確認も可能です。

1. ストア内で「セコム安否確認サービス」または「セコム安否確認サービス 安否報告アプリ」と検索します。
もしくは下記 QR コードを読み取ります。



【Android・・・GooglePlay
よりダウンロード】



【iPhone・・・AppStore
よりダウンロード】



2. ソフトウェア使用許諾契約書に同意の上、インストールします。
下記セコム安否報告アプリのアイコンであることをご確認の上、ダウンロードください。



3. 安否報告アプリを開きます。



ヒント

プッシュ通知とは・・・

アプリケーションからのお知らせを、スマートフォン端末の待ち受け画面やバナーに表示する仕組みです。

※安否報告アプリのプッシュ通知をご利用される場合は、事前に利用申込みをしている必要があります。

プッシュ通知配信の利用申込み有無に関してはお客様が所属する法人の管理担当部署へお問い合わせください。

※プッシュ通知の配信有無に関わらず、アプリを起動して安否報告することも可能です。

4. 「企業コード」「ユーザーID」「パスワード」を入力しログインします。

※ログインをしないとプッシュ通知は届きません。

※Web サイトのログインに入力する値と同じです。



5. ログイン完了。トップ画面が表示されます。



6. ホーム画面へ戻り、セットアップ完了です。



ご注意

プッシュ通知が受信できるよう、スマホ端末の設定をご確認ください。

【Android のプッシュ通知設定方法】

設定＞アプリ(アプリケーション管理)＞安否報告アプリをタップ＞「通知を表示」をチェック

【iPhone のプッシュ通知設定手順】

設定＞通知(通知センター)＞安否報告アプリをタップ＞「通知」を許可＞「通知センターに表示」をオン＞「通知のスタイル」のバナー、もしくは通知を選択

※iPhone、App Store は Apple Inc.の商標です。※iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
※Android、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。

パスワードを変更する

1. 「安否報告アプリ」を起動後、左上の設定をタップし、「アカウント管理」から「パスワード変更」をタップします。



2. 生体認証、または企業コード/ユーザーID/パスワードを入力して認証します。



3. 「現在のパスワード」のボックスに現在利用しているパスワードを入力します。続けて「新規のパスワード」/「新規のパスワード確認」を入力し、「パスワードを変更する」ボタンを押します。変更完了後は「アカウント管理」に遷移します。



本人の基本情報を変更する

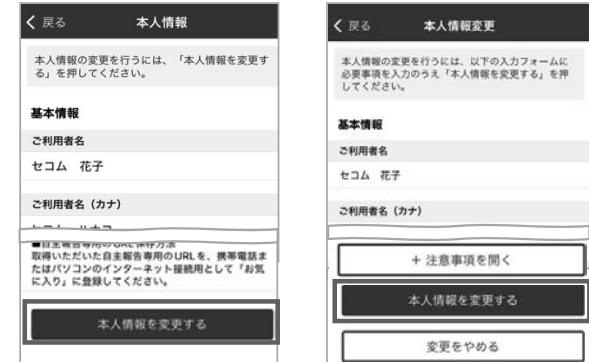
1. 「安否報告アプリ」を起動後、左上の設定をタップし、「アカウント管理」から「本人情報」をタップします。



2. 生体認証、もしくは企業コード/ユーザーID/パスワードを入力して認証する。



2. 本人情報画面で「本人情報を変更する」ボタンを押します。各項目を入力し、「本人情報を変更する」ボタンを押します。



携帯電話で初期登録

初期パスワードを変更する

1. インターネットを利用して <https://www.e-kakushin.com/login/> に接続し「ログイン」を選択します。企業コード・ユーザーID・初期パスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押します。

▼QRコードをご利用の場合はこちら

ドコモの携帯電話でアクセスした場合のみ表示されます。
【ドメイン受信設定】ボタンを押す
とiモードサイトへ移動します。

※ドメイン受信設定について
ドコモ携帯電話の場合は、ドメイン受信設定を押すだけで簡単にドメイン指定受信ができます。
ドメイン受信設定

ログインしても画面が変わらない場合は、「メニュー」をクリックしてください。

【注意】
本サイトの使用条件は、パソコンから確認下さい。

2. メニュー画面から[8.本人情報]→[1.パスワード]を選択します。「現在のパスワード」のボックスに現在利用している初期パスワードを入力します。続けて「新規のパスワード」/「新規のパスワード確認」を入力し、[更新]ボタンを押します。

現在のパスワード
.....
新規のパスワード (半角・英数字)
.....
新規のパスワード確認 (半角・英数字)
.....
更新

このメッセージが表示されたら変更完了。

操作中の携帯電話のアドレスを登録する

1. パスワード変更後[8.戻る]ボタンを押しメニュー画面に戻ります。
[8.本人情報]→[2.連絡先]を選択します。

2. [アドレス登録]を選択すると、自動的にメール送信機能が立ち上がりますので、件名を変更せずそのまま空メールを送信します。しばらくすると『連絡先登録結果』メールが届きます。

※アドレス登録機能の注意
※迷惑メール対策設定について
e-革新サービスからのメールを受信するために、下記ドメインを指定してドメイン指定受信設定してください。
pa-e-kakushin.com

◇メールアドレス◇
▼メールアドレス(PC)
*****@docomo.ne.jp
アドレス更新(空メールの送信)

◇電話番号◇
▼電話番号(携帯)
090*****

▼電話番号(一般)
03*****

【収集した個人情報の利用目的】
e-革新サービスをご提供するうえで必要となる連絡に利用します。
e-革新サービスをご提供する範囲内で取扱い、第三者へ提供することはありません。
※上記利用目的にご同意のうえ情報をご登録ください。

変更

3. 『連絡先登録結果』メールが届いたら、[8.戻る]ボタンを押し、再度[2.連絡先]を選択します。登録されたメールアドレスが表示されていれば、携帯電話のメールアドレスの登録が完了となります。

※迷惑メール対策設定について
e-革新サービスからのメールを受信するために、下記ドメインを指定してドメイン指定受信設定してください。
pa-e-kakushin.com

◇メールアドレス◇
▼メールアドレス(PC)
*****@docomo.ne.jp
アドレス更新(空メールの送信)

◇電話番号◇
▼電話番号(携帯)
090*****

▼電話番号(一般)
03*****

【収集した個人情報の利用目的】
e-革新サービスをご提供するうえで必要となる連絡に利用します。
e-革新サービスをご提供する範囲内で取扱い、第三者へ提供することはありません。
※上記利用目的にご同意のうえ情報をご登録ください。

変更

- ※携帯電話の機種によっては『連絡先登録結果』メールを受信ボックスで確認してしまうと、操作中の画面に戻れない場合があります。その際はメールに添付されているURLより再度ログインしてください。

- ※登録エラーメールを受信した場合は再度操作をやり直すか、次の「直接入力を利用して連絡先を登録する」をご参照のうえ、画面上に直接メールアドレスを入力する方法で登録を実施してください。

直接入力を利用して連絡先を登録する

1. メニュー画面から[8.本人情報]→[2.連絡先]を選択します。画面を一番下までスクロールし、「変更」ボタンを押します。
(「操作中の携帯電話のアドレスを登録する」から引き続き登録をされる場合は、登録済みのメールアドレスが表示されている画面をスクロールさせると「変更」ボタンがあります。)

※迷惑メール対策設定について
e-革新サービスからのメールを受信するために、下記ドメインを指定してドメイン指定受信設定してください。
pa-e-kakushin.com

◇メールアドレス◇
▼メールアドレス(PC)
*****@docomo.ne.jp
アドレス更新(空メールの送信)

◇電話番号◇
▼電話番号(携帯)
090*****

▼電話番号(一般)
03*****

【収集した個人情報の利用目的】
e-革新サービスをご提供するうえで必要となる連絡に利用します。
e-革新サービスをご提供する範囲内で取扱い、第三者へ提供することはありません。
※上記利用目的にご同意のうえ情報をご登録ください。

変更

2. 連絡先メールアドレスと電話番号を直接入力し、「更新」ボタンを押します。

※ドメインを選び、「ドメイン反映」ボタンを押すと、メールアドレスの@マーク以降を自動的に追加します。

▼メールアドレス1
ドメイン

1.ドメイン反映

▼メールアドレス2
ドメイン

2.ドメイン反映

▼電話番号1

▼電話番号2

3. 連絡先が登録されました。

※メールアドレスを入力した場合は[アドレス確認メール送信]を選択します。
「メールを送信しました。」と表示されたら送信完了となります。
「メールアドレス確認メール」が届くことを確認してください。

連絡先を更新しました。
アドレス確認メールを送信しますか？

▼メールアドレス1

メールを送信しました。
数分経過してもメールを受信できない場合は、メールアドレスの登録内容をご確認ください。
携帯電話の場合は迷惑メール対策設定もご確認ください。

8.戻る
9.ログアウト

ヒント

連絡先登録結果メールや、確認メールが届かない場合、下記の点を確認し、再度メール送信の操作を実施してください。
・登録されたアドレスに間違いはありませんか？大文字・小文字、「.」、「」にご注意ください。

フリーメール(hotmail/msnメール/AOL等)を含む一般プロバイダメールの場合、メールの処理手続きで「迷惑メール」として処理をされる可能性があります。
これは不特定多数のサイトからのメールを「迷惑メール」として排除し、快適にメールを使用するために各社独自に判断しています。
よってアドレスの登録は可能ですが、確実に配信されるか不明のためお勧めはできません。

居住地・勤務地を登録する

1. 家族情報登録後、[8.戻る]を選択しメニュー画面に戻ります。
[3.居住地/勤務地変更]を選択します。

No.7
お名前:
ログインID:
続柄: ○本人 ○本人以外
使用言語: ○日本語 ○英語
メールアドレス:

8.戻る
9.ログアウト

【詳細】 e-革新
1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/勤務地
4.使用言語
5.パスワード忘れの質問と回答
6.家族情報
■ 自主報告費用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

2. 居住地変更もしくは勤務地変更を押して、都道府県をリストボックスから選択し[次へ]ボタンを押した後、「更新」ボタンを押します。

▼居住地
東京都

▼勤務地
東京都

8.戻る
9.ログアウト

都道府県(居住地)
東京都
神奈川県
埼玉県
千葉県
東京都
新潟県
山梨県
長野県
岐阜県
静岡県
愛知県
三重県
滋賀県
京都府
大阪府
兵庫県
奈良県
和歌山県
鳥取県

使用言語を設定する

1. メニュー画面から[4.使用言語]を選択します。
サービスで利用する言語(日本語/英語)にチェックをつけ、「更新」ボタンを押します。

【詳細】 e-革新
1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/勤務地
4.使用言語
5.パスワード忘れの質問と回答
6.家族情報
■ 自主報告費用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

【詳細】 e-革新
○ 日本語(Japanese)
○ 英語(English)
【言語について】
e-革新サービスで使用する言語を選択して下さい。
設定を実施すると次回ログイン時かe-革新行方不明言語で表示します。

8.戻る
9.ログアウト

パスワード忘れの質問と回答を設定する

1. 使用言語登録後、[8.戻る]を押してメニュー画面に戻ります。[5.パスワード忘れの質問と回答]を選択します。
パスワード忘れの質問と回答を入力し、「更新」ボタンを押します。

【詳細】 e-革新
1.パスワード
2.連絡先
3.居住地/勤務地
4.使用言語
5.パスワード忘れの質問と回答
6.家族情報
■ 自主報告費用のURL送信
8.戻る
9.ログアウト

【詳細】 e-革新
パスワード忘れの質問
出身校は？
パスワード忘れの回答
○○小学校

8.戻る
9.ログアウト

自主報告専用のURLを登録する

1. メニュー画面から[8.本人情報]→[自主報告専用のURL送信]を選択します。

Left screenshot: e-革新 menu with options: 1.セコム安否確認サービス, 2.連絡先, 3.居住地/勤務地, 4.使用言語, 5.パスワード忘れの質問と回答, 6.事故情報, 8.本人情報 (highlighted), 9.ログアウト. Bottom link: <<管理者からのお知らせ>>

Right screenshot: e-革新 sub-menu with options: 1.パスワード, 2.連絡先, 3.居住地/勤務地, 4.使用言語, 5.パスワード忘れの質問と回答, 6.事故情報, 8. 自主報告専用のURL送信 (highlighted), 8.戻る, 9.ログアウト.

2. 登録したメールアドレス宛に自主報告専用のURLを通知致します。
メール内のURLをそのまま「お気に入り」へ登録してください。
※URL接続後に別画面に進まれた場合は、そのURLはお気に入り登録しないでください。

件 四郎 様

安否確認メールは、通信の輻輳(ふくそう)や障害等が発生した場合、携帯端末等へのメール着信が遅れる場合があります。
下記の自主報告専用URLにつきましては、携帯電話またはパソコンのインターネット接続用として[お気に入り]にご登録してください。

■ 自主報告専用のURL

http://www.e-kakushin.com/eanpi/*****

※メールが着信しない場合には、予めお気に入り登録しておいた自主報告専用のURLを利用してセコム安否確認サービスにアクセスいただき、報告すべき災害を選択して安否報告を行ってください。

セコムXXXXXサービス

注意事項

- ◇自宅パソコン(家族共有端末など)のメールアドレスを登録された場合は、ご家族の方へ弊社サービスからのメールが届く場合があることを事前にご案内いただくようお願いいたします。「知らないメールが届く」と、ご家族の方から問合せが多くなっております。
- ◇パスワードを間違えて連続入力すると、パスワードが無効になりログインができなくなります。ログインページの「パスワードを忘れた方」よりパスワードの再設定をお願いいたします。
- ※手順の詳細は「利用者用操作マニュアル」の『パスワードを再設定する(パスワードを忘れた場合、ログインできない場合)』をご確認ください。
- ご登録いただいているメールアドレスが利用出来ない場合等は、貴社の管理担当部署に(SCMをご利用の場合は取引先の管理担当部署に)パスワード初期化の依頼をしてください。パスワードが初期パスワードにリセットされ、ログインできる状態になります。

【スマートフォンのホーム画面に自主報告専用 URL のアイコンを追加する方法】

iPhone の場合

1. safari を開いて下さい。
2. アドレスバーに自主報告専用の URL を入力し、アクセスします。
3. 「アクション」アイコンをタップします。
4. 「ホーム画面に追加」をタップします。

Android の場合

1. 自主報告専用の URL にアクセスします。
2. アクセスしたら、「メニュー」を開き「ブックマーク」をタップします。
3. ブックマーク画面を開いたら「追加」をタップし、「OK」を選択すると、ブックマークへ追加されます。
4. ブックマークに表示されているサイトの中から、自主報告専用の URL のページを長押しします。
5. メニューが開くので、「ショートカットを作成」をタップします。



※アイコンイメージは左記となります

【注意事項】

- ・ホーム画面にアイコンがいっぱいだった場合は、エラーが出て追加出来ません。
必ず、ホーム画面に空きがあることを確認してから操作を行って下さい。
- ・本資料に掲載する画面イメージや操作手順は、スマートフォンの機種により実際の画面と異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。

【携帯電話の迷惑メール対策について】

ご利用の携帯電話でセコム安否確認サービスから送信されるメールが受信できない場合、「迷惑メール対策」の設定がされている可能性があります。「迷惑メール対策」について現在の設定内容をご確認ください。

迷惑メール対策って何ですか？

知らない相手から突然送られてくる広告・勧誘メールなどの悪質なメールを迷惑メールといいます。これらの迷惑メールを受け取らないようにする設定が迷惑メール対策です。

迷惑メール対策には、以下の2つがあります。

- ① あらかじめ指定したアドレス(ドメイン)からのメール以外の受信を拒否します。
- ② メール本文に URL の記載があるメールの受信を拒否します。

設定内容は何を確認すればよいですか？

- ① e-革新サービスから送信するメールは、下記のメールアドレス(ドメイン)から送信いたします。
下記アドレス(ドメイン)からのメールが受信できる設定になっているかご確認ください。
※ご契約サービスに関係するアドレス(ドメイン)だけご設定ください。

▼セコム安否確認サービス(セコム安否確認サービス SCM/セコム非常呼集サービス)

admin@pa.e-kakushin.com

message@pa.e-kakushin.com

▼セコム災害情報サービス

info@pa.e-kakushin.com

▼セコム安否確認サービス GS

risk@pa.e-kakushin.com

▼リアルタイム災害情報サービス

info@secom-anshin.jp

- ② URL付メールの受信を拒否する設定についてご確認ください。

e-革新サービスから送信するメールにはURLが記載されています。

各携帯電話の事業者によって、メールアドレス(ドメイン)指定受信の設定がされていても、URL付メールの受信を拒否しているとメールが受信できない場合がございます。

確認方法が分からないときはどうすればよいですか？

各携帯電話の事業者や、ご利用の機種によって操作方法が異なります。迷惑メール対策の詳細(設定方法など)は、各携帯電話の事業者へ直接お問い合わせください。

【参考 URL】

※下記、各携帯電話事業者のURLおよび連絡先については、予告なく変更される場合がございます。

▼ドコモ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

▼au <http://www.au.kddi.com/>

▼ソフトバンク <http://mb.softbank.jp/mb/>

▼Y!mobile <http://www.ymobile.jp/>

【スマートフォンの設定方法について】

スマートフォンでe-革新サービスをご利用の場合、あらかじめブラウザの設定が必要となります。

【 設定項目 】

■Cookieを受け入れる ■JavaScriptを有効にする ■画像を読み込む

スマートフォンをご利用のお客様からよくあるご質問

ご質問		解決方法
1	「データアクセスエラー サーバーのリダイレクトが多すぎます」、「ページを開けません。多くのリダイレクトが発生しています。」というエラーが表示される。 ※機種によってエラーメッセージが異なります	Cookie を受け入れる設定にする
2	報告画面にて「報告」ボタンが押せない。	Java Script を有効にする
3	報告画面にて「報告」ボタンが表示されない。	画像を読み込む設定にする
4	スマートフォンでログインできない。 (※PCではログインできる)	■「ログインに失敗しました。もう一度ログインしてください。」というエラーメッセージがでる。 ■以前に入力されたパスワードが自動入力されてしまう ■画面が遷移しない、真っ白になる ■報告用 URL をクリックするとログインページに遷移する。
		パスワードの自動入力(オートコンプリート)データを消去する
5	1、2、3の確認(変更)を行ったが、それでも解決しない。	①履歴やキャッシュのクリア ②開いているブラウザを全て閉じてやり直す ③再起動する

【ご注意】

各携帯電話の事業者や、ご利用の機種によって操作方法が異なります。設定方法などの詳細につきましては、各携帯電話の事業者へ直接お問い合わせください。

保健管理センター

保健管理センター(3 階)

快適で充実した学生生活を過ごすためには、自分自身が留意して健康の保持増進に努めることが大切です。保健管理センターでは医師と保健師が常駐しており、健康支援を行っています。

開室時間：平日 10 時～16 時 45 分まで
(昼休み 12 時 30 分～13 時 30 分を除く)

内線：6091

外線：03-6439-6091

E-mail： grips-hsc@grips.ac.jp

応急処置及び身体測定

学内で怪我をした時、気分が悪くなった時などに利用できます。医師の処方箋は発行できません。また身長・体重測定、体脂肪測定、血圧測定を実施できます。

健康相談

心身の健康に関する疑問や悩みなどについて、相談に応じます。

医療機関への紹介

検査や受診が必要な場合は、総合病院や近隣クリニックなどを適宜紹介します。

健康診断

毎年入学時(4 月ないし 10 月)に学内で実施し、健康状態の把握に努めています。対象者は必ず受診してください。詳細は追ってお知らせします。

学校伝染病

インフルエンザ、百日咳、麻疹(はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風疹、水痘(みずぼうそう)、咽頭結膜炎(プール熱)、結核などの学校伝染病と診断された場合、登校は禁止です。ただし、登校禁止期間中は、授業を欠席扱いにはしません。治癒後は、主治医もしくは学校医に「学校伝染病治癒証明書」(登校許可書)を発行してもらい、教育支援課に提出してください。詳細は HP 参照。

<http://www.grips.ac.jp/jp/education/health/center/diseases/>

上記は通常時の体制です。

現在は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、非対面対応を優先した臨時体制で業務を行っています。臨時体制の詳細は、大学広報等でお知らせしています。

同窓会

本学とその前身である埼玉大学大学院政策科学研究科（GSPS）の修了生は、世界 100 ヶ国以上に活躍しており、その数は、国内外合わせて 5000 人以上に上ります。修了生の多くは、行政官として自国の政策形成に大きな役割を担っています。

本学学生は、在学中だけでなく修了後も、このネットワークを通じて、他の修了生や本学と繋がっていくことができます。さらに、本学創設 20 周年を迎えた 2017 年には、国内同窓会組織が設立され、毎年、GRIPS 国内同窓会報を発行しています。現在は、徐々に、都道府県やプログラム（コース）単位での同窓会支部も設立されてきており、今後、同窓会活動はますます活発化していきます。

本学修了生は、主に、次のようなサービスを受けます。

生涯メールアドレスの付与

入学時に付与された GRIPS のメールアドレスは、修了後も継続して利用できます。

オンライン同窓会データベース

修了生のデータは G-way で管理されています。在学生の皆様も、G-way で修了生の情報を参照することができますので、ぜひ活用してください（ただし、修了生が開示を許可している情報のみ）。G-way ログイン後、MENU の「教員・学生検索」の中の「修了生検索」をクリックすると、氏名・国籍・在籍期間・プログラム名等の項目により検索をすることができます。

なお、在学生の皆様には、修了時に G-way にて修了後の連絡先・進路等の登録をお願いしています。

その後も、登録情報に変更があった際は、その都度、G-way にログインし、修了生情報更新画面にて、情報の更新をお願いします。

<https://gportal.grips.ac.jp/fw/dfw/ASTSV004/>

同窓会の開催

毎年、本学にて、同窓会を開催しています。詳細は、G-way に登録されているメールアドレスに送付しますので、メールアドレスが変わった際は、G-way よりデータの修正をお願いします。

なお、国内だけでなく海外においても、教職員の出張の機会を利用して、同窓会を開催しています。

修了生の声

修了生の声（Alumnus of the Month）として、GRIPS のホームページにて、世界各地の政府機関・国際機関・民間企業等で活躍する国内外の修了生を紹介しています。

<https://www.grips.ac.jp/jp/alumni/almo/>

図書館の利用

修了生も引き続き図書館が利用できます。詳細は GRIPS 図書館ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.grips.ac.jp/main/lib/>

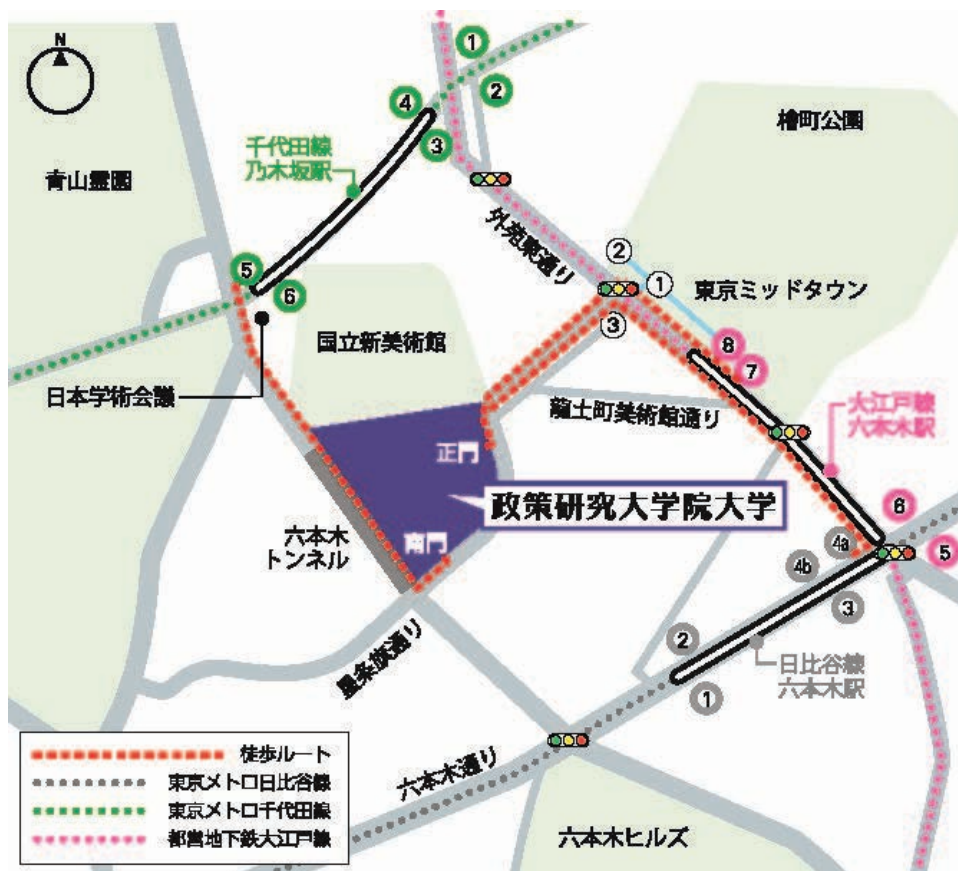
その他、同窓会活動の詳細については、以下を参照ください。

<https://www.grips.ac.jp/alumni/index/>

<https://www.facebook.com/groups/GRIPSAumni/>

<https://www.linkedin.com/groups/2628687/>

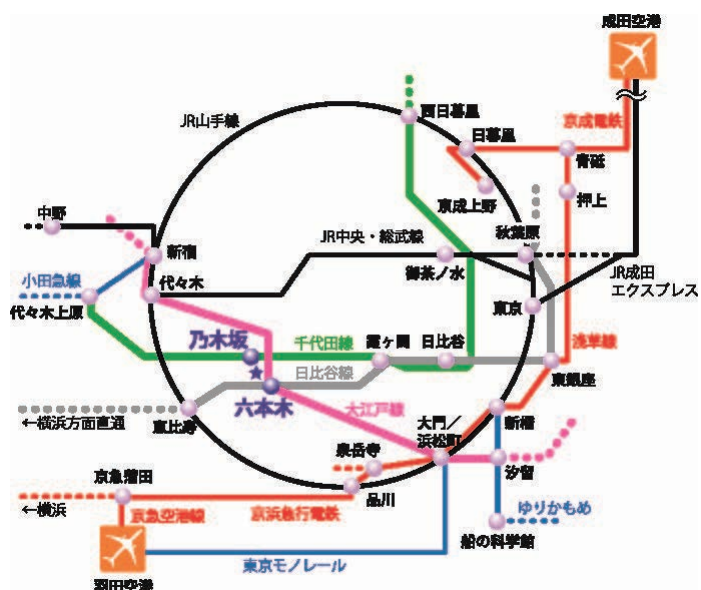
本学へのアクセス



都営大江戸線 六本木駅 7 出口 徒歩 5 分

東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a 出口 徒歩 10 分

東京メトロ千代田線 乃木坂駅 5 出口 徒歩 6 分



成田空港から成田エクスプレス利用、東京経由六本木まで約 1 時間 30 分

成田空港から京成スカイアクセス利用、日暮里経由六本木まで約 1 時間 15 分

羽田空港から東京モノレール利用、六本木まで約 40 分

東京駅から六本木まで約 17 分

政策研究大学院大学

教育支援課教務担当

〒106-8677東京都港区六本木7-22-1

Tel: 03-6439-6042

E-mail: ast@grips.ac.jp

URL: <http://www.grips.ac.jp>